

40th ABILYMPICS

第40回 全国アビリンピック 報告書

洋裁
家具
DTP
機械CAD
建築CAD
電子機器組立
義肢
歯科技工
ワード・プロセッサ
データベース
ホームページ
フラワーアレンジメント
コンピュータプログラミング
ビルクリーニング
製品パッキング
喫茶サービス
オフィスアシスタント
表計算
ネイル施術
写真撮影
パソコン組立
パソコン操作
パソコンデータ入力
縫製
木工



はじめに

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構

理事長 **和田 慶宏**



「アビリンピック」の愛称で親しまれている全国障害者技能競技大会は、障害のある方々が日ごろ培った技能を競い合うことにより、職業能力の向上を図るとともに、企業や社会一般の人々が障害のある方に対する理解と認識を深め、その雇用の促進を図ることを目的とする技能の祭典です。

今年のアビリンピックは、1972年の第1回大会から数えて第40回目となる節目の大会で、ロシア連邦モスクワ市において開催が予定されている第10回国際アビリンピックに派遣する選手の選考を兼ねた大会として、昨年に引き続き愛知県国際展示場で開催をいたしました。

また、今大会では第39回大会で実施した技能競技種目に「写真撮影」と「パソコン組立」の2技能競技種目を加えた25技能競技種目を実施し、全国から国際大会招聘選手を含めて330名の選手にご参加いただきました。

残念ながら今大会は、新型コロナウイルス感染症の影響により、感染症拡大防止策を講じた上で、「無観客」での開催となりましたが、選手の活躍を少しでも多くの方々にご覧いただくため、初めての試みとして開会式、競技風景及び成績発表をウェブ上でライブ配信いたしました。その結果、ウェブアクセス数は約94,000件となるなど、これまで会場に足を運ぶことが難しかった方々にも、選手の競技に懸ける熱意や技術の高さをご覧いただくことができました。

我々主催者といえども、この取組みを一つのきっかけとし、今大会の動画をウェブ上に掲載するなど、ライブ視聴ができなかった方をはじめ一人でも多くの方々にアビリンピックの魅力を知っていただけるよう、引き続き情報発信を行ってまいります。

選手の皆様には、今大会に参加し、競技に全力で臨んだことを誇りとして、職場や地域などで今後も一層活躍されることを期待するとともに、開催にあたりご協力をいただいた愛知県、厚生労働省、団体、企業、関係機関の方々に対して心からお礼を申し上げます。

序

はじめに	1
目 次	2
開会式	4
技能競技	5
大会の様子	5 6
成績発表	5 8

第40回全国障害者技能競技大会

Ⅰ 概 要

1 実施内容	5 9
2 運営にあたっての支援	6 1

Ⅱ 開催準備

1 技能競技	6 2
2 障害者ワークフェア2020	6 6
3 開催県における準備状況	6 7

Ⅲ 開催の状況

技能競技	6 9
------------	-----



資料

I 第40回全国障害者技能競技大会関係資料

1	開会式挨拶等	70
2	表彰者数一覧	74
3	表彰者名簿	75
4	技能証授与対象者名簿	80
5	技能競技種目別参加選手名簿	82
6	技能競技種目別・都道府県別技能競技参加選手数一覧	90
7	技能競技種目別・障害別・年齢区分別技能競技参加選手数一覧	92
8	技能競技種目別実施時間一覧	93
9	手話通訳者及び要約筆記者配置数一覧	94
10	技能競技種目別使用機器等一覧	95
11	第40回全国障害者技能競技大会実施要綱	99
12	第40回全国障害者技能競技大会における 新型コロナウイルス感染拡大防止のための具体的な措置	107
13	別紙 体調確認チェックシート（選手団用）	113
14	第40回全国障害者技能競技大会の参加に係る同意書（選手団用）	114
15	各種委員会委員名簿	116
16	技能競技種目別専門委員等名簿	117
17	技能競技実施機器等協賛企業等	122

II 全国障害者技能競技大会統計資料

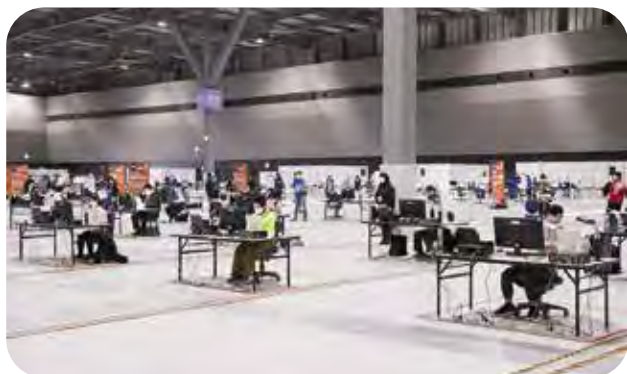
1	全国障害者技能競技大会の沿革	124
2	全国障害者技能競技大会実施要綱の変遷	125
3	技能競技種目別参加選手数の状況	128
4	都道府県別参加選手数の状況	130
5	技能競技種目別入賞者数の状況	132
6	都道府県別入賞者数の状況	138
7	大会別開催期間・会場一覧	142
8	障害者ワークフェア実施状況	143

会場・開会式・選手宣誓 (Web配信)

開
会
式



会場下見・事前説明・工具確認



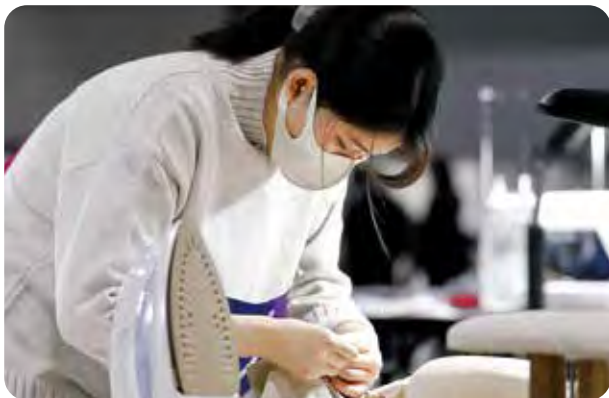
- 参加選手数：7 名
(うち招聘選手数：2 名)
- 協賛企業等

JUKI JUKI 販売株式会社
公益社団法人全日本洋裁技能協会

競技課題は、薄手ウールを使ったオーダー仕立ての「オーバーブラウス」を製作するもので、競技時間は 6 時間です。荒断ちをした布地を裁断し、芯貼り、印づけ、本縫い（ミシン、アイロン、ロックミシン）の順に作業を進めます。接着芯をしっかりと貼ることや、前身頃丈の長さや袖つけ、衿つけが左右対称であることが重要です。

オーバーブラウスは上着の代わりに羽織ることもあるので、見た目にも美しい仕上がりが求められます。シルエットが美しく仕上がっているか、袖や衿がきれいについているか、ポケットが正しい位置についているか、ボタンとボタンホール（手かがり）が正しくきれいにつけられているか、袖口、裾、見返しのまわりが表にひびいていないか、オーダー仕立てのソフトな仕上がりになっているか、などがポイントです。





講 評

主査 佐藤 富子

第40回大会は愛知県国際展示場で11月13日（金）～15日（日）まで開催されました。

第10回国際アビリンピック（ロシア/モスクワ）の選考会を兼ねて、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じ無観客、ライブ配信で行われました。

今回の課題は、テーラーカラー・長袖・パッチポケット付きオーバーブラウスの製作でした。生地は従来通り薄手ウールで、時間は午前2時間、午後4時間の6時間に設定しました。競技結果は金賞なし、銀賞1名、銅賞2名が入賞されました。選手は招聘者2名、再挑戦者2名、初出場者3名でした。

初出場の学生さんたちはスタートから意気込みが感じられ、一方、招聘者はマイペースで進めているように見えたが、コロナの関係もあり洋裁職から離れ別のお勤めをしながらの練習は思うように出来なかったようです。

また、上位の成績となられた初出場者は、6時間以内の仕上げを目標に10着も練習をされたそうで、その結果は見事に作品に表れていました。しかし本番では緊張されている様子でした。

時間内に仕上がったと言うだけでなく、最も重要な部分の衿や袖がきれいに付いていなければなりません。アイロン使いと作業工程や時間の配分を工夫し、繰り返し練習をして臨んで頂きたいです。あきらめしないで何回も何回も挑戦して下さることを心より期待いたします。次年度の大会では今まで培った力を発揮して悔いのないよう臨んで下さい。

末尾になりますが、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構の皆様には大変お世話になり、今回も競技大会を無事に務めることが出来ました。またこの大会に携わって下さいました専門委員及び関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

● 参加選手数：4 名

● 協賛企業等

愛知県立名古屋高等技術専門学校

競技課題は、「花台」の製作で、競技時間は 5 時間 30 分（6 時間打ち切り）です。手工具や木工機械を駆使して、家具製作に必須である「板と板の接合」や「角材と角材の接合」の加工などを行い、正確で見栄えのよい作品をつくります。

課題の花台は正面から見ると左右の脚が平行ですが、側面から見ると前脚が下側に向かって広がり、台形の形状になっています。このため、前脚には、一定の角度をつけることが必要となりますが、その正確さが重要になります。脚が傾いたり、4 本の脚がねじれたりしないよう、接合部分の加工が正確にできるかどうかのポイントになります。



金賞受賞者の感想

伊藤 俊貴（愛知県）

昨年はアビリンピックに初出場し銅賞を受賞しました。しかし結果には満足できず悔しい気持ちが残り、今年は絶対に金賞を取ろうという気持ちで挑戦しました。

毎日、学校が終わってから練習を重ねました。幼いころから物を作ることが好きだったので、練習は楽しかったです。

学校の授業では、ほとんど機械で木を切っています。鋸を使って木を切ることはないため、鋸の使い方から練習しました。練習して少しずつ上手くなっていくと、鋸で真っ直ぐに切ることがすごく楽しく思えてきました。また、接合の5枚接ぎでは、正確に組むのに苦労しました。ずれると寸法が変わりガタガタしたり、割れたりするので、何度も練習をして精度を高めました。課題に向けた練習を積み重ねて、できることが増えていくのが嬉しかったです。

当日は新型コロナウイルス感染症予防のために無観客で、昨年度とは雰囲気は全く違いました。しかし緊張せずに集中でき、いつもの練習通りにできました。

アビリンピックに参加してから、夢は国際大会に出ることになりました。今回金賞を受賞して、その夢に一步近づきました。応援してくれていた家族も、とても喜んでくれました。これからもっと技術を磨いて、国際大会に出場して金賞を取れるように頑張りたいです。



講 評

主査 小山 真子

家具職種の競技課題のレベルは、技能検定「2級家具製作(家具手加工作業)」課題と同程度となっています。4年前、競技課題に現寸図(脚部の側面図)作製が加わり、墨付け時の生けどりや、組立時の形状確認に活用する姿が増え寸法精度も上がってきました。

今回の愛知大会では、10代から20代の4名の選手が技を競い合いました。競技の結果、3名の選手が時間内に完成し、金賞1名、努力賞1名の受賞となりました。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、従来の閉会式後の個別講評を競技終了後に総評の形で全体に行いました。その際、競技時間内に課題を完成させるための作業手順や、形状寸法の精度を高めるための勝手墨や合印の重要性の話をしました。

昨年度の講評でも触れましたが、全体的に共通していることは、寸法精度の伸びしろがまだまだあるということです。墨付け時の現寸図の活用や、加工精度は年々全体のレベルが高くなってきていますが、接着・組み立て時の圧縮の方法を再考する必要があります。端金を必要以上に圧縮しすぎることにより、その分、しわ寄せが他の部分にひずみとして現れるので、どこで締め終わりを見極めるのかがポイントです。また、端金は、当て木を適性に併用することにより、圧縮するだけでなく、矩やねじれを矯正することもできることを上手く活用してください。以上のことを踏まえ、次年度の大会では多くの選手が高いレベルで競い合うことを期待しています。

更には、指導者の方は指導技法を向上し、選手の自ら考える力や、工夫する力を伸ばして下さい。また、個々の作業姿勢の癖が安全上、適切であるか客観的に安全指導することも大切です。

おわりに、新しい生活様式の中、競技を無事に終えることが出来たことを、選手、指導者の方々、選手を支える周りの方々、大会関係者に心から感謝いたします。

- 参加選手数：17名
(うち招聘選手数：2名)
- 協賛企業等



アドビ株式会社



DynaComware Corporation
ダイナコムウェア株式会社



競技課題は、昨今の感染症の影響で「周囲に誤解されるので、せきやくしゃみがしづらい」という花粉症患者の方に配布を予定している「花粉症ストラップ」のデザインを一点提案し、その利用を促進するためのポスター広告物の制作で、競技時間は3時間です。この広告を見た人が、パッと見てこのアイテムの趣旨を理解し協力したくなる魅力ある作品を作ります。

同じ文字や写真を使っても、レイアウトや文字の組み方で見たときの印象・期待は大きく変わります。また多くの人々を惹きつけるものを作るには、アイデアや想像力も重要です。DTPでは、プランニングする力や、想像力に加え、メインタイトルやサブコピー、色彩やレイアウト、フォントや印刷特性などオールマイティな知識が求められます。このため競技ではこれらの感性、技能、知識を駆使して、いかに効果的な作品を作ることができるかがポイントとなります。



金賞受賞者の感想

伊藤 まどか (広島県)

全国アビリンピックは選手として初出場しました。2019年の第39回の全国アビリンピックに同行し、DTPの競技を拝見させていただいたのがきっかけでした。所属している会社「株式会社JR西日本あいウィル」でDTPの業務をしておりましたので、興味を持ち、自分の技術のレベルを把握したいと思い志願し、ありがたいことに推薦で全国出場をさせていただきました。

印刷物というのはほとんどのものに伝えたいものがあると思っています。「見た人にこう思って(考えて)もらいたい」という気持ちをDTPオペレーターはよく理解し、わかりやすく表現するのが仕事だと思います。結果、コピーやレイアウト、画像やイラスト等が生かされていくのではないのでしょうか。

課題については、とにかく楽しみました。ただ意識したことは課題のルールや提出形式、仕上げサイズ、なにより課題の意図は絶対外さないようにしようと思いました。業務でも必ず意識をする箇所ですので競技も同様に慎重にチェックをしました。

勉強をしていくとDTPの奥の深さを知っていく毎日です。私はまだまだ未熟だと思いますし、自分の力を伸ばしていきたいと考えています。誰かのためになる印刷物をつくるのがDTPの役目だと思っています。

推薦してくださったあいウィル、応援をいただいた皆様、アビリンピックスタッフの方々に心からお礼を申し上げます。今後も変わらず努力し、結果に満足することなく取り組んでいきたいと思っています。



講 評

主査 千知岩 浩一

今回のDTP種目の競技課題は、「周囲に誤解されるので、せきやくしゃみがしづらい」という花粉症患者の方に配布を予定している「花粉症ストラップ」のデザインとその利用を促進するポスター広告物の制作です。

社会的にも感染症に対する不安を抱える中でのタイムリーなテーマについて、招聘選手を含めた17名の参加選手で競ってもらいました。この掲示広告を見た方が「花粉症ストラップ」の意味をすぐに理解し、偏見のない対応を心掛けようと“心に留める”魅力的な作品を制作することを競う課題に取り組んでいます。

昨年に引き続き、事前に公表した内容に沿ってデザイン案を練ってくる課題形式の下で、写真素材についても2点持込可となったため、ツールとしてのストラップのデザインのみならず、利用目的を広く周知するためのポスターとしての視覚性やインパクト、具体的なイメージの実現に、各自苦慮したのではないかと思います。写真素材の自由度が上がった中で、ストラップを周知できるデザインをいかに表現できるか、アイデアや創造力を存分に発揮されたことと思います。近年DTPの傾向としては、印刷物に仕上げるデータ作成の確かな技術と優れたデザインが要求されます。イメージやインパクトのあるデザインが重要視され、アイデアを明確に表現するデザイン性の高さが求められます。

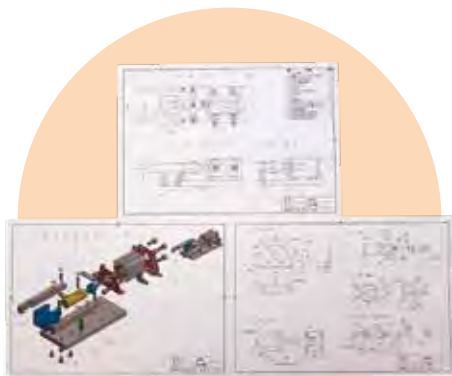
今回の競技結果は、金賞・銀賞が各1名、銅賞2名、努力賞1名の結果となりました。コロナ禍の中での無観客開催といった状況にも拘らず、僅差を競い合う高水準の作品が多数並ぶ中で、課題テーマの趣旨を理解し効果的に表現できた作品が選ばれた結果となりました。参加者の技術レベルは年々確実に向上しており、今後も楽しみな結果であったことを申し添えておきます。

最後となりますが、競技を無事終了できましたことは、競技専門委員をはじめとした主催者並びに愛知県関係者の方々の多大なるご支援とご協力の賜物と、深く感謝申し上げます。

- 参加選手数：8 名
(うち招聘選手数：2 名)
- 協賛企業等



アドビ株式会社

AUTODESK
Authorized Training Center

競技課題は、コンピュータ支援設計ツール（Computer Aided Design: キャド）を用いて、「ロボットハンド」の「部品図と組立図」、「軸測投影法による組立図と立体分解図」を作製するもので、競技時間は3時間10分です。

この競技では3次元CADツールを使用し、時間内に正確な図面を完成させることがポイントです。その際には、指示事項をしっかりと把握できること、課題図面を読むして正しく図形が描けること、設計の際に意図された事項の寸法記入法、幾何交差、表面性状などを規格に沿って記入できること、課題の機能を理解してモデリングができることなどが要求されます。



金賞受賞者の感想

木村 信隆（千葉県）

第37回アビリンピックの建築CADで金賞を受賞して以来、次は国際大会への派遣選手選考の大会だと思いながらも国際大会の開催地が決まらないまま年月がたち、やっと決まったと思ったら次の大会は建築CADでの派遣は無いことが分かりとてもやるせない気持ちになりました。

これまでずっと国際大会を目指して頑張ってきたのにこのまま何もせずにあきらめる事はできませんでした。そこで今年のアビリンピックは機械CADに挑戦すると決めたのです。

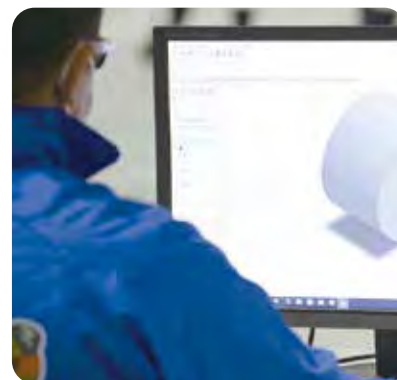
しかし、機械CADでは競技で使用するCADソフトが無いと大会に向けての練習ができません。

大会で使用できるCADのSolidworksについては以前使用していた経験はあるものの、現在は使用できる環境ではなく何年も触れたことすらありませんでした。

仕方なくもう一つのCAD、Inventorを使用することにしました。このCADはこれまでに使用した経験は無かったのですが、大会主催者から期間限定で貸与してもらう事ができる為、ソフトを借りて練習を重ねました。

そして大会当日、競技中にCADがクラッシュしてしまい作成したデータの一部を失ってになってしまうトラブルが起こってしまったのですが、それでも最後まで落ち着いて競技に挑み続け、金賞を受賞することができました。

当初、限られた期間でInventorを使いこなせるようになるか不安ではありましたが、どのような状況でもあきらめず機械CAD競技に挑戦して良かったと思っています。



講 評

主査 池田 知純

機械CAD職種には、招聘選手2名を含む8名の選手が参加し競技が行われました。競技内容は、競技時間3時間で部品図と組立図を読図し、3次元部品モデルの作製と作製したモデルと配布部品モデルのアセンブリ作業を行い、部品図・組立図・立体分解図を作図し図面として完成させるものです。選手には、課題とする機械の構造と動きを理解すること、課題図面を読図し機械製図のルールにしたがって正確に図面を描くことが要求されます。加えてCADの機能を使いながら効率よく作図する力も必要とされます。

今大会の競技課題は、空気圧シリンダで駆動するロボットハンドでした。昨年度よりも少ない部品点数でしたが、部品同士が干渉しないように正しくモデリングを行うことを求めるものでした。

無観客で静寂の中での競技でしたが、選手は熱心に最後まで競技に取り組んでいました。競技結果は、金賞1名、銀賞1名、銅賞1名という成績でした。受賞作品は、細かなミスがありましたが前大会よりも完成度の高いものでした。惜しくも入賞を逃した選手は受賞者と遜色ない技能を有していましたが、未完成の課題があったため得点に結びつきませんでした。選手の皆様には引き続き、CADスキルの向上と機械製図の知識・技能の習得に努めていただき、次へのチャレンジにつなげて欲しいと思います。

最後になりましたが、選手、選手の指導者、専門委員、競技補佐員、大会関係者の方々のご協力により、無事に大会を終えることができましたことを心より感謝申し上げます。

- 参加選手数：7 名
- 協賛企業等



アドビ株式会社

AUTODESK
Authorized Training Center

競技課題は、コンピュータ支援設計ツール（Computer Aided Design: キャド）を用いて、「鉄筋コンクリート造3階建てビルの図面」を作製するもので、競技時間は3時間30分です。建物の設計者が描いたスケッチや構造の情報を理解し、CADソフトを用いて建築基本設計図を作製する作業の正確さと速さを競います。コンピュータと建築CADソフトウェアに関する知識と操作技術、建築図面の読解力と製図規則に関する知識が必要です。

この競技のポイントは3つあります。1つ目は、選手が建築と製図規則の知識を統合し複数の資料内容を1枚の図面にまとめること、2つ目は建築CADの機能を生かし作業を行うことで、作業時間を短縮すること、3つ目は各階平面図と断面図、資料を基に南立面図を書き上げることです。選手は建築の知識、建築CADの知識と操作技術、美的感覚など複数の能力を駆使して作業します。





講 評

主査 和田 浩一

建築CAD競技は、7名の選手で行いました。課題は、建築汎用2次元CADシステム（AutoCADあるいはJW_CAD）を用いてA3版用紙2枚に鉄筋コンクリート造3階建て1/100の図面（各階平面図、立面図、断面図）を描き上げ、図面としての作品を作製するものです。各階平面図と断面図には、詳細な寸法の情報が記載されていないため、同時に配布する構造部材リスト、建具リスト、建築設備リスト、内部階段及び非常階段詳細図を参照しながら総合的に判断して図面を描き上げなければなりません。

今年は、サービス付き高齢者住宅を課題としました。1階は、管理事務室、厨房、医務室、エレベーター等を備え、2階と3階は、食事・談話コーナー、浴室、個人の居室となっています。描く図面もA3版、1枚から2枚になったこともあり、線の量が多くなりました。一方、各種建具、内部階段及び非常階段詳細図のデジタルデータを配布することで作図効率アップを目指しました。そのため、今年の課題は、さらにPC操作等、難易度が高くなりました。

競技の結果、2人の選手が銅賞となりました。今年のような課題に対応するためには、図面全体を詳細かつ的確に把握して図面を描き始めることが大事です。図面は、コピー元となる室空間の完成度を上げて作り込み、コピーや反転コピーを駆使しながら描く箇所と、躯体を大まかに作って建具を配置した後に建具を手がかりに躯体を整えて描く箇所に分かれます。配布されたデジタルデータを効率よく利用できるかが、図面完成の鍵となりました。

今年は、図面量の多さから、検討が十分でないまま作図に着手している様子が見られました。焦る気持ちを抑え、作図作業に入る前に効率的な作図プロセスを十分にイメージしてから描き始めることが大事です。今後は、CADによる建築図面作図力に磨きをかけると共に、読図力、臨機応変に課題に対応するスキル、効率的な作図方法も身につけることで、金賞、あるいは入賞が期待できます。次の大会での活躍を期待しています。

最後に、競技を無事に終えることができたことを選手及び選手に指導されている指導員の方、大会関係者、競技スタッフの方々に心から感謝いたします。

- 参加選手数：11 名
(うち招聘選手数：3 名)

競技課題は、夜間などの暗がりでも人の動きに反応する「省エネコントローラー」の組み立てで、競技時間は4時間（打ち切り4時間 30分）です。

現在、身の周りには多くのものには電子機器が搭載され、さまざまな制御が行われています。そのようなハイテク技術の一端を担う電子機器を組み上げる競技が「電子機器組立」です。この競技では、金属や電子部品を熱で溶かした「はんだ」で接合する「はんだ付け」がポイントです。「はんだ付け」の良し悪しは製品の信頼性につながる重要な項目で、その良し悪しにより製品が長期間の使用に耐えられるかが決まります。熱に弱い箇所など場所によって条件が異なり、すべての場所で適切なはんだ付けをするためには高い技術が必要です。



金賞受賞者の感想

島田 美穂（三重県）

まさか、自分が金賞を獲れるなんて夢にも思っていませんでした。Web配信で結果を知り、メダルが手元になく、実感がなかなか湧きませんでした。これまでの練習を振り返ってみると、なかなかうまくいかないことが多く、悪戦苦闘しました。

特に苦手なはんだ付けに一番時間がかかり、試行錯誤しながら練習を積み重ねてきました。指導者にアドバイスをもらいながらやってきましたが、なかなか伸びず悩みました。

ある事に時間をかけてみると少しずつではありましたが、良くなっていきました。それは「チェック」です。仕事に置き換えて考えてみると、一つ一つの作業後にチェックを行わないと不良を見逃し、お客様のもとへと流れてしまいます。それと同じことで、一つ一つ確実にチェックしないと良いモノが作れないという事に気が付きました。はんだ付けだけではなく、他の作業でもたくさんの課題があり、本番当日まで不安でしたが、いつも通りに取り組むことができました。多少作業のペースが遅れたものの、焦らず最後まで諦めずやり遂げることができました。

この結果が得られたのは、指導者をはじめ、一緒に切磋琢磨してきた選手、応援して頂いた職場の方々や家族のお陰です。本当にありがとうございました。アビリンピック全国大会へ出場する貴重な機会を頂き、この経験は自分への自信とつながり、学んだことは決して忘れず、次の目標へと進んでいきたいです。本当にありがとうございました。



講 評

主査 櫻井 光広

第40回大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、大会初の無観客により、前回大会と同じ愛知県国際展示場において開催されました。今大会は第10回国際大会への派遣選手選考も兼ねていることから、電子機器組立競技には、過去の金賞受賞者3名を含んだ11名の選手が参加され、展示ホールEにて競技が実施されました。国際大会派遣選手選考を兼ねた、選手の方にとっては非常にチャレンジングな大会であったため、ウイルス感染防止上マスク着用という不自由な状況のなかではありましたが、無観客といういつも以上に静かな中で選手たちはより一層競技に集中して、日頃の練習の成果を競いました。

競技課題は、前回大会の課題から大きな変更はなく、夜間の人の動きに反応する機器を制御する回路を組み上げることです。必要とされる技能レベルは、技能検定「2級 電子機器組立て」課題と同程度となっています。限られた競技時間で、正確に動作することを必須として、電子機器を美しく組み立てなければなりませんので、はんだ付けの技術はもちろんのこと、束線による配線技術、作業段取り、トラブルが生じた際の対処方法などのさまざまな知識と技能、経験が問われる競技となっています。

競技結果については、採点基準に基づき、厳正に審査をしました結果、金賞1名、銀賞1名、銅賞1名、努力賞1名の4名が入賞しました。入賞は各賞1名ずつの順当な結果でしたが、今大会は国際大会への派遣選手選考を兼ねていることもあってか、技能検定2級の合格基準を十分に上回る成績を修めた選手の方が多く、全体的に技能レベルが高い大会となりました。次回大会においても、技能・技術の向上に期待したいと思います。

最後に、本競技を無事終了できましたことは、参加選手と選手を指導されている指導員の方々ならびに愛知県関係者、大会関係者、競技スタッフ、その他多くの皆様のご協力の賜物と、心より感謝申し上げます。

● 参加選手数：3 名

● 協賛企業等

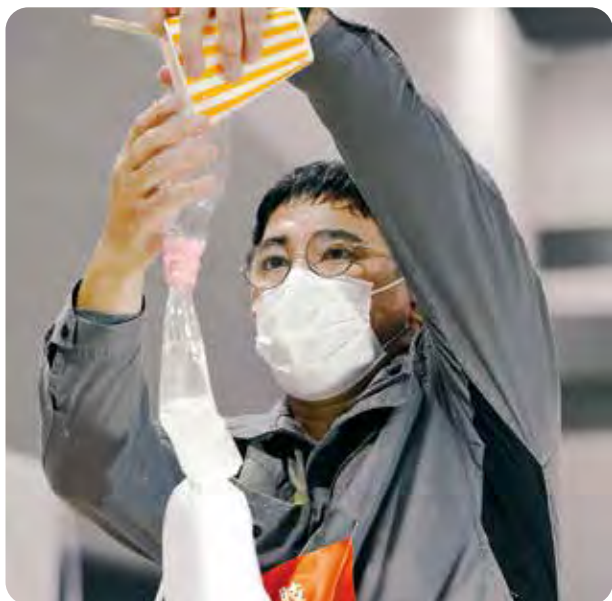
一般財団法人啓成会



JUKI JUKI 販売株式会社

義肢とは事故や疾病などで失った手や足の外観や機能を補完する人工の手・足をいいます。競技課題は、義肢を使うときに切断部分に装着する「ソケット」の製作です。切断部分（「断端」という）の形状を正確に型採りし、断端モデルの解剖学的・人間工学的知識をもとに修正、そしてモデルに合わせ正確に加工、組み立てをしていきます。競技時間は、4時間 15 分（4時間 45 分打ち切り）です。

ソケットの内側に入るクッションの加工は、素材の特性を捉えて行うことが重要で、ソケット本体の寸法精度に大きく影響します。また、「注型法」と呼ばれるソケット本体の加工法は、繊細で的確、かつ迅速な技術が必要で、強度や美しい外観を持った実用品となるかは、この加工によって決まります。この工程が競技の一番の見どころです。





講 評

主査 水澤 二郎

義肢（義手・義足）の使用において最も重要とされているところは、「ソケット」と呼ばれる義肢と切断端との接合部分です。他の部品の性能や義肢全体の出来栄が優れていたとしても、このソケット部分の適合が悪いと実使用に至らなくなります。本競技課題は、下腿義足のソケット製作がいかに関実使用に繋がるかを評価します。具体的には寸法精度、出来栄に加え、作業態度、作業速度もその対象になります。義肢使用者に安全に安心して使用していただける製品は、製作者の安全に対する意識から生じるものですので技術・技能の一つと考えられます。

競技前日の下見では、定められた持参すべき工具の確認、使用機器の調整、動作確認のほか、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年よりも広い競技エリア内での移動経路の確認など、万全な準備を行いました。競技当日、3名の選手は観客の有無に関わらず、一心不乱に競技に打ち込み、全員が規定時間内に完成しました。競技後、各評価要素について、厳正に審査させていただいた結果、残念ながら銅賞1名のみの結果となりました。しかし、他の2名の方々を含め、義肢製作においては比較的短期間で修得経験であることを鑑みると、規定時間内に怪我なく完成させた点については大いに評価されるべきところです。また、さらに申し上げると、製品製作における一つ一つの工程は、すべてがその結果に反映されます。限られた時間の中で、いかに工程ごとに作り込むことができるかが技術・技能の向上に繋がるとお考えいただき、今後さらなる研鑽を積み、使用者にとってより良い義肢を製作していただきますよう期待しております。

最後になりましたが、選手の皆様をはじめ関係各所の皆様、コロナ禍における厳重なる対策・運営をしていただいた高齢・障害・求職者雇用支援機構、愛知県の皆様に心より感謝申し上げます。

- 参加選手数：5 名
(うち招聘選手数：2 名)
- 協賛企業等



競技課題は「硬質レジンジャケット冠の製作」と「部分入れ歯の製作」で、競技時間は5時間です。被せものを製作するために処置が施された部分に、硬質レジン（歯科用プラスチック）を盛り上げて形を作ります。また、歯を失った奥歯に、人口歯を使って下の歯と噛み合うように調整します。

上顎の前歯は最も目につく部分であり、歯並びの状態や形がその人の印象と大きく関わるので、周囲と馴染むような自然感が求められます。また、顎が動いても邪魔にならない噛み合わせを作ることも大切です。さらに、歯を失ったことで痩せてしまった歯茎の形態を回復させ、自然で機能的に形成されているかがポイントです。



金賞受賞者の感想

三津橋 幸勇（北海道）

私がアビリンピックに参加したのは2回目になります。1度目の参加は22年前の千葉大会で、結果は残念なものでした。今回が2度目になり、会社の上司からの薦めでした。私の年齢の事を考えると、今回が最後のチャンスと思い挑戦することに決めました。

しかし、仕事が忙しく、大会までなかなか練習時間が持てず、模型を見ながらイメージトレーニングを繰り返すだけの状態で当日を迎えることになりました。

一生懸命自分の持てる力を発揮し、競技を終え、結果はなんと金賞を頂くことができました。これは日頃の製作で上司の助言を経て技術を磨いたこと、職場での理解や支援があり、安心して挑戦ができたこと、そして、家族の応援があったからこそその受賞でした。関係者の方々に感謝の気持ちでいっぱいです。

今後、アビリンピックに挑戦される皆さんに伝えたいことは、いつも自分を支えてくれる身の回りの方々へ、感謝の気持ちを忘れずに、技術を磨き経験を積み重ねていくことを大事にしてほしいという事です。次のステップとして、自分なりの目標を決めて挑戦してほしいと思います。皆さん頑張ってください。



講 評

主査 中坂 聖

歯科技工は都道府県代表選手3名+招聘選手2名の計5名で競技が行われました。前回に引き続き全員が国家資格である歯科技工士免許を取得しており、日々業務として歯科技工を行っている方々の競技となっています。

課題は処置が施された部位3か所に硬質レジンを盛り上げ、自然感のある色調と形態を作り上げていくことと、歯を失った部分に人工歯を並べて咬み合わせる内容でした。

歯科技工物は口腔内に入って機能することに加え、審美的なことが求められるため非常に繊細な作業であり細やかな感覚が大切になります。したがって使用器具などは普段使い慣れたものを持ち込み可能とし、競技前日に入念なセッティングをしてもらいました。

しかし、競技当日は日常の作業環境と大きく異なる部分も多々あり、共用機材までの動線や作業手順等、各選手が創意工夫をしながら取り組んでももらいました。

受賞に関しては、金賞1名のみとなっています。大会1か月前に練習用模型を配布して準備をしていただきましたが、特徴ある歯の形態であるため戸惑う部分もあったと想像できました。厳しい条件の中、実力を出し切れた選手もいれば思い通りに行かなかった選手もいたと思います。しかし、技術を競う競技に参加するチャレンジ精神と行動力、そして大会本番において作品として仕上げられた実績は必ず自身の糧となるはずですので、各選手の今後さらなるご活躍を祈っています。

最後になりましたが、多くの方々のお力添えがあり今回も無事に競技終了できました。参加選手、職場の方々のご理解やご支援、協賛協力いただいた株式会社松風様、株式会社ジーシー様、日本歯科技工士会、愛知県歯科技工士会、栃木県歯科技工士会、そして大会に携わった皆様方に深く感謝申し上げます。

- 参加選手数：32 名
(うち招聘選手数：3 名)

競技課題は、和文文書及び英文文書の作成で、競技時間は、和文文書が 80 分、英文文書が 60 分です。ワープロソフト Word2016 を使い、課題として与えられた和文・英文の文書と同じものを作成します。限られた時間内で Word の各種機能をいかに自在に使いこなせるか、その技術を競います。

文字入力スピードと正確性はもちろん、Word に用意されている各種の機能（ページ設定や作図、オブジェクト、グラフィック、表作成など）を自在に使いこなせるかどうかポイントです。また、できあがった作品をカラー印刷しますので色の選択やコントラスト等の設定を行い、より優れた作品に仕上げる技術も求められます。



金賞受賞者の感想

佐藤 翔悟（茨城県）

アビリンピック全国大会への出場は今回が5回目となります。初出場は、2013年の千葉大会です。この時は入賞することができませんでしたが、少し手応えを感じることができました。2回目の出場となった2016年の山形大会では、銀賞を受賞することができ、その後も金賞を目標に大会に出場しましたが、あと一步のところまで手が届きませんでした。

今年こそはと強い気持ちで挑んだ今大会は、新型コロナウイルスの影響で大会が無事に開催されるか心配したり、例年以上に体調管理に気を配ったり、仕事の合間に積み重ねてきた練習は在宅勤務などで環境が変化したりと、これまでの大会とは状況が大きく変化しましたが、平常心で臨むことができ、念願だった金賞を受賞することができました。成績発表で最後に名前を呼ばれたときは、今まで繰り返し練習してきた努力が実って本当に嬉しかったです。

今回の金賞受賞は、アビリンピックに挑戦するきっかけをくださった高校時代の先生方やいつもサポートして下さる職場の皆さん、そして家族の支えがあったからと心から感謝しています。本当にありがとうございました。

今後も、競技で身に付けた Microsoft Word の技術を業務で生かしながら、会社に貢献していきたいと思っています。

これからアビリンピックに出場される方も、練習の成果を発揮できるように自信を持って頑張ってください。



講 評

主査 長沼 智美

ワード・プロセッサ競技は、各都道府県の代表と過去の大会で金賞を受賞した招聘選手が参加し、32名での実施となりました。2020年度は新型コロナウイルスの流行で、いつもとは違う生活様式が求められ、世の中が大きく変わった年でした。そんな中、徹底した感染対策を行いながら、アビリンピック全国大会が開催され、無事に終了したことをうれしく思います。例年に比べて参加者が少ないにもかかわらず、出場選手の作品は非常にハイレベルで見栄えの良いものが多く、全国大会に向けて日々鍛錬を続けてきたことが容易に想像できました。都道府県の代表として全国大会に出場した経験が、各選手の人生において大きな自信となり、新たな目標を設定するための機会となることを祈っています。

本年度の競技もMicrosoft Word2016を使用して「和文競技」「英文競技」の2部構成で実施しました。和文競技では、80分の制限時間で、新しくオープンするテーマパークを紹介する文書を作成しました。表・図形・画像などをバランスよく挿入するスキルや、段落の行間・段組み・インデントなどを使ってレイアウトを設定するスキルが求められました。英文競技では、60分の制限時間で、愛知県の観光スポットを紹介する文書を作成しました。英文タイピングのスピードと文字書式・段落書式の文書編集スキルが求められました。

本年度の大会は、金賞1名、銀賞1名、銅賞2名、努力賞1名という結果でした。入賞者は、限られた時間の中で効率的に文書を作成し、バランスよく課題を仕上げておりました。様々な機能を熟知し、迷うことなく作業に集中できたことが、結果に結びついたのだと思います。

最後になりますが、大会の運営にご協力をいただきました関係者の皆様に、心より御礼申し上げます。

- 参加選手数：9 名
(うち招聘選手数：1 名)

競技課題は、「パラリンピック競技大会記録システム」の作成で、競技時間は3時間です。システムには、競技記録データなどの各種データ登録機能や競技における順位付け機能の他、競技記録結果一覧表や競技種目毎の参加者一覧表、表彰状などの帳票作成機能を備えなければなりません。

実務で使える機能とするため、システムの構造を理解し、データの流れに基づいて仕組みをつくることが重要です。そのため、VBA あるいは SQL などの処理技法を使いこなすことが求められます。



金賞受賞者の感想

中山 太郎（熊本県）

データベース種目では第33回の長野大会で金賞を頂いていたのですが、参加条件が変わり金賞を頂いた種目でも参加できるようになり、データベース種目で二度目の金賞を頂く事が出来ました。

前回受賞時の課題と比べると難易度は少し下がっていた様に思いましたが、量は増えており競技課題Aの自宅練習ではしばらく3時間で終わらせる事が出来ず、時間内で終わらせる事が出来る内容に修正しながら本番2週間前にやっと時間内に間に合う形で課題を作成出来る様になりました。実際の競技時は20分前に完了し、見直しを行っているとい間だけ保存が出来ていなかった事が分かり、そこからその一問を解きギリギリで間に合わせる事が出来ました。作成した内容には自信があり間に合わせる事さえ出来れば金賞は頂けると考えておりました。

どの種目に参加しても本番までは練習に時間を取られ、そこまでしてなんで参加しているのだろうと思う事もありますが、大会当日の競技が終了した時の達成感と何かしら賞を頂けたときの嬉しさが忘れられず何度もアビリンピックに参加しております。

今回は閉会式が無くLIVE配信で結果だけを見る形式でメダルをかけて頂く事が出来なかったのは少し残念ですが、最高の結果に終わり満足しております。前回金賞を頂いた時の長野大会での参加者は20名以上で今回は招聘者を含めても9名でした。

アビリンピックは、自分がどれくらいの技術がありどれくらい通用するのか計れる場でもありますので、若い方々にもどんどん参加して頂きたいと思います。

最後にアビリンピックの地方大会、全国大会とこの様な場を設けてくださり関係者の皆様に本当に感謝しております。本当にありがとうございました。



講 評

主査 森田 良一

Windows10からメモ帳の文字コードがJISからUTF8に変わるなどWindowsOfficeアプリケーションの環境が少しずつ変わってきています。小さな変更ですがシステム開発者にとっては結構大きな仕様変更を余儀なくされてしまいますが、グローバルスタンダードへの流れには日本工業規格といえども逆らえないということなのでしょう。

直前まで選手からの質問が絶えなかったため、文字コードの取り扱いはハードルが高かったかもしれませんね。そのため急遽JISコード版とUTF版の二つのCSVファイルを主催者側で用意して競技に挑んでいただきました。

金賞受賞者の作品を見ると、操作者に非常に優しくメッセージを表示しています。次に何をしないといけないか、何が表示されているのか等のラベルがわかりやすく画面に貼り付けられた極めてUIに優れた配慮でした。3時間という限られた競技時間でよくぞここまでというくらい採点者を唸らせた作品に仕上がっていて驚きを隠せませんでした。

この競技種目に限らず事前に公開課題を3時間以内に終了させることを繰り返し練習することが非常に大切です。さらにVBA・SQLの知識が必要です。ACCESSの中に組み込まれているマクロだけでは課題を実現することは出来ません。VBAのコードを記述することで非常にきめ細やかな操作上の振る舞いを実現できるのです。

- 参加選手数：10名
(うち招聘選手数：1名)
- 協賛企業等



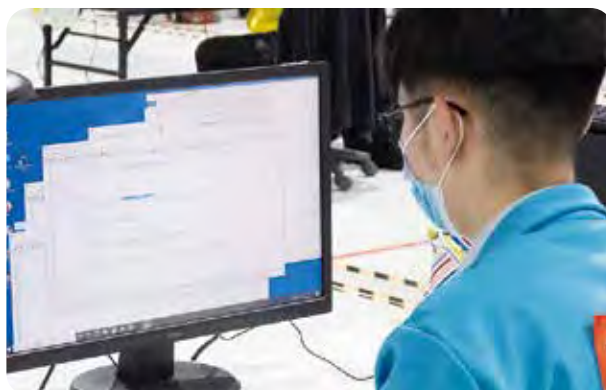
アドビ株式会社



競技課題は、「ある地方都市に所在する観光農園」をテーマとしたホームページの制作で、競技時間は3時間です。観光農園からホームページ制作の依頼があったことを想定し、野菜・果物を生産し、新鮮野菜の直売所・レストラン・体験施設が併設されていること、障がいがある方々の就労を積極的に進めており、農福連携の観光農園として県外からの視察を受け入れていることなどを含んだホームページを作成します。事前公開に基づき、ある程度作成したホームページを当日持参し、当日課題によりアップグレードします。

選手によってはマウスではなくトラックボールを使用します。また、ホームページを拡大して表示したり、音声で読み上げたりして内容を確認し作業を進めます。

課題を仕上げるにはホームページ作成に関する技術に加えて、独創性、芸術性、ユーザビリティやアクセシビリティに関する知識と実践力も必要です。与えられたソフトを正しく活用し、効率よく作業を進めます。





講 評

主査 加藤 貴一

第40回大会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、無観客開催、Web動画配信での開催となりました。ホームページ競技は、大会前の事前課題、大会当日の課題に分類されます。選手においても新たな生活様式に対応される中、事前課題の制作、競技に向けた準備など例年にない取り組みが迫られたと想定します。このような状況の中でも、事前課題を滞りなく制作され、競技に対するひたむきな努力を知ることが出来ました。

本年の競技課題は、観光農園をテーマとしたホームページ制作としました。観光農園の魅力、ブログ形式による情報発信、施設のバリアフリーなどの情報を中心に課題を設定。残念ながら金賞作品はありませんでしたが、僅差となる採点となり、銀賞2名、銅賞1名となりました。参加者の技術レベルは年々確実に向上しており、今後に大きく期待の持てる結果でありました。

ホームページ制作は、制作ツールの高度化、各種サービスなどの利用により、比較的簡単に制作できるようになりました。だからこそ、ホームページ競技で重要にしたい事として、技術はもちろんの事、閲覧者を想定し、わかりやすく、適切な情報提供がなされているかという事を評価しております。ホームページ制作には、制作技術、デザイン、情報設計、文章構成力など幅広い知識・技能が求められます。日々の仕事、学習を通じて習得して頂き、今後も競技に挑んでほしいと思います。

最後になりますが、今年も多くの皆様のご協力により無事に競技を終了することができました。選手の皆様、愛知県関係者、ボランティアの皆様、協力・協賛企業の皆様、大会事務局の方々には大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。

- 参加選手数：8 名
(うち招聘選手数：3 名)

競技課題は、「花束」、「ウエディングブーケ」及び宴会などで使用する「テーブル飾り」の作成で、競技時間は「花束」が 50 分、「ウエディングブーケ」が 70 分、「テーブル飾り」が 50 分です。配られた材料の花を用いて、指定されたスタイル、大きさで作成しなければなりません。

フラワーアレンジメントは、人々の生活空間に安らぎと喜びを与え、心を癒してくれる「花」の魅力を有効に引き出す競技です。このため、課題の目的を理解した上で、それを表現できる想像力が必要です。全体のバランス感覚や雰囲気演出の仕方などがポイントになります。与えられた花材・資材を配分し、また組み合わせて、誰が見ても感動を覚えるような美しさと芸術性、そして実用性を兼ね備えたデザインが求められます。





講評

主査 立川 瞳

第40回全国障害者技能競技大会は新型コロナウイルス感染予防対策のため異例づくめの開催となりました。会場、各フロアは「無観客」とし「Web」上で動画の配信とされました。フラワーアレンジメント競技では、競技前日に本番がスムーズに進行出来る様に注意事項等の説明を行い、選手からは細かい事から不安な点、用具など一人一人たくさんの質問がありました。今まで以上に真剣にメモを取る姿には、今大会が第10回国際アビリンピックへの派遣選手選考でもあり、選手全員が国際大会を目指す姿勢に緊張感を感じました。

競技当日、課題1の作品は花束をスパイラル状に結束してラウンド型に構成し花瓶にセットします。選手の中に招聘選手3名も含まれています。全員が相当練習を重ねてきた様子が出来栄に現れていました。

課題2の作品はブライダルブーケ。最初に支給された花材の中から課題1、課題2、課題3のテーマ配分配色など各自で選択しながら制作を行います。ブライダルブーケも見事にバランスの取れた作品に仕上がっていて、今回はレベルの高さに審査員一同感動し嬉しい気持ちが湧きました。

課題3のテーブルデコレーションのホリゾンスタイル360度展開した作品制作も今まで以上に全員がまとめた技術、そしてバランスの取れた作品に仕上がってくれました。

今回は国際大会を見据え制作時間を5～10分各課題を短くしましたが、ほとんどの選手が十分に完成し清掃まで行う時間の余裕を見せてくれました。全体的にレベルの上がった大会になった事を大変嬉しく思っています。

最後に開催される前から準備に気を付けながら進めて頂いた関係者の皆様に感謝申し上げます。

- 参加選手数：4名
(うち招聘選手数：1名)
- 協賛企業等

DENSO
DENSO WAVE



国立大学法人
名古屋工業大学



競技課題は、ロボットが一定の大きさの図形を作成・描写できるよう、その動きを指示するプログラムを作成するもので、競技時間は6時間です。今回は、アーム型ロボットを使って描画・立体図を作成する競技で、プログラムと実際のロボットの動き等を併せて審査します。プログラミング技術だけでなく、作業の進捗管理能力などシステムエンジニアとしての総合的な技量を競います。

正確で安定した線を短時間で、できるだけ小さなプログラムで描くことが求められます。独創的な入力方法や描画方法は、描画作品と併せて評価されます。また、プログラム内容をいかにわかりやすく的確に資料にまとめることができるか、という点もポイントです。

参加選手は課題を作成するため、構想を練り、次にシミュレーターと呼ばれる機能を使って、ロボットの動きを画面上に再現し、ロボットの動作を確認します。そして、終盤には、作成したプログラムでロボットを動かします。実際にロボットが意図したとおり動くか、緊張感が漂います。そして最後にプログラムに関する資料を作成します。制限時間内に作品が完成できるか、緊張感に満ちた競技となっています。



金賞受賞者の感想

伊敷 学（沖縄県）

今回の競技大会にて金賞を受賞でき、大変嬉しく思います。

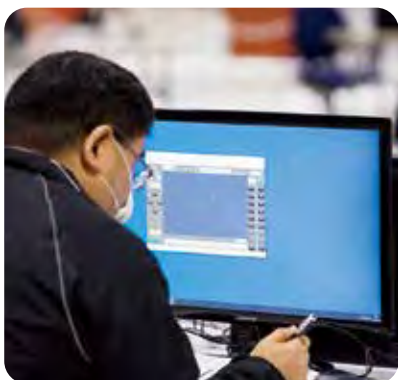
この競技を初めて知ったのは、支援センターからの紹介でした。また職場でコンピュータプログラミングに一部関わる業務があり、大学校でコンピュータプログラミングの学習経験もあったので、競技に挑戦しようと思いました。

2018年の沖縄大会から3年連続で出場しておりますが、過去2回はドキュメントの作成に間に合わなかった事や、プログラムの間違い等もあり賞を逃しましたので、今回は入賞を狙いたい一心で競技に臨みました。

この競技で大変だったのは、どの箇所にもどのくらい時間を配分すべきか悩んだところです。座標データの特定には図形の性質を把握する必要があり、特定までに時間がかかりました。また、座標データやプログラミング文法が間違っていると後々の作業にも影響が出るため、残り時間を確認しながら入力ミス等を何度もチェックしましたので、とても緊張しました。

大会前の練習では、座標の特定や描画ルートの決定、コマンド入力、ドキュメントの作成など、どの箇所でも時間を要したかを確認しました。そこから、どのようにすれば短縮できるか、どのようにすれば容易に把握できるかを特定し、限られた時間の中で何度も練習しました。

過去の大会も含め、これまで支えて下さった会社や支援センターの方々等へ大変感謝しております。今後も様々なプログラミングに積極的に取り組み、日々精進していきたいと思ひます。



講 評

主査 水野 直樹

コンピュータプログラミング種目は、競技課題がコンピュータによる情報の処理にとどまらず、ロボットアームを介して実世界に直接働きかけるといった特徴を持った種目です。このような特徴を持つ種目に、今回の競技大会では前回参加頂いた2名の方、初参加の1名の方、招聘選手1名の方の計4名に参加頂きました。

大会の全体の運営では、昨年度同様に小型ロボットアームとプログラミング言語により3Dペンで一部立体の作品を作成する競技内容を継承しました。加えて、協賛企業のご厚意で一人1台のロボットを配置でき、さらに企業協力員の方の助力も相まって、コロナウイルス感染防止を考慮した競技の準備を順調に整える事が出来ました。

今回の競技大会はロシアで開催予定の国際大会への参加選手の選考会を兼ねていることから、当日課題の設定には参加選手の技能を比較するのにふさわしい難易度になるように配慮を行いました。

当日の競技は午前3時間、午後3時間の計6時間でプログラミング、ロボットを用いた3D作品の描画とドキュメント作成をする総合的な課題に挑戦頂くものでした。

課題図形としては、名古屋に近い競技会場を考慮して、有名な名古屋城の金シャチをイラスト化したものを提示しました。競技はコロナ禍により無観客というこれまでにない状況下にもかかわらず大過なく進行了しました。

競技結果は、初参加の選手を除き課題図形の描画が達成され、招聘選手以外の3名のうちの1名の方が金賞を、昨年銅賞のもう1名の方が銀賞とレベルの高いものでした。

次回の東京大会に向け、ロボットによる課題をさらに検討し、競技を魅力的なものにする予定です。コロナ禍が過ぎ去りより多くの方々に参加頂けることを願っています。

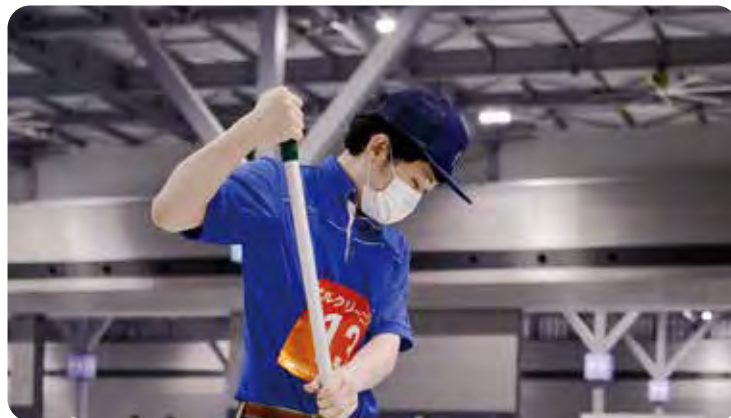
- 参加選手数：38 名
(うち招聘選手数：3名)
- 協賛企業等

公益社団法人 京都ビルメンテナンス協会
京都ビルメンテナンス協会

興和不動産
ファシリティーズ株式会社

競技課題は、クリーニングの基本作業である「弾性床材清掃及び机上の清掃」です。会場内に設けた 16㎡ (4m × 4m) の模擬オフィスにおいて、モップによる床面の拭き、掃き作業と机の上の拭き作業、ゴミの処理を行います。

この競技に関連した就職先は、ビルメンテナンス会社や、特例子会社または企業等の清掃部門があります。作業の効率性やモップなどの資材の取扱い、拭きムラや拭き忘れがない確実な清掃技術が競技のポイントです。また、作業動作に無理がないことや、あいさつなどサービス業としてのマナーも重要視されます。



金賞受賞者の感想

本田 駿斗 (神奈川県)

今回で2度目の全国大会出場なのですが、前回の大会では惜しくも銀賞だったので、今回は絶対に金賞を取る！を目標に、仕事にも力を入れて頑張ってきました。

その前に、先ずは県大会で金賞を取らないと始まらないので、県大会前に練習を重ね、自信を持って大会に参加し、結果的に金賞が取れてホッとしたのも、つかの間、新型コロナウイルスの影響で、全国大会に出場できるのかと不安な日々を過ごしていました。

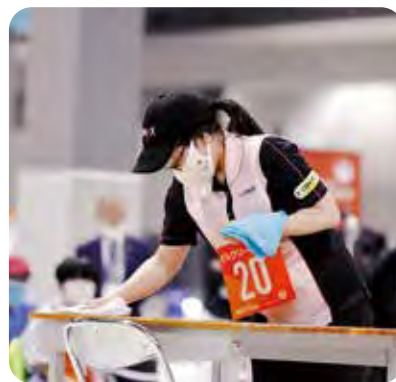
しかしながら、主催者様のお陰で大会が開催される運びとなったので、改めて気を引き締め直し、大会前の強化練習を何度も行い、本番に備えました。

大会前日の会場下見の時から緊張感を覚え、本番の順番を決めるくじ引きの時に、絶対に1番は嫌だなと思っていたら、見事に1番を引き当てて、やってしまった・・・と落ち込んでしまいました。しかしながら、1番なら緊張する間もなく、競技に入れるだろうとか、1番だから、1番(金賞)取れるかもしれない！と自分に言い聞かせて本番当日を迎えました。

本番当日はやはり緊張感があり、競技説明が終わった瞬間、自分の名前を呼ばれ準備して、いざ、競技開始。最初は緊張していましたが、実際には競技に入ってしまうと練習の時の様に集中することができ、あっという間に競技が終わってしまいました。後は、残りの方々の競技を眺めているだけの長い時間が結構辛かったです。

最後の競技者が終わって、結果発表は翌日でしたが、気持ちはかなり軽くなり、帰宅の途につきました。翌日は仕事が入っていたので、お昼休憩時間に結果を伝える電話が掛かってきて、“おめでとう！金賞だよ！”との一声で、凄く嬉しい気持ちが込み上げて来ました。“やった、これでリベンジできた！”と嬉しく、午後からの仕事にも力が入りました。

コロナ禍で大変な時ですが、中でもビルクリーニングは重要な仕事なので、ウイルスに負けないように美観と衛生を保つように頑張ります。



講評

主査 北山 克己

第40回全国大会のビルクリーニング競技は、ロシアで開催される国際大会の派遣競技として認められたことを受け、国際大会の予選会を兼ねることとなり、過去の優秀選手3名を招聘するとともに、全国各地区（34都道府県）の代表35名の選手を加えた総勢38名で実施し、競技課題は、弾性床材での「除塵・拭き及び机上拭き」の1課題としました。

今大会は、日本をはじめ世界中に蔓延している新型コロナ感染禍の中で開催され、選手や関係者の安全を最優先に考え、マスク着用・手指消毒や3密回避・無観客等々の感染防止策を講じながらの競技運営の中で行われました。

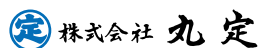
前述のように、新型コロナが蔓延している状況下では、例年行われているような予選会や全国大会に向けた練習や指導等が思うように実施できなかった地区もあると聞いております。しかしながら、参加された各選手の動きを見てみると、自分自身を覆うような大きな緊張感の中でも、練習で培った自分の技量を最大限、制約された短い時間の中で発揮されたのではないかと考えております。そして、無観客開催であったものの、Web上で動画配信された各選手の勇姿は、地元で応援してくださっている指導者や仲間たちに、選手からの希望を込めた「熱いメッセージ」として発信できたのではないのでしょうか。

今大会の各賞は、金賞1名、銀賞3名、銅賞3名、努力賞1名、の8名の選手が受賞されましたが、殆ど差のない僅差の勝負となりました。又、惜しくも受賞に手が届かなかった各選手のパフォーマンスも侮れない技量を発揮されていたと考えております。入賞を逃したものの、ここで諦めず次回の新たなチャンスを目指して頑張ってください。

最後に、競技運営に多大なご尽力を頂いた、高齢・障害・求職者雇用支援機構職員や愛知県職員並びに競技委員及び補佐員の皆様、そして資機材貸与に関してご協力を頂いた京都協会に対しまして心より感謝申し上げます。

● 参加選手数：20 名

● 協賛企業等



製品パッキングとは、荷造り・包装のことをいいます。競技課題は、商品を梱包するための箱や緩衝材の組み立てと、それぞれの組み込みで、競技時間は90分以内です。緩衝材の組立・結束では出来栄だけでなく、結束する際の紐の位置や強さ、緩衝材の並べ方などがポイントになります。組み込み作業では、お客様に届ける最後の工程となるため、見栄えと決められた製品がセットされているかがポイントとなります。



金賞受賞者の感想

山崎 泰（宮城県）

宮城大会には昨年全国大会で銀賞だった同僚が出場していたので、まさか自分が全国大会に行けるとは思ってもいませんでした。

宮城大会で審査員の方にもらった講評は、とても励みになり「全国大会で金メダルを取る」という気持ちが強くなったものの、練習でうまくいかなかったことを思い出しては投げ出したくなり、その度に周りの人に支えてもらって諦めずにここまで来ることができました。

今まで、できないことを理由に投げ出して後悔してきた自分にとって、アビリンピックは「できないことなんて、ないんだ」と言うことを証明してくれた大会です。

私の職場には「作業は手早く、丁寧に」と「今できていることも、もっと良くするために、どうしたらいいかを考えよう」というルールがあります。普段の仕事と同じように製品パッキングの競技課題でも、この2つを考えて工夫と改善を繰り返しました。大変でしたがそれを1つひとつ確実にできるようになっていったことが自信に繋がって、当日は緊張することなく競技に集中することができました。

今回の金賞は、自分一人では絶対に取りることができなかったと思います。

自分に合ったやり方を一緒に考えてくれ、自分に自信をくれた上司や指導者、練習にあたり自分の仕事を引き受けてくれた同僚たち、応援してくれた家族や大会を通じて出会えた皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

私がしてもらったように、今度は自分が頑張る人を支えたいです。



講評

主査 鈴木 陽一

製品パッキング競技は、様々な業種の最終工程を担う梱包作業を“速さ”と“品質”で競う競技です。第40回愛知大会で9回目を迎え、現在の材料を使った課題としては5回目の競技開催となりました。今大会は新型コロナウイルスの影響で大会自体の開催も心配されていましたが、機構職員の方をはじめ、多くのスタッフの尽力で無事に開催された事、大変感謝しております。

今回より選手の技能向上に合わせ、課題の一部を変更し難易度を上げた内容で競技に臨んでいただきました。

課題1「緩衝材の組立・結束」では、ほとんどの選手が30分の時間内に課題数量を作成できています。また、完成した製品のほとんどで品質での減点がありませんでした。課題①は速さを重視する競技内容ですが、速さだけでなく品質も向上しているのがとてもよくわかります。一部で紐の緩みがありましたが、そのほとんどが1本目の紐の緩みですので、緩衝材をしっかり揃えてから結束するようにすれば解決できると思います。

一方で、課題2「小箱・中箱・化粧箱・外箱の組立・セットアップ梱包」では昨年からの課題である品質について今回も多くの課題の残る結果となりました。それが今回の厳しい表彰結果につながっています。特に今回目立ったのが「シワ」です。本来、シワが多く発生するのが化粧箱 身・蓋ですが、今回はそれにプラスし中箱に多く見られました。中箱にある窓部分周辺にこのシワが多いことから、抜き屑を取る際のシワや窓周辺の野線を折る際にできたシワだと推測できます。早さも大事ですが、シワが発生しやすい箇所や作業などポイントを絞り改善していく必要があります。毎回、講評で書いていますが、常に安定した品質を作り出すことがモノづくりの基本です。安定した品質→時間短縮というステップで練習していただき、次回大会では質の向上を期待しております。

最後に、コロナ禍で練習環境が整わない中、頑張って競技に臨まれた選手、ならびに支援者の方々、大変お疲れ様でした。そして大会関係者のみなさまをはじめ、多くのスタッフのおかげで無事に競技を終える事ができました。心より感謝申し上げます。

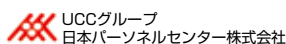
参加された選手の方々の今後の活躍をご祈念いたします。

● 参加選手数：33 名

● 協賛企業等



UCCコーヒープロフェッショナル株式会社



喫茶サービスは、喫茶店等におけるウエイター、ウエイトレスとしてのスキルを競う競技です。競技会場内に設置された模擬喫茶店で、来店されたお客様に対し、他の従業員と連携・協力しながら、お客様の立場に立って正確に、かつ、スムーズにサービスを提供する技術を競います。競技時間は全体として3時間程度ですが、1人当りは50分程度です。



金賞受賞者の感想

加藤 みなみ（宮城県）

今回2回目の全国大会でしたが、前回の講評でいただいたアドバイスや反省を活かし出場しました。

私が接客をするにあたって気を付けていたことは、笑顔と自分の接客を客観的に見ることです。一緒に働く人の動きや店内のお客様の様子をよく観察し、自分がお客さんとして来店した時に違和感のない接客をするよう心掛けていました。

今回私が金賞を受賞できたのは、周りの方々の支えがあったからこそなので、これからは、今回学んだことを生かし、技術面を更にアップしていきたいと思っています。

これから出場される方々へ

笑顔と自分らしさを忘れず、緊張すると思いますが、ぜひ一つ一つ楽しんで競技を頑張ってください。



講評

主査 小松 邦明

今年度は新型コロナウイルス感染拡大の状況下で、選手のみなさんやご家族、所属団体や法人のみなさんには様々なご心配等があったことと思います。参加することを悩まれた方もいらっしゃると思います。そんな中、33名の選手が参加してくれました。まずはそのことに感謝申し上げたいと思います。ありがとうございました。お疲れ様でした。

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、無観客での実施、手洗いや消毒の徹底、三密を避けるなど、大会実施にあたり昨年度に比べて大きな変化がありました。特に「喫茶サービス」は、お客様や従業員と会話する必要があるため距離も近くなったり、数名が食器等に触れたりする競技であり、他の競技以上に感染拡大防止対策を考える必要がありました。その結果、選手のみなさんにフェイスシールドの着用や客席の消毒をお願いし、使用する道具や環境の一部を変更するなど競技の実施方法を変更した点もありました。

このような大きな環境の変化に関わらず、選手のみなさんは感染防止対策を忠実に守り、競技に集中することができていました。このことは私ども専門委員やスタッフだけでなく、見ている人たちに感動を与えてくれたはずです。これもひとえに選手のみなさんの日頃の努力の積み重ねと、各都道府県での熱心な取り組みの成果だと感謝しています。

お客様に対してサービスする基本の流れを覚えるだけでなく、お店全体に気を配り、他の従業員（選手）と協力していろいろな業務を行うことが、お客様の満足につながるはずです。カウンターや下げ台にいるスタッフとも協力・連携するなど、みなさんのサービスは回を追うごとによくなっています。このように相手の立場に立って考えることは、「喫茶サービス」という競技の中だけでなく、日頃の仕事などでもよい結果につながるはずです。

最後になりましたが、この競技を実施するにあたり、新型コロナウイルス感染拡大防止対策など大会スタッフのみなさまをはじめ多くの関係者の方々にご協力いただきました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

● 参加選手数：28 名

競技課題は、「送付書類のピックアップ」、「文書の封入」などの発送準備作業と、郵便物仕分け作業です。競技時間は、1 時間程度です。それぞれの作業における数量や仕上がり状況、作業の正確さを競います。

発送準備作業では、正確かつ丁寧な手作業が求められます。キレいに封入された封筒が送られてくれば、それだけで会社の印象を良くすることにもつながる、大切な技能です。また、郵便物仕分け作業は、オフィスに送られてきた郵便を、宛名を見ながら、部署ごとに仕分ける作業です。正確な作業のために集中力や注意力が求められます。



金賞受賞者の感想

狩野 大介（東京都）

私がアビリンピックを知ったのは高校時代で、当時から「いつか出場したい」という思いがありました。高校卒業後、オフィスアシスタント業務を行う「シンフォニア東武」に就職したこともあり、この部門で挑戦したい気持ちが一層強くなりました。今回、その念願が叶い、さらには全国大会へ出場できるということで、入賞を目標に練習を重ねてきました。

練習では、発送準備作業・郵便物仕分け作業ともに、本番を想定して、時間を測りながら一連の作業を通しで行いました。最初の頃は目標時間ぎりぎりでした。作業を終えられませんでした。繰り返し練習することで徐々に慣れていき、自信ができました。また、発送準備作業の練習では、送付状を見ながら必要書類を封入する際に、誤りのある書類を封入してしまうことがあったので、ミスのないよう重点的に取り組みました。

本番では、練習の甲斐あって、ミスを最小限に抑え時間に余裕をもって課題を終えることができました。発送準備作業で使用するA3片袖折りの用紙が、普段の練習で使用していたものと異なる厚さだったので、競技開始直後は特に緊張感が高まりましたが、落ち着いて最後まで取り組むことができました。競技を終えて、自分の中では練習通りできた感触がありましたが、結果発表で自分が金賞をいただいたとわかったときは、とても嬉しかったです。

全国大会入賞に向けて、大会3ヶ月前から準備をすすめてきましたが、職場の上司・先輩が自分のために練習時間を捻出しサポートしてくれたおかげで、充実した練習期間を過ごすことができました。さらに、金賞受賞という結果を残すことができ、とても感謝しています。これから出場される方も、応援してくれる方々への感謝の気持ちを持ちながら、1日1日を大切にして練習を積み重ね、本番で成果を発揮できるよう頑張ってください。



講評

主査 成田 賢司

新型コロナウイルスの感染拡大により開催が危ぶまれていた全国アビリンピックですが、感染防止策を講じ無観客での開催ということで第40回大会を迎えることができました。オフィスアシスタント競技については、地方大会が中止となった地域もあるなかで全国から28名の代表選手が出場し行われました。

前回大会からの変更点として、課題1の書類の発送準備では、送付書類の種類、枚数の増加、競技時間の短縮により作業速度がポイントとなりました。また課題2の受信郵便仕分けでは、同形異音の名字が多く、漢字への対応力やわかるものから仕分けるなどの切り替えを必要とする内容だったかと思います。

競技結果は、金賞1名、銀賞2名、銅賞3名、努力賞1名となりました。精度、速度ともに高い技能を身につけた選手が多く、上位層が拮抗するハイレベルな争いとなりました。その中でも時間内により多くの成果物を完成させるための工夫や状況に合わせた対応が差となって順位へ影響したものと思われます。

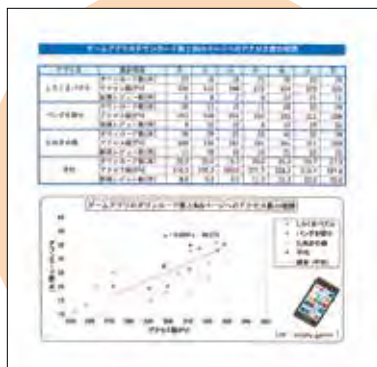
出場された選手の皆様におかれましては、感染防止策へのご協力ありがとうございました。今大会は個別講評がなかったため選手お一人おひとりに評価点やアドバイスなどお伝えできませんでしたが、大会での経験や自身で感じたことなどを身につけた技能とともに今後の就業場面や学校生活で活かしていただき、ご活躍されることを祈念いたします。

最後に、オフィスアシスタント競技は、出場選手、選手支援者、大会関係者をはじめ、多くの方々のお力添えを頂き無事に終える事ができました。心より感謝申し上げます。今大会は選手の近くで応援することはできませんでしたが、動画配信を通じ、より多くの方が気軽に競技を観戦することができたのではないかと思います。新型コロナウイルスによってもたらされた変化も日常生活や学び方、働き方の多様性を考える良いきっかけとなったと思えるよう前向きにとらえていきたいものです。

● 参加選手数：24 名

競技課題は、「表の装飾・編集」、「関数式による表の完成」、「データ処理」及び「グラフ作成」で、競技時間は 75 分です。表計算ソフトの Microsoft Office Excel2016 を使い、Excel の三大機能である、表計算機能、簡易データベース機能、グラフ作成機能の総合的なスキルを競います。

限られた時間内で、いかに正確に、いかに効率よく表やグラフの作成・編集などを行えるかがポイントになります。Excel の操作技術だけでなく、関数やセル参照、論理演算子・比較演算子など、さまざまな知識や応用力も求められます。





講 評

主査 佐藤 京子

全国大会において、単独での表計算種目が行われたのは今回で7回目となりましたが、新型コロナウイルスの影響により、出場を断念せざるをえなかったり、十分な練習時間を確保することが難しい選手も多かったことと思われます。

表計算競技は、課題1（装飾・編集）、課題2（関数式による表の完成）、課題3（データ処理）、課題4（グラフ作成）の4課題で構成されています。これまでの全国大会同様、多くの選手が課題2と課題4で苦戦されていたようです。特に、課題2の関数の設定に手間取ってしまい、他の課題に十分な時間を割けなかったり、見直しをする時間が足りなくなってしまった選手も見受けられました。また、気持ちに余裕がなかったためか、各課題の指示文の読み間違えや見落としなどにより、本来の実力を発揮できなかった選手もいたのではないのでしょうか。

課題2では、どのような関数を用いるのが適切か、どの順番で引数を設定するかなどを、指示文から的確に読み取り、それを判断することが重要なスキルとなります。また、課題4では、目的のグラフを完成させるためには、どの範囲のデータをどのような順番で指定していくかがポイントとなります。つまり、表作成・関数設定・データ処理・グラフ作成については、操作テクニックもスキルとして必要ですが、適切な結果を得るためには、どのような考え方で、どのような操作手順で行うかの判断が重要になってきます。このようなことを意識しながら、日々トレーニングを行うとよいでしょう。

末筆となりましたが、今回も無事終了できましたことは、大会スタッフの方々ははじめ多くの関係者の方々のご尽力の賜物と、深く感謝致しております。また、新型コロナウイルスの影響で、残念な思いや辛い思いをされた選手の皆さんの、そのような「思い」が、次のチャンスにつながることを祈念致しております。

- 参加選手数：3 名
(うち招聘選手数：1 名)

爪の長さや形、表面を整えてカラーを塗る「ベーシックマニキュア」と、ネイルアートの基礎的なテクニックをネイルチップに施す「ネイルチップアート」の2つの課題を行います。時間は「ベーシックマニキュア」が45分、「ネイルチップアート」が70分です。

衛生的な施術を行なっていること、器具・材料を正しく使用していること、ささくれや甘皮の処理がきれいに施されていること等がポイントです。ネイル施術は、正しい知識と技術を身につけることにより、障害の有無にかかわらず、創造力と独創的なセンスで活躍できる可能性を秘めています。





講 評

主査 木村 安気子

ネイル施術の競技は昨年同様、ベーシックマニキュア（お手入れとカラーリング）とネイルチップアートの二つの課題で実施しました。コロナ禍でソーシャルディスタンスを取り、消毒を行い、無観客での競技となりました。今大会では、3名の選手が競い合いました。

前半30分のお手入れは、手指消毒から甘皮処理を行い爪の長さ形と表面を整えました。後半の15分のカラーリングは両手に赤マットを施しました。緊張とプレッシャーがある中で丁寧な施術が出来ており、爪の形の不揃いや甘皮処理が不十分、エッジやサイドの塗り残しなどが明暗を分けましたがケアに関しては殆ど差異が無かったと言えるでしょう。昨年同様、ネイルチップアートのテーマは「花」としました。競技時間は70分。作品がテーマに合っているか、アートの統一性や色合い、モチーフと全体のバランス、独創的で華やかな仕上がりなどが評価の対象でした。また、今年度はアートの配点を差異が出やすいように見直しました。高得点を得た選手は、色彩バランスと繊細なブラシワークテクニックに優れていました。基本的な部分は出来ていても最終的な仕上げと繊細さに違いが出たと思います。競技の時間管理、作業段取りが良く出来た選手は日頃の鍛錬とサロンワークを意識したレベルの高さを感じました。

昨年に比べお手入れとカラーリングはレベルアップしたと思いますが、今回は、残念ながら金賞に該当する選手はおらず、惜しくも銀賞と銅賞という結果になりました。いつもながら選手の競技に取り組む真摯な姿勢がとても印象的でした。今後も益々の活躍を祈念しております。

最後になりましたが、多くの方々のお力添えがあり無事に競技を終了することが出来たこと、参加選手をはじめ、モデル、関係各所の皆様方に心より感謝申し上げます。

● 参加選手数：6名

● 協賛企業等



アドビ株式会社

キャノンマーケティング
ジャパン株式会社

愛知県国際展示場をパンフレットやホームページ上で紹介することを想定し、同展示場を知らない人が「行ってみたい!」と思うような魅力的な写真を撮影し、写真撮影における基本的な技術や総合的な構図力等を競います。

限られた時間の中で、どのような位置や角度から写しているかなどの撮影状況、また、プリント作業では、撮影した写真をどのように選択しているか、プリント仕上がりの状況はどうかなどがポイントとなります。



金賞受賞者の感想

小島 未来（愛知県）

初めてアビリンピックに参加させて頂きました。私は趣味でもあった写真撮影種目があることを知り、上司と相談し勧められて参加しましたが、大会が近づくにつれて好きな写真撮影で負けたくないという気持ちと「もし、失敗したらどうしよう…」という不安な気持ちで揺れていました。本番でどんな写真を撮ろうか色々考えましたが、良いイメージが浮かばず「自分の力でやれるところまでやるしかない!!」と思い本番当日を迎えました。会場はすごく広々としていて、こんな大きな舞台で競技するのかなと思うと、やっぱり「もし、失敗したらどうしよう…」と不安な気持ちになりました。

でも、友達や会社の人から応援メッセージを送って頂いて、不安だけど「頑張ろう!!」と思って競技を始めました。競技ではいつも使っているカメラと違う機種だったので最初は戸惑いましたが、使っているうちにカメラの特徴やクセみたいなものが分かってきました。競技テーマの「愛知県国際展示場の紹介写真」に合いそうな写真をイメージしながら会場の隅々まで歩き回りました。撮影時間が2時間半あるので、焦らずじっくり考えました。撮影後は編集と印刷作業が1時間半ありました。ビックリされるかもしれませんが、実は編集作業が初めての経験で、前日の下見の時に教えてもらって覚えました。自信はなかったのですが、自分なりに自分の力で頑張りました。

翌日、結果発表をネットで見ました。「写真撮影種目・・・銅賞・・・銀賞・・・」ドキドキです。

「金賞 愛知県 小島未来!!!」嬉しくて涙が止まりませんでした。

応援してくれた家族、友達、会社の人、コロナ禍という状況で大会を運営してくださった関係者の皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

これからアビリンピック大会へ出場される皆さん。練習や努力を積み重ねて自分の力を信じて頑張ってください。



講 評

主査 村上 光明

写真撮影競技は第29回全国大会以来の久しぶりの実施となりました。

いよいよ写真撮影競技がスタート、全国から6名のエントリーで大変内容が濃い競技となりました。新規種目として競技内容や採点項目など職業写真の日常業務等と照らし合わせ細かく分類し、実施しました。

競技テーマは開催会場の「愛知県国際展示場」を多くの人に紹介する為のホームページ掲載写真、パンフレットに掲載する写真です。選手は競技前に統一のカメラ機材・PC・画像処理ソフト・プリンターの確認後に国際展示場内外の撮影ゾーンや禁止ゾーンなど細かく説明を聞き撮影構想を練っていました。

競技の主な内容は「午前競技は国際展示場内外の撮影そして撮影マナー」「午後競技は撮影したデータをPCに取り込む作業」「プリントする4点を選び画像処理ソフトで明るさ・色合い・サイズ調整作業」「仕上げはプリントした4点を指定サイズの写真マット紙に挟み競技は終了」です。

一般の撮影業務は撮影後にPCで選別し、一点一点を明度や彩度・サイズを調整保存して納品完了です。現在の職業写真は撮影後のPC処理も求められています。

審査を進める中、プリントまでの工程では僅差でした。提出された4点のプリントの内容が最終審査に大きく影響しました。課題テーマは『行ってみたい！愛知県国際展示場』でしたが、上位入賞した提出写真は課題テーマが集約され画面の隅々まで配慮されていました。

今後は全国大会で実施された事で地方大会での写真撮影競技も活発になると思います。写真は沢山撮ることが上達の近道。最後に選手皆様の熱意と高齢・障害・求職者雇用支援機構のご努力、そして愛知県の皆様に敬意を表して講評と致します。

PC ASSEMBLY AND TESTING
パソコン組立

● 参加選手数：2 名

パソコン組立では、4時間の制限時間の中でデスクトップ型パソコンの中身を組み立て、ソフトウェアのインストールや設定を行い、パソコンとして利用できるようにします。ハードウェアとソフトウェアの両面から作業を行い、その完成度・的確さや正常に動作するかを競います。

パソコンのパーツには精密機械が多いため、仕様通りにパーツを手順良く取り付けをしないとパソコンケース内にきれいに収まらなかったり不具合が起きることもあります。大会当日は、選手の真剣で慎重に取り組む姿勢にご注目いただきました。





講 評

主査 相良 佳孝

パソコン組立の競技は2名の選手で行いました。4時間の競技時間の中で準備された部品からパソコンを組み立て、ソフトウェアをインストールし、各種設定をする競技です。

組み立てでは、ケース、マザーボード、CPU、メモリ、HDDなどを使って順番に組み立てていきます。この時、ただ組み立てるだけではなく、取り付けネジの種類は正しいか、ケース内の空気の流れを考慮して配線がまとまっているかなども大切な要素になります。精密機器を扱うことになるので慎重に作業をしなければなりませんし、作業速度も意識する必要があります。どのような順序、やり方で組み立てていくかは選手により異なり、それぞれのやり方で真剣に取り組まれていました。今大会はWebによる配信が行われていたので、ご覧いただけた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

ソフトウェアではBIOSを設定し、オペレーティングシステム及び各種ドライバ・ユーティリティを順にインストールしていきます。また、その他にもHDDのパーティションを区切ってデータ領域を確保したり、ネットワークに関する情報を入力したりと様々な設定を行います。

このようにパソコン組立はハードウェアとソフトウェアの両方の知識・技能が必要になる競技になり、選手両名とも高い技能を発揮されていました。

最後になりましたが、今大会は特別な状況であったため、これまでとは違った環境・対応をお願いしたこともありました。そのような中、選手、選手支援者、大会関係者のみなさまをはじめ、多くのスタッフのご協力をいただいたおかげで無事に競技を終えることができました。心から感謝申し上げます。参加された選手のみなさまにおかれましては、ご自愛いただきながら、今後もより一層ご活躍されることを祈念いたします。

● 参加選手数：6 名

● 協賛企業等



有限会社エクストラ



株式会社高知システム開発



株式会社システムギアビジョン



株式会社スカイフィッシュ

競技課題は、Microsoft Excel2016 を使用したデータ処理とインターネットの検索で、競技時間は 100 分です。参加選手は全員視覚障害のある選手で、画面の文字を音声化する読み上げソフトや、画像を大きくする拡大ソフトを利用しながら、キー入力によってパソコンを操作します。

視覚に障害のある方は、データ領域を見て確認することができません。また、関数のポップヒントを読むこともできません。そこで、データ領域を調べるショートカットキーや、関数の利用方法を暗記して操作しています。列タイトルやセルの書式などからデータの詳細を理解し、目的に合わせて関数やグラフなどを組み合わせること、またインターネット検索では結果を文章中に適切に貼り付けることなどがポイントです。視覚に障害のある方は、このような技能を身につけることにより、パソコンを使う企業のさまざまな部署で活躍しています。





講 評

主査 石川 充英

パソコン操作は、視覚障害者が「画面情報読み上げソフト（以下、スクリーンリーダー）や「画面拡大ソフト」などの支援ソフトを使用して、表計算ソフトやブラウザなどの操作力を競う競技です。

スクリーンリーダーは、入力する文字やその変換の状況、画面に表示されている文字や操作メニューなどを読み上げることで、視覚障害者のパソコン操作を支援します。

今回、表計算ソフトの課題は、基本的な関数の理解のほか、勤務時間の計算、テーブルの書式設定、グラフの作成とその視覚的要素の修正などでした。また、インターネット検索問題は、指定されたファイルを官庁のWebサイトからダウンロードし、そのファイルを加工する課題でした。また、今回は日本語ワープロを使用した差し込み印刷も出題しました。いずれの課題も実際の業務でよく使われている操作を意識した課題でした。

選手のみなさんは、公開課題をよく勉強されていたと感じました。一方、実際の事務職では、表計算ソフトの基本的な関数の理解、日本語ワープロソフトの操作力、インターネットの検索力も必要となります。今後のさらなる操作力の向上に期待したいと思います。

視覚障害者は、スクリーンリーダーなどの支援ソフトを使うことにより、ビジネスソフトの操作が可能です。ひとりでも多くの視覚障害者の方が、就労や勤務の継続ができることを切に願います。そのためには、視覚障害者当事者のたゆまぬ努力だけではなく、多くの企業が合理的配慮により視覚障害者の働くための環境を整えることに理解を示して欲しいと思います。

今回は、新型コロナウイルス感染拡大防止の対策を講じて実施された大会でした。

パソコン操作競技が無事に実施できたことについて、選手や支援者の皆さま、競技補佐員をはじめすべての関係各位にこの場を借りて厚く御礼申し上げます。

● 参加選手数：21 名

競技課題は、「アンケートの入力」、「ワープロ文書の修正」及び「帳票の作成」で、競技時間はそれぞれ 30 分以内です。データ入力・修正等の速さと正確さを競います。「アンケートの入力」では、いかにミスなく多くのアンケートを入力できるか、「ワープロ文書の修正」では、いかに早くミスを発見して正確に修正できるか、そして「帳票の作成」では、文字・数字の入力だけでなく数式や書式設定も使って体裁の整った帳票を作成できるかを競います。

選手たちの集中力や持続力、そして正確なタッチタイピングの技能です。知的障害のある方々のパソコンデータ入力に係る速さ、正確さは、日々の訓練により、更に高まる可能性を秘めています。

項目	回答	備考
1. 性別	男性	
2. 年齢	25歳	
3. 職業	会社員	
4. 収入	20万円以下	
5. 学歴	大学	
6. 結婚状況	未婚	
7. 子どもの数	1人	
8. 子どもの性別	男	
9. 子どもの年齢	5歳	
10. 子どもの職業	学生	
11. 子どもの収入	なし	
12. 子どもの学歴	大学	
13. 子どもの結婚状況	未婚	
14. 子どもの子どもの数	0人	
15. 子どもの子どもの性別	なし	
16. 子どもの子どもの年齢	なし	
17. 子どもの子どもの職業	なし	
18. 子どもの子どもの収入	なし	
19. 子どもの子どもの学歴	なし	
20. 子どもの子どもの結婚状況	なし	





講評

主査 落合 昇

平成17年の第28回山口大会から始まった本競技は、通算13回目を数えます。今回は、北は北海道、南は熊本まで各都道府県から、21選手にご参加いただきました。

競技は、前回大会同様、アンケート入力、文書修正、帳票等作成の3課題各30分により実施されました。上位の選手の争いは本当に僅差で、全体としてもレベルが底上げされているように感じました。

課題1については、正確に入力ができている選手が前回大会よりも多くなってきています。やはり仕事をする上では、正確性が重要だと考えていますので非常に良い傾向だと思います。課題2については、文字を修正するという点で本質的には変わっていませんが、昨年度に文書ベースへと変更になり今回が新課題として2回目になりますが、間違いを探すページ数が少し増えたものの、「ルール」を元に、しっかりと修正をすることができていて、皆さんの練習の成果を感じました。課題3については、日付の指定を西暦表記とするなど、指示内容が前回と若干異なりましたが、しっかりと把握して対応されている選手が多く、感心しました。しかし、保存の指示に対応できていない選手や印刷でミスをしている選手が多く見受けられ、印刷してから印刷物でチェックしている選手が多く、課題2で身につけた能力を課題3で活用できていないように感じたのは少々残念でもあります。無駄な印刷自体にも時間がかかってしまいますので、是非、課題2で培った能力を印刷前のチェックで活かして効率化を図っていただきたいと思います。

現在の世の中を取り巻く環境からも、今後この競技で培った能力が、社会で活かせる状況がより多くなると思います。これからも、入力の正確さ、スピード、そしてミスを見逃さない力を身に着けて、次年度の全国大会で上位を目指してがんばって下さい。

末筆になりますが、ご協力いただきました関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

- 参加選手数：10名
(うち招聘選手数：1名)
- 協賛企業等

JUKI JUKI 販売株式会社

競技課題は、「エプロンの縫製」で、競技時間は4時間です。配られた9枚のパーツをミシン、アイロン、鋏、目打ちなどを使い、組み合わせて縫製します。課題材料の各パーツの仕上がり寸法の正確さ、アイロンとミシンの技法、完成作品の出来栄などを競います。

課題作品を製作する大切なポイントは2つあります。1つ目はミシンをかける際の指先と布の扱い方、2つ目はアイロン作業です。布のいせ、ギャザー、曲線のくせ取りなど必要な部分に、しっかりとミシン縫いやアイロンがけをすることで、きれいに仕上げることができます。布地の扱いやミシン縫い、アイロンなどを適切に使用できる技術が必要です。



金賞受賞者の感想

板垣 美穂 (山形県)

初めて全国大会に参加したのは、38回沖縄大会でした。全国大会に参加できることに驚き、緊張しながらも、練習の成果を出せたらいいと思って参加しました。

多少のミスがあったにもかかわらず、努力賞をもらえてうれしかったです。39回大会の時は、アイロンのかけ方や、ポケットの縫い目に注意しながら仕上げ、銀賞をもらえたことに驚きました。

今回は、無観客という、これまでと異なる雰囲気の中での大会でした。前回、うまくできなかった所とフリルを重点的に練習し、大会本番、注意しながら完成させることができました。

自分では失敗したと思ったところがあり、入賞はないだろうと思っていたので、金賞ときいて「まさか!!」と思い驚きました。

指導してくださった職員の方、仕事にもかかわらず、練習に協力してくれた作業場のみなさん、応援してくれたセンターのみなさんに感謝します。ありがとうございました。



講 評

主査 野中 恭子

第40回大会はコロナ禍の中で昨年と同じ中部国際空港に隣接した国際展示場で、無観客、Web配信と初めての環境のなかで開催されました。縫製種目は招聘者1名を含む10名の参加と、ここ数年の参加者を大きく下回りました。今大会は国際大会の選考会を兼ねており、先の大会で悔しさや納得できない結果を残した選手のリベンジがありました。国際大会出場を目指しそれぞれの環境の中で日々努力されたことでしょう。また、コロナ禍の中で出場を断念された方もあるのではと推察いたします。

競技は午前の部が10時から13時までの3時間、午後は14時から15時の1時間で合計4時間の製作時間ですが、今回の課題はポケットに丸みが加わり前回の課題よりアイロン操作テクニックが必要となる箇所が増えています。皆さん自信に満ち、淡々と各自が練習の中で考え作り上げた作業工程を進行して行きました。大会の雰囲気全体としては、参加者にかつてない落ち着きとマイペース感が見られました。また、参加者は時間を有効に使い自分のやるべきこと、練習したことを出し切るといったパワーも感じましたが、やはり、再度の参加者と初参加者との間にはスピードだけではなく、アイロン操作などテクニックにも差が見え出しました。これは結果に表れ、全員が時間内に完成とはいきませんでした。金メダル1名、銀メダル1名、銅メダル2名の入賞者のうち、2名が二度目以降の参加者という結果でした。

全員が参加された総評では涙する選手の姿も見られましたが、結果だけではなくアビリンピックに参加する過程が選手にとって、どのような場面においても粘り強さや強い精神力、集中力の向上へと繋がるものだと感じております。

多くの方々が、目標に向かって輝き、就労への道が広がる本大会に関わることに感謝いたします。最後になりましたが、関係する全ての方々のおかげで、競技が円滑に進行できましたことを心より御礼申し上げます。

- 参加選手数：14 名
(うち招聘選手数：3 名)

競技課題は、のこぎり、のみ、かんなどの手工具を使った「蓋付き木箱」の製作で、競技時間は5時間（6時間打ち切り）です。参加選手は、日頃から培ってきた家具製作の基本を、どのくらい正確に発揮できるかを競います。

加工精度や仕口（2つ以上の部材を組み合わせ接合する方法）などの出来栄と、作業時間がポイントです。部材の長さを正確に木づくりすることや、直角に組み立てられていること、また仕上がりが美しく、かつ正確であることなどが重要です。



金賞受賞者の感想

地下 優輝（鹿児島県）

私は、今回アビリンピック全国大会に初めて出場しました。全国大会で金賞という目標に向かって技術に磨きを掛けてきました。

会場下見の時は、会場の大きさに圧倒され、そわそわして、手も震えていました。本番前日まで、図面を見ながら毎日イメージトレーニングをして作業を憶えましたが、本番はしっかり作り上げられるか、不安でいっぱいでした。夜にみんなで集まり、先生から「絶対に出来るから、落ち着け。」と言われ、細かなアドバイスをもらいました。

本番当日、作業開始の合図で作業が始まり、前半は順調に作業が進んでいきました。しかし、途中で手順を間違えてしまい、頭の中が真っ白になって焦りました。昼食時間に先生と作業手順を再確認しました。少し落ち着いたので、昼からの作業は、時計を見ながら作業を進め、少しずつペースも上がり、標準時間ギリギリで作品を出すことができた時には、ホッとしました。時間をいっばいかけたので、今までで1番いい作品が出来たような気がしました。

帰りの空港で、お昼ご飯を食べながら、みんなで成績発表を見ました。木工競技は1番最後に発表されるので、ドキドキしながら待ちました。金賞で自分の名前が呼ばれたときは、夢のようでとてもうれしかったです。担任の先生方や家族も喜んでくれたので、うれしかったです。

私1人の力では、入賞できなかったと思います。周りの方のサポートのおかげで金賞を取ることができました。

第40回アビリンピック全国大会に参加させていただき、ありがとうございました。また、アビリンピックに挑戦したいです。



講 評

主査 小林 正道

木工競技は、11月14日（土）に昨年と同様、中部国際空港セントレア隣接の愛知県国際展示場で行われました。今年は、コロナ禍での開催のため集合しての開会式・閉会式が行われず無観客で競技大会が実施されました。競技の様子は、ライブ配信されました。

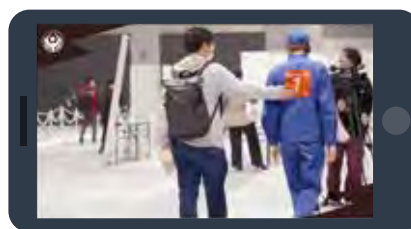
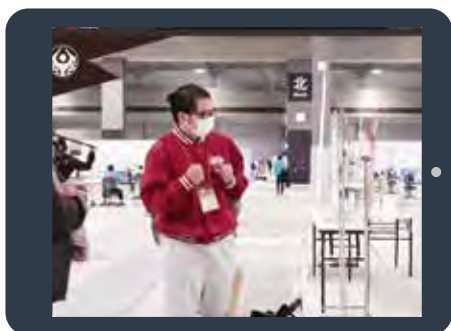
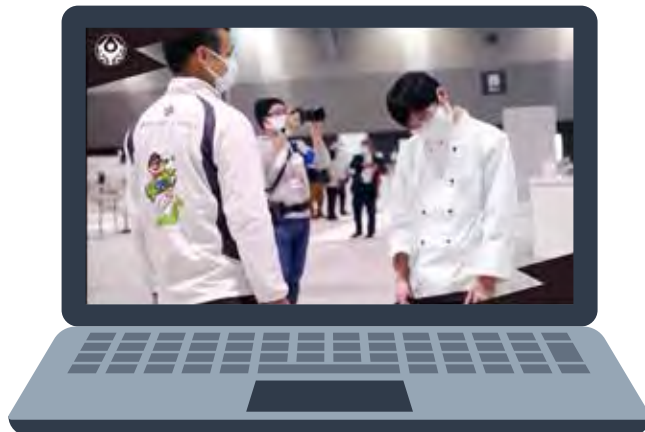
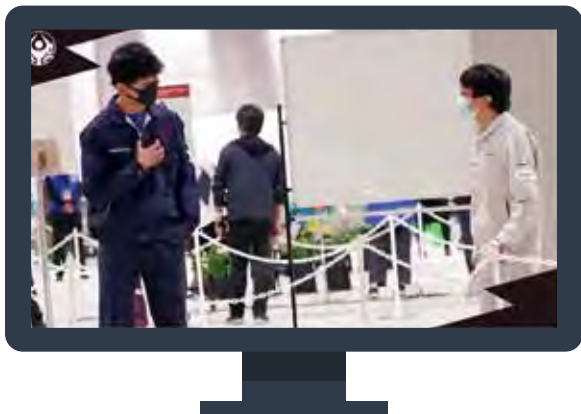
会場入口で、大会関係者、参加選手、報道スタッフなど厳しい入場制限があり、隣りの技能五輪会場への入場も出来ないほどでした。会場入り口の通路では、検温・手のアルコール消毒やマスク着用のチェックなど普段とは異なる状況下での大会でした。大会が無事終了できたことは、多くの皆様の御努力と参加者皆様のご協力の賜物と深く感謝申し上げます。今大会は、国際大会（ロシア）に出場する選手の選考も兼ねているため、過去3大会の金メダル受賞者を向かえ入れての競技大会となりました。

競技は、午前9時に開始し、昼食休憩をはさみ終了が15時（延長終了時間16時）と長丁場です。選手は、日頃の練習の成果を発揮し、墨付け・加工・仕上げ・組み立てを手際良くこなし、全選手が時間内に課題を提出することが出来ました。

木工競技は、14名（3名は招聘）の参加選手で行なわれました。競技課題は、平成11年にこの競技が開設されて以来同じ課題で、蓋付き木箱の製作です。競技標準時間は、5時間とし、さらに1時間後を打ち切り時間と設定しています。提出課題の評価は、加工精度、できれば、作業時間、作業態度の4項目で行い、これらの点数の合計を成績としています。競技の結果は、金賞1名、銀賞1名、銅賞3名で、選手一人ひとりの力量が高く、レベルの高い大会でした。特に、金賞と銀賞の差は少なく全体の仕上がり、留の付き具合、三枚組の胴付の付き具合などの状態の良否で決まりました。

今年は、コロナ禍で練習にも支障があったと思いますが、蓋の製作から箱本体の製作に至る一連の流れが理解でき、部材の墨付けから加工・組み立てに至る基本が練習によって備わっていたと感じました。日頃から研鑽を積まれ競技大会に参加された選手の皆様及びサポートされた方々に敬意を表します。

大会の様子





成績発表



メダル・楯・参加記念品



金賞



銀賞



銅賞



努力賞



記念品

第40回 全国障害者技能競技大会（アビリンピック）

全国障害者技能競技大会（以下「大会」という。）は、障害のある方々が日頃培った技能を互いに競い合うことにより、その職業能力の向上を図るとともに、企業や社会一般の人々が障害のある方に対する理解と認識を深め、その雇用の促進等を図ることを目的として開催しており、今大会は40回の節目を迎える記念すべき大会として、盛大に開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により「無観客」で令和2年11月13日（金）から15日（日）までの3日間にわたり、昨年引き続き愛知県（会場：愛知県国際展示場）において開催した。

大会は、昭和47年の第1回大会から平成13年の第25回大会までは千葉県において開催してきたが、第26回大会以降は原則として技能五輪全国大会と同時期に開催し、全国の企業や社会一般の方々に、障害者の職業能力についての理解と関心を深めていただくために、熊本県、宮城県、山口県、香川県の各地で開催した。節目となる第30回大会は再び千葉県で、第31回大会は茨城県で天皇陛下御在位20年慶祝行事として開催し、第32回は神奈川県、第33回は長野県、第34回は千葉県、第35回は愛知県、第36回は山形県、第37回は栃木県、第38回は沖縄県、第39回は天皇陛下御即位記念として愛知県で開催した。

今大会は、上述したとおり新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から「第40回全国障害者技能競技大会における新型コロナウイルス感染拡大防止のための具体的な措置」を策定の上、「無観客」で開催したが、初の試みとしてアビリンピック専用のホームページを開設し、開会式、競技風景及び成績発表の様子をLIVE配信した。また、アビリンピック専用のSNSを開設し、大会期間中等のタイムリーな情報発信に努めた。

加えて、今大会はロシア連邦モスクワ市で開催予定の第10回国際アビリンピック派遣選手選考のための大会として位置付けており、第36回から第39回までの金賞受賞者を招聘し、今大会の選手と同一の課題・環境で競技に取組んだ。

なお、例年、アビリンピックの一環として、障害者の雇用の促進等に関する啓発効果を高めるため、障害者の雇用に関わる展示、実演、体験などの総合的なイベントとして開催していた「障害者ワークフェア」については、新型コロナウイルス感染症の影響により、その開催を中止した。

また、今大会は、青年技能者の技能レベル日本一を競う「第58回技能五輪全国大会（主催：厚生労働省、中央職業能力開発協会）」と同時開催された。

I 概要

1 実施内容

1 主催

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構

2 協力

愛知県

3 後援等

(1) 後 援

厚生労働省、内閣府、文部科学省、経済産業省、中央職業能力開発協会

(2) 協 賛

一般社団法人日本経済団体連合会、日本商工会議所、全国商工会連合会、
全国中小企業団体中央会、中小企業家同友会全国協議会、
一般社団法人日本新聞協会、日本放送協会、一般社団法人日本民間放送連盟、
社会福祉法人日本身体障害者団体連合会、全国手をつなぐ育成会連合会、
公益社団法人全国精神保健福祉会連合会、公益社団法人全日本洋裁技能協会、
一般社団法人日本洋装協会、一般社団法人日本家具産業振興会、
一般社団法人日本印刷産業連合会、公益社団法人日本歯科技工士会、
一般社団法人日本義肢協会、公益社団法人日本義肢装具士協会、
フラワー装飾技能検定中央協議会、公益社団法人全国ビルメンテナンス協会、
特定非営利活動法人インターナショナルネイルアソシエーション、
一般社団法人障害者雇用企業支援協会、
公益社団法人全国障害者雇用事業所協会、日本労働組合総連合会

(以上、順不同)

(3) 技能競技実施機器等協賛企業等

アドビ株式会社、有限会社エクストラ、オートデスク A T C 事務局、
キヤノンマーケティングジャパン株式会社、公益社団法人京都ビルメンテナンス協会、
一般財団法人啓成会、株式会社高知システム開発、興和不動産ファシリティーズ株式会社、
株式会社ジーシー、株式会社システムギアビジョン、J U K I 販売株式会社、株式会社松風、
株式会社スカイフィッシュ、西武学園医学技術専門学校、公益社団法人全日本洋裁技能協会、
ソリッドワークス・ジャパン株式会社、ダイナコムウェア株式会社、株式会社デンソーウェーブ、
国立大学法人名古屋工業大学、愛知県立名古屋高等技術専門学校、
日本パーソネルセンター株式会社、株式会社丸定、U C C コーヒープロフェッショナル株式会社

(以上、50 音順)

4 開催日程及び会場

(1) 令和2年 11 月 13 日 (金)

開会式：Web 配信

(2) 令和2年 11 月 14 日 (土)

技能競技：愛知県国際展示場 (展示ホール E 及び F)

(3) 令和2年 11 月 15 日 (日)

成績発表：Web 配信 (展示ホール E)

5 技能競技概要

(1) 技能競技種目数及び参加選手数

25 種目、330 名（うち招聘選手 28 名）

(2) 金賞（厚生労働大臣賞）受賞者数

15 種目、15 名

6 第 40 回全国障害者技能競技大会 Web ページアクセス数等

(1) Web ページアクセス数

93,721 件

(2) LIVE 配信動画視聴者数

59,953 件

7 大会シンボルマーク

大会を象徴するシンボルマークは、岡本太郎氏に依頼し制作され、1972 年の第 1 回大会以来、国内大会で使用されている。月桂樹の葉と人間を形どったこのシンボルマークは、障害を克服して力強く自分を切り開いていく人間像を表している。



2 運営に当たっての支援

今大会の運営に当たって、厚生労働省、愛知県をはじめ、関係団体及び民間企業等に支援をお願いしたところ、それぞれご承諾をいただき、多くのご支援、ご協力をいただいた。主な支援・協力は以下のとおり。

- 1 公共・民間の職業能力開発施設、関係団体及び企業等による技能競技実施スタッフの派遣、並びに技能競技に使用する機器等の提供
- 2 愛知県による地元マスメディア等を通じた大会の広報・周知
- 3 愛知県による大会当日の運営協力
- 4 愛知県による手話通訳者、要約筆記者及び看護師の配置に係る支援

Ⅱ 開催準備

1 技能競技

1 各種委員会の設置

第40回大会の開催に当たり、日程、場所及び技能競技種目に関する基本的事項のほか、技能競技課題並びに技能競技使用機器等を決定するため、次の委員会等を設置、開催した。

(1) 第40回大会競技委員会

- ・開催年月日：令和2年2月3日（月）
- ・開催場所：独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 東京支部
- ・審議事項：第40回大会概要について
第40回大会実施要綱（案）について
第40回大会の技能競技水準について

(2) 第40回大会競技委員会専門部会（第1回）

注：以下の開催を予定していたが、新型コロナウイルスの影響により、専門委員主査が一堂に会する専門部会の開催を中止し、専門委員主査に資料を送付した上で個別の対応を行った。

- ・開催年月日：令和2年4月10日（金）
- ・開催場所：独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 東京支部
- ・審議事項：第40回大会概要について
第40回大会競技委員会専門部会の業務及び今後の日程等について
第40回大会技能競技課題の作成について
第10回国際大会の概要及び今後の日程等について

(3) 第40回大会競技委員会専門部会（第2回）

注：以下の開催を予定していたが、新型コロナウイルスの影響により、専門委員主査等が一堂に会する専門部会の開催を中止し、専門委員主査等に資料を送付した上で個別の対応を行った。

- ・開催年月日：令和2年5月27日（水）
- ・開催場所：愛知県国際展示場
- ・審議事項：第40回大会概要について
第40回大会競技委員会専門部会の業務及び今後の日程等について
第10回国際大会の概要及び今後の日程等について
第41回大会の開催計画について
第40回大会技能競技大会会場の現況把握等

2 実施要綱の発表及び周知・広報

(1) 実施要綱の策定

第40回大会競技委員会における審議を経て、令和2年4月7日（火）に「第40回全国障害者技能競技大会実施要綱」を策定し、8日（水）に各都道府県知事及び各都道府県支部長あて通知するとともに技能競技参加選手の推薦を依頼した。

なお、当該要綱については、新型コロナウイルス感染症対策等のため令和2年8月27日（木）に所要の改正を行い同日各都道府県知事及び各都道府県支部長あて通知した。

(2) 周知・広報活動

機構広報誌「働く広場」や機構メールマガジンにおいて、開催告知の記事掲載を行ったほか、協賛団体及び関係機関の広報誌等への記事掲載やマスコミへのプレスリリースを行った。

また、競技風景等をLIVE配信するため、アビリンピック専用ホームページを新たに開設し、当該ホームページのアドレス等についても、広く周知を行った。

3 技能競技選手の募集・決定

(1) 募集

各都道府県知事及び各都道府県支部長あてに「第40回全国障害者技能競技大会実施要綱」を通知し、技能競技参加選手の募集を開始した。

なお、技能競技参加選手推薦の締切は、原則として令和2年7月31日（金）としたが、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、令和2年8月31日（月）を最終締切とした。

(2) 決定

各都道府県知事からの推薦をもとに、336名の技能競技参加選手を決定し、令和2年9月3日（木）から各都道府県知事及び各都道府県支部長あて通知を開始した。

なお、33名が技能競技参加を辞退するとともに、1名が当日欠席となったため、最終的に技能競技参加選手数は302名となった。

また、今大会はロシア連邦モスクワ市で開催予定の第10回国際アビリンピック派遣選手選考のための大会として位置付けたことから、第36回から第39回までの金賞受賞者45名を招聘対象選手とし、同大会の参加意向確認を行った上で28名に対し招聘選手として令和2年9月3日から決定通知を行った。

4 技能デモンストレーション参加者の募集・決定

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点により、第40回大会が無観客開催となったことから、その実施を見合わせた。

5 技能競技課題の作成

令和2年4月10日（金）、各技能競技種目の専門委員主査に技能競技課題の作成を依頼した。

第40回大会競技委員会において決定した技能競技課題の作成方針に基づき、「洋裁」、「家具」、「電子機器組立」、「義肢」及び「フラワーアレンジメント」の5種目の競技課題水準を職業能力開発促進法に規定する技能検定2級の該当職種の実技試験と同程度とし、競技結果が一定以上の成績を修めた者に対しては技能証を交付するとともに、技能検定2級の実技試験が免除される特典を付与することとした。

また、「ワード・プロセッサ」及び「表計算」の競技課題については、中央職業能力開発協会が実施するコンピュータサービス技能評価試験2級と同水準として、競技結果が一定以上の成績を修めた者には技能証を交付し、本人からの申請により同評価試験2級の合格証書が同協会から受けられる特典を付与することとした。

これら7技能競技種目の競技課題について、以下のとおり中央職業能力開発協会の審査を経た後、技能検定（2級実技試験）に該当する競技種目については、厚生労働大臣に対して競技課題を承認申請し、コンピュータサービス技能評価試験（2級）に該当する競技種目については、同協会に対して競技課題を認定申請し、それぞれ承認又は認定された。

◎技能競技課題審査

- ・ 審査依頼年月日：令和2年7月30日（木）
 - ・ 審査終了年月日：令和2年8月6日（木）
 - ・ 審査依頼先：中央職業能力開発協会
 - ・ 審査依頼内容：技能競技課題の事前審査
 - ・ 審査依頼種目：洋裁、家具、電子機器組立、義肢、フラワーアレンジメント、ワード・プロセッサ、表計算
- ※第40回大会において、技能検定試験（2級実技試験）又はコンピュータサービス技能評価試験（2級）と同程度の水準で実施する技能競技種目のみ

◎技能競技課題承認申請等

- ・ 承認申請等依頼年月日（厚生労働省）：令和2年8月18日（火）
- ・ 承認年月日（厚生労働省）：令和2年10月8日（木）
- ・ 承認申請等依頼年月日（中央職業能力開発協会）：令和2年7月30日（木）
- ・ 認定年月日（中央職業能力開発協会）：令和2年8月6日（木）
- ・ 厚生労働省への承認申請種目：洋裁、家具、電子機器組立、義肢、フラワーアレンジメント
- ・ 中央職業能力開発協会への認定申請種目：ワード・プロセッサ、表計算

6 技能競技課題及び使用機器等の発表

第40回大会に参加する選手が競技水準及び競技内容等について事前に情報を得て技能競技への準備を進めるほか、競技参加に当たって自己の技能を磨くための参考資料として活用できるように、技能競技の事前公表課題を令和2年8月20日（木）から順次当機構のホームページへ掲載・公表し、併せて各都道府県職業能力開発主管課及び各都道府県支部へ周知した。

なお、技能競技課題の公表の後、技能競技で使用する機器等についても「技能競技種目別使用機器等一覧表」として令和2年10月1日（木）に当機構ホームページへ掲載・公表し、併せて各都道府県職業能力開発主管課及び各都道府県支部へ周知した。

7 技能競技使用機器等の調達

第40回大会の技能競技において使用した機器並びに機材等は、各技能競技種目の課題に従ってそれぞれ選定し、23企業・団体等から多数の機器及び機材等を借用又はご提供いただいた。

8 会場借上げ・宿泊・輸送・警備・医療救護・情報保障

第40回大会は、機構の単独開催（単独主催）となったことから、愛知県の協力のもと、機構において大会開催に必要な各種の調達等を行った。

(1) 会場借上げ

第39回大会の開催実績等を踏まえ、愛知県国際展示場を大会会場として決定した。

(2) 宿泊

各都道府県選手団及び技能競技実施スタッフ等の第40回大会関係者の宿泊については、以下の方針により配宿準備を進めた。

- ・各都道府県選手団の移動に係る負担を最大限軽減するとともに、競技進行に遅延が生じないよう、宿泊施設は愛知県国際展示場近隣の施設を選定する。
- ・車いす利用等の技能競技選手のため、バリアフリー対応設備の整った宿泊施設を複数手配する。
- ・技能競技選手の宿泊に当たっては、個別の障害特性等に応じて宿泊支援用具を手配する。
- ・各都道府県の競技選手引率者が各都道府県選手団の引率業務を安全かつ円滑に対応できるよう、また緊急時の連絡等に支障が生じることがないように、可能な限り都道府県選手団ごとに同一の宿泊施設を配宿する。
- ・新型コロナウイルス感染症対策のため、チェックイン時や朝食時における具体的な混雑緩和策を講じる。

(3) 輸送

技能競技選手等の移動に係る負担軽減のため、大会会場から宿泊施設までの間においてシャトルバスを運行するとともに、車いす利用者などシャトルバスの乗り降りが困難な技能競技選手に対しては、福祉タクシーによる個別輸送の手配を行った。

また、大会期間中における大会会場近隣の食事提供施設の休業（時短営業を含む）のため、宿泊施設から近隣のショッピングモール間においてシャトルバスの運行を行った。

(4) 警備

会場設営に係る機材等搬出入車両等の誘導及び第40回大会関係車両の識別（関係車両には事前に駐車許可証を配付）のため、車両の出入口ゲート等に警備スタッフを配置したほか、大会会場内における万が一の事故等の発生に備え、競技会場入口に警備スタッフを配置した。

(5) 医療救護

技能競技選手等をはじめとした大会関係者の怪我及び疾病等に対する応急処置を行うため、会場下見日の令和2年11月13日（金）及び競技実施日の令和2年11月14日（土）の2日間救護室を設置し、愛知県の支援を受けて各日1名の看護師を配置した。

(6) 情報保障

大会期間中、技能競技選手に対する情報保障のため、愛知県の支援を受けて手話通訳者を延べ32名及び要約筆記者を延べ10名配置した。

2 障害者ワークフェア2020

令和2年4月8日（水）に「障害者ワークフェア 2020 ～働く障害者を応援する仲間の集い～開催概要」及び「障害者ワークフェア 2020 ～働く障害者を応援する仲間の集い～出展募集要項」を策定し、以下のとおり準備を進めたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点により、その開催を見合わせた。

1 展示ブースによる出展

令和2年4月17日（金）から、機構ホームページに開催概要及び出展募集要項を掲載し、広く出展者の公募を行うとともに、令和2年4月21日（火）から、障害者雇用優良事業所や就労支援機器取扱事業所及び過去の障害者ワークフェア出展企業等を中心に、機構から出展依頼を行ったところであるが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、関係機関等と調整の結果、令和2年6月23日（火）に障害者ワークフェアの開催を中止することを決定し、既に出展の申込のあった42企業・団体に開催中止の通知を行った。

2 ステージイベントの実施

障害者ワークフェアの一層の集客を図るとともに、来場者の興味・関心を更に喚起するため、出展者からステージイベントの出演者を募る予定であったが、上記のとおり同フェアが開催中止となったことから、具体的な調整までには至らなかった。

3 開催県における準備状況

愛知県では、愛知県国際展示場で2019年度大会を開催した後、全国初の2年連続開催に向け、大会の経験を2020年度大会の運営に役立てるべく準備を進めてきたが、令和2年8月に、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、厚生労働省及び（独）高齢・障害・求職者雇用支援機構が、大会を無観客で開催することに決定したことに伴い、本県との共催ではなく、（独）高齢・障害・求職者雇用支援機構の主催事業として開催されることとなった。

大会は、引き続き、愛知県国際展示場での開催となったことから、本県は、大会期間中に職員を応援スタッフとして会場に派遣して、円滑な大会運営のための協力を行うとともに、多くの方々に競技の様子を見ていただけるよう、Web上で実況付きのLIVE配信を行った。

年 月 日	内 容
平成 27（2015）年度	
3 月	本県が2020年度大会の開催を（独）高齢・障害・求職者雇用支援機構に要請
平成 28（2016）年度	
10 月	2020年度大会の本県開催を（独）高齢・障害・求職者雇用支援機構が決定
平成 29（2017）年度	
5 月	「あいち技能五輪・アビリンピック推進協議会設立総会」開催
12 月	（独）高齢・障害・求職者雇用支援機構が2019年度大会の共催を本県に要請
平成 30（2018）年度	
1 月	2019年度大会の本県開催を（独）高齢・障害・求職者雇用支援機構が決定
4 月	「あいち技能五輪・アビリンピック推進協議会第2回総会」開催
11 月	「あいち技能五輪・アビリンピック2019」PR広報イベント開催 (11月2回、2月、3月で各1回の計4回)
令和元（2019）年度	
4 月	「あいち技能五輪・アビリンピック推進協議会第3回総会」開催
8 月	「あいち技能五輪・アビリンピック2019大会100日前イベント」開催 (この日から、会場4市及び県庁本庁舎でカウントダウンボードを点灯)
9 月	「あいち技能五輪・アビリンピック2019」大会運営本部設置
11 月	2019年度大会の開催
令和2（2020）年度	
5 月	「あいち技能五輪・アビリンピック推進協議会第4回総会」開催
8 月	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、厚生労働省及び（独）高齢・障害・求職者雇用支援機構は、大会を無観客で開催することを決定
10 月	「あいち技能五輪・アビリンピック推進協議会第5回総会」開催
11 月	2020年度大会の開催

愛知県における「あいち人財力強化プロジェクト」 イメージキャラクター アイチータ

難しい競技課題に制限時間以内に取り組む
技能五輪全国大会、全国アビリンピックの選手の
姿を、世界最速で走り、器用に獲物を捕らえる
「チータ」をモチーフにデザインされ、「愛知県」
と「チータ」を合わせ、「アイチータ」と名付け
られました。



Ⅲ 開催の状況

技能競技

1 開会式

第40回大会においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から技能競技選手等が一堂に会する開会式及び閉会式（表彰式）の開催については見合わせたため、令和2年11月13日（金）の午後12時30分からWeb上において開会式の様子をLIVE配信した（第58回技能五輪全国大会と合同開会式）。

同開会式においては、第58回技能五輪全国大会の大会会長及び第40回大会の大会会長の挨拶の後、都道府県選手団の紹介映像が配信された。

また、愛知県立名古屋盲学校の在学学生による国家斉唱の後、厚生労働大臣の挨拶映像の配信、内閣総理大臣メッセージの代読、愛知県知事の挨拶映像の配信が行われ、最後に選手を代表して愛知県選手団の徳岡 遥選手（アビリンピック「木工」種目に参加）、水谷 恭良選手（技能五輪「プラスチック金型」種目に参加）による選手宣誓が行われた。

第40回大会参加者数一覧

都道府県選手団

- ・技能競技参加選手数： 330名
（うち招聘選手数： 28名）
- ・技能競技選手介助者数： 270名
（うち招聘選手介助者数： 18名）
- ・技能競技選手引率者数： 56名

（合 計） 656名

2 競技会場下見

令和2年11月13日（金）午後に愛知県国際展示場の各競技エリアにおいて、競技参加選手を対象に競技会場下見を実施し、各技能競技種目の第40回大会競技委員会専門部会専門委員による各技能競技の説明及び技能競技で使用する機器の調整・確認を行った。

3 技能競技

令和2年11月14日（土）に、愛知県国際展示場展示ホールE及びFの各競技エリアにおいて、技能競技を実施した。

午前から19種目、午後から6種目が開始され、午後5時00分までに全ての技能競技が終了した。

4 授賞選考委員会

令和2年11月14日（土）の午後4時から、展示ホールEの商談室において授賞選考委員会を開催し、入賞者の選考を開始した。

授賞選考委員会では、各技能競技専門委員主査等から提出された競技結果及び競技概況報告を基に、金賞15名、銀賞24名、銅賞37名及び努力賞10名の入賞者が決定された。

5 閉会式（表彰式）

上述のとおり閉会式（表彰式）の開催は見合わせたが、令和2年11月15日（日）の午前10時からWeb上で成績発表を行った。

成績発表の前段では、競技の様子などのダイジェスト映像を配信した。

なお、一部の参加選手のため、愛知県国際展示場展示ホールEにスクリーン等を設置し、当該成績発表の様子を上映した。

I 第40回全国障害者技能競技大会関係資料

1 開会式挨拶等

【 開会式 】

■第40回全国障害者技能競技大会会長挨拶



第40回全国障害者技能競技大会会長
独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構理事長
和田 慶宏

第40回全国障害者技能競技大会（アビリンピック）の開催に当たりまして、ご挨拶を申し上げます。
今回も前回に引き続き、ここ愛知県国際展示場に多くの観客をお招きし、技能五輪全国大会と同時開催する予定でした。

しかし、本年に入り、新型コロナウイルスの感染が拡大したため、中止も含めて検討を重ね、意欲ある選手に対して競技の機会を提供することを第一に考え、感染拡大防止策を講じたうえで、無観客での開催を決断いたしました。

併せて、競技に臨む選手の皆様の様子をWeb配信することといたしました。これにより会場に応援に駆け付けられなかった方々にも競技の様子をリアルタイムでお届けすることが可能となりました。すでにこの映像をご覧いただいている皆様におかれとも、アビリンピックをご存知ない方々にもお声がけいただき、一緒に選手に声援を送っていただければ幸いです。

そして、選手の皆様には、各都道府県の代表としての誇りと、磨き上げた己の技に対する自信をしっかりと持ち、その力を存分に発揮してほしいと思います。

また、今大会では、国際アビリンピックロシア大会へ派遣する選手の選考も行いますので、対象となる種目では更にハイレベルな戦いが繰り広げられることを期待しております。

最後に、本大会の開催に当たり、開催地である愛知県をはじめ各方面の団体、企業の皆様から、多大なお力添えを賜りました。この場をお借りして厚くお礼申し上げ、開会の挨拶といたします。

■第58回技能五輪全国大会会長挨拶



第58回技能五輪全国大会会長
中央職業能力開発協会会長
釜 和明

第58回技能五輪全国大会開会式を開催するに当たり、ご挨拶を申し上げます。

今大会は、コロナ禍の厳しい状況の中ではありますが、選手の皆さん一人一人の日頃からの厳しい訓練と、大会に対するその熱い思いを踏まえ、開催を決定することといたしました。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、無観客で開催することといたします。多くの選手、指導者の方々並びに運営委員、競技委員等の関係者の皆様方におかれましては、新型コロナウイルス感染拡大への対策にご理解を賜り厚く御礼申し上げます。

本大会は、このような厳しい状況の中、40の競技職種に900名を超える選手が参加し、半世紀を

超える歴史と伝統を持つに相応しいものとなりました。

各都道府県の代表として選ばれた選手の皆さんを始め、大会の関係者等、多数の皆様に参加いただき、心から感謝申し上げます。

本大会は、国内の青年技能者の技能レベルを競うことにより、青年技能者に努力目標を与え、技能水準の向上を図ることを目的としています。また、技能に身近に触れる機会を提供することなどを通じて、広く国民一般に対して、技能の重要性や必要性をアピールすることにより、技能尊重気運の醸成を図ることとしております。さらには、次回中華人民共和国の上海にて開催予定の第46回技能五輪国際大会は1年延期となりましたが、本大会の結果を基に、日本代表選手が選考されることになっています。

選手のみなさんは、それぞれの職場や学校で日々技能の研鑽に励まれ、この栄えある大会に出場されました。選手の皆さんのその努力に敬意を表するとともに、選手を指導してこられた企業や学校、関係者の皆様にも心から敬意を表するものであります。

明日から、大半の職種において、競技が開始されますが、選手の皆さんにおかれましては、競技において平素の実力を十二分に発揮され、各都道府県を代表する選手としての誇りをもって、正々堂々、技を競っていただきたいと思います。

終わりに、本大会の開催に当たり、ご後援、ご協賛をいただいた関係諸団体、企業の皆様、ご協力をいただいた愛知県の皆様に深く感謝申し上げますとともに、本大会の運営にご尽力をいただく、運営委員、競技委員等の関係者の皆様方に改めて厚く御礼申し上げ、開会のご挨拶といたします。

■厚生労働大臣挨拶（ビデオメッセージ）



厚生労働大臣

田村 憲久

第58回技能五輪全国大会及び第40回全国障害者技能競技大会の開催に当たり、ご挨拶申し上げます。

選手の皆さんにおかれては、コロナ禍という逆境の中で努力を重ね、各地の予選会を勝ち抜き、都道府県の代表として、この栄えある大会に出場する機会を得られました。これまでの厳しい訓練や、たゆまぬ努力を経て、本大会へ出場されますことを心からお慶び申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、社会全体の大きな変化が現在進行形で進んでいます。新しい生活様式といった感染症対策を受け、国民生活のありようが大きく変化し、デジタル化やリモート化が加速しています。ものづくりやサービス提供のありようも、今後、大きく変わっていくことでしょう。

我が国は、感染防止対策と社会経済活動を両立し、この難局を乗り越え発展していく必要がありますが、発展を支える原動力は「人」です。新しい時代の要請の下、選手の皆さんのような優秀な技能者が、先人の技能を継承し、各分野において優れた技能を発揮していただくことが、我が国の未来を築いていくために不可欠です。

本大会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策のため、無観客での開催となりましたが、Webを通じて、多くの国民の皆さんにリアルタイムで競技を見ていただけるようになっています。

皆さんが競技に向き合う真剣な姿は、技能の魅力を広く国民に伝えるとともに、技能への関心を高め、技能の道を志す後進を後押しする大きな力となります。明日からの競技において、磨いてきた技をいかに発揮されることを心から期待しています。

終わりに、この大会の準備運営に多大な御尽力をいただいた関係者の皆様に深く感謝を申し上げますとともに、本大会の成功を心から祈念して、私の挨拶といたします。

■内閣総理大臣メッセージ



内閣総理大臣

菅 義偉

(代読：厚生労働省人材開発統括官 小林 洋司)

第58回技能五輪全国大会及び第40回全国障害者技能競技大会が愛知県にて再び開催されますことを心よりお祝い申し上げます。

本年9月の発足以降、新たな内閣において最優先で取り組んでいる課題は、新型コロナウイルス対策です。本年は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う学校等の一斉休業、緊急事態宣言などがあり、選手やその関係者の皆様におかれても大変な御苦勞をされたことと思います。この大会も、感染症の拡大防止のため、無観客での開催となりました。しかし、そうした状況にもかかわらず、本日にいたるまで職場や学校で技能を磨き上げられ、郷土の代表として、この栄えある大会に出場する機会を得られた選手の皆さんのご努力に深く敬意を表します。

政府としても、感染対策と社会経済活動を両立し、危機を乗り越え、国民の皆様の安心と安全を取り戻すことができるよう、全力で取り組んでまいります。

今回、両大会に参加される選手の皆さんは、様々な分野において、ご自身の技能の向上に努力を重ねてこられました。御家族や、職場・学校の先生方など多くの方の御支援もあったと思います。そうした過程で築かれた絆こそが、社会基盤の減点です。明日からの競技においても、多くの仲間と出会い、絆を築いてください。

そして、皆さんが日々研鑽してきた技能が、明日からの競技を通じて遺憾なく発揮されることを、心より期待申し上げます。

最後に、これまでの間、選手を指導してこられた会社や学校の皆様、選手を支えてこられたご家族の皆さんに深く敬意を表しますとともに、両大会の成功を記念して、私のメッセージといたします。

■愛知県知事メッセージ（ビデオメッセージ）



愛知県知事

大村 秀章

第58回技能五輪全国大会・第40回全国アビリンピックの開会にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

選手・指導者の皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、自宅待機や休校を余儀なくされるなど、練習もままならないこともあったかと思います。そうしたご苦勞を乗り越えられて、ようこそ愛知へお越しくださいました。755万の県民を代表して、心から歓迎申し上げます。

また、選手間の感染防止にも配慮しながら、大会の開催にこぎつけられた関係者の皆様のご尽力に心から敬意を表します。

今年は、感染拡大防止の観点から無観客の開催となりました。残念ながら、会場で観戦いただくことは叶いませんが、その代わりとして競技の模様をインターネット上でLIVE配信いたします。

選手の皆様には、テレビカメラの向こう側のご家族や友人など、多くの皆様の応援を糧として、これまでの訓練の成果を遺憾なく発揮されますことをご期待申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。

2 表彰者数一覧

(単位:人)

技能競技種目	技能競技 参加選手数	表 彰 者 数				
		金 賞	銀 賞	銅 賞	努力賞	計
洋 裁	5	0	1	2	0	3
家 具	4	1	0	0	1	2
D T P	15	1	1	2	1	5
機 械 C A D	6	1	1	1	0	3
建 築 C A D	7	0	0	2	0	2
電 子 機 器 組 立	8	1	1	1	1	4
義 肢	3	0	0	1	0	1
歯 科 技 工	3	1	0	0	0	1
ワ ー ド ・ プ ロ セ ッ サ	29	1	1	2	1	5
デ ー タ ベ ー ス	8	1	1	2	0	4
ホ ー ム ペ ー ジ	9	0	2	1	0	3
フ ラ ワ ー ア レ ン ジ メ ン ト	5	0	1	1	0	2
コ ン プ ュ ー タ プ ロ グ ラ ミ ン グ	3	1	1	0	0	2
ビ ル ク リ ー ニ ン グ	35	1	3	3	1	8
製 品 パ ッ キ ン グ	20	1	0	1	0	2
喫 茶 サ ー ビ ス	33	1	1	2	1	5
オ フ ィ ス ア シ ス タ ン ト	28	1	2	3	1	7
表 計 算	24	0	1	3	0	4
ネ イ ル 施 術	2	0	1	1	0	2
写 真 撮 影	6	1	1	1	1	4
パ ソ コ ン 組 立	2	0	1	0	0	1
パ ソ コ ン 操 作	6	0	1	1	1	3
パ ソ コ ン デ ー タ 入 力	21	0	1	2	1	4
縫 製	9	1	1	2	0	4
木 工	11	1	1	3	0	5
計	302	15	24	37	10	86

3 表彰者名簿

(1) 賞別

【技能競技 厚生労働大臣賞・金賞】

技能競技種目	氏 名	都道府県名	所 属
家 具	伊 藤 俊 貴	愛 知 県	愛知県立名古屋聾学校
D T P	伊 藤 まどか	広 島 県	株式会社 JR 西日本あいウィル
機 械 C A D	木 村 信 隆	千 葉 県	三菱ケミカルエンジニアリング株式会社
電 子 機 器 組 立	島 田 美 穂	三 重 県	株式会社デンソー 大安製作所
歯 科 技 工	三津橋 幸 勇	北 海 道	和田精密歯研株式会社 札幌センター
ワ ー ド・ プ ロ セ ッ サ	佐 藤 翔 悟	茨 城 県	株式会社日立パワーソリューションズ
デ ー タ ベ ー ス	中 山 太 郎	熊 本 県	株式会社ソリッド・ネット
コンピュータプログラミング	伊 敷 学	沖 縄 県	ソニービジネスオペレーションズ株式会社
ビ ル ク リ ー ニ ン グ	本 田 駿 斗	神 奈 川 県	和光産業株式会社
製 品 パ ッ キ ン グ	山 崎 泰	宮 城 県	セコム工業株式会社
喫 茶 サ ー ビ ス	加 藤 みなみ	宮 城 県	服部コーヒーフーズ株式会社
オフィスアシスタント	狩 野 大 介	東 京 都	株式会社シンフォニア東武 押上事業所
写 真 撮 影	小 島 未 来	愛 知 県	トヨタグループ株式会社
縫 製	板 垣 美 穂	山 形 県	社会福祉法人山形県身体障害者福祉協会 山形県リハビリセンター
木 工	地 下 優 輝	鹿 児 島 県	国立・県営鹿児島障害者職業能力開発校

【技能競技 銀賞】

技能競技種目	氏 名	都道府県名	所 属
洋 裁	藤 澤 勇 慈	東 京 都	公益社団法人全日本洋裁技能協会
D T P	宮 崎 菜 摘	大 阪 府	株式会社ウイルハーツ
機 械 C A D	植 村 晃	愛 知 県	新東工業株式会社
電 子 機 器 組 立	那須川 耀	愛 知 県	株式会社デンソー 高棚製作所
ワ ー ド・ プ ロ セ ッ サ	山 本 巧	愛 知 県	トヨタグループ株式会社
デ ー タ ベ ー ス	小 松 智 和	東 京 都	ジョブサポートパワー株式会社
ホ ー ム ペ ー ジ	斉 藤 敦	埼 玉 県	トランスコスモス株式会社
	佐 藤 知沙子	愛 知 県	豊橋市役所
フラワーアレンジメント	藤 澤 一 代	香 川 県	身体障害者福祉センター コスモス園
コンピュータプログラミング	田 中 卓 也	神 奈 川 県	ディー・ティー・ファインエレクトロニクス株式会社
ビ ル ク リ ー ニ ン グ	小 島 希 望	埼 玉 県	アイル・コーポレーション株式会社
	谷 口 湧 真	東 京 都	太平ビルサービス株式会社 東京支店
	下 内 寿 也	京 都 府	京都府立丹波支援学校
喫 茶 サ ー ビ ス	坂 田 舜 介	長 野 県	長野県長野養護学校高等部朝陽教室
オフィスアシスタント	鈴 木 真里子	神 奈 川 県	株式会社日立ゆうあんどあい
	中 村 友 美	福 岡 県	株式会社チャレンジド・アソウ
表 計 算	手 島 拓 身	東 京 都	株式会社日立ハイテクサポート
ネ イ ル 施 術	荒 山 美 夢	千 葉 県	エイジスコーポレートサービス株式会社
写 真 撮 影	大 塚 弘 也	鹿 児 島 県	鹿児島県立武岡台養護学校

技能競技種目	氏 名	都道府県名	所 属
パ ソ コ ン 組 立	赤 地 和 典	千 葉 県	地方独立行政法人総合病院 国保旭中央病院
パ ソ コ ン 操 作	原 真 波	東 京 都	三井金属スタッフサービス株式会社
パ ソ コ ン デ ー タ 入 力	渡 部 雄 太	東 京 都	NSW ウィズ株式会社
縫 製	苑 田 愛 美	熊 本 県	社会福祉法人愛火の会 野々島学園
木 工	宮 崎 裕 史	熊 本 県	社会福祉法人アバンセ 多機能型事業所カサ・チコ

【技能競技 銅賞】

技能競技種目	氏 名	都道府県名	所 属
洋 裁	首 藤 悦 子	大 分 県	一般社団法人服は着る薬
	小 濱 望	鹿 児 島 県	有限会社A・デンタル・ラボ
D T P	大 堀 寛 人	東 京 都	株式会社旭化成アビリティ
	高 橋 卓 哉	山 口 県	社会福祉法人山口県コロニー協会
機 械 C A D	綱 澤 慎太郎	岡 山 県	国立吉備高原職業リハビリテーションセンター
建 築 C A D	佐 藤 康太郎	東 京 都	東京セキスイハイム株式会社
	天 野 寛 隆	愛 知 県	愛知玉野情報システム株式会社
電 子 機 器 組 立	前 田 吉 之	神 奈 川 県	アマノ株式会社
義 肢	小 澤 悠 一	鹿 児 島 県	株式会社中礼義肢製作所 始良工場
ワ ー ド・ プ ロ セ ッ サ	前 川 哲 志	長 野 県	信州ビバレッジ株式会社
	安 達 芽 衣	奈 良 県	なんとチャレンジド株式会社
デ ー タ ベ ー ス	小野田 勝 之	愛 知 県	トヨタループス株式会社
	石 倉 正 史	福 岡 県	化成フロンティアサービス株式会社
ホ ー ム ペ ー ジ	櫻 井 利 彰	宮 城 県	一般社団法人COM'S
フラワーアレンジメント	兼 松 利 江	静 岡 県	株式会社アイエスエフネットジョイ ジョイワークセンター浜松事業所
ビ ル ク リ ー ニ ン グ	田 村 由紀枝	栃 木 県	栃木県立特別支援学校宇都宮青葉高等学園
	新 谷 ちひろ	愛 知 県	コニックス株式会社
	西 山 恵李香	大 阪 府	株式会社エルアイ武田
製 品 パ ッ キ ン グ	吉 井 秀 一	福 岡 県	サンアクアTOTO株式会社
喫 茶 サ ー ビ ス	細 井 日 菜	埼 玉 県	株式会社 JAL サンライト
	山 下 優 香	和 歌 山 県	公立学校共済組合和歌山宿泊所 ホテルアバローム紀の国
オ フ ィ ス ア シ ス タ ン ト	海 野 弘 樹	茨 城 県	株式会社日立ゆうあんどあい（大みか）郵便室
	松 浦 章太郎	愛 知 県	トヨタループス株式会社
	望 月 勇 希	兵 庫 県	株式会社川重ハートフルサービス KCT 事業所
表 計 算	櫻 井 佑 樹	栃 木 県	株式会社バンダイナムコウィル
	木 下 勇 気	山 口 県	有限会社リベルタス興産
	花 山 星 太	愛 媛 県	就労移行支援事業所 フェロー I C T
ネ イ ル 施 術	一 木 侑 子	東 京 都	野村不動産ライフ＆スポーツ株式会社
写 真 撮 影	河 野 仁 志	北 海 道	和田精密歯研株式会社 札幌センター
パ ソ コ ン 操 作	岡 澤 洋 成	栃 木 県	国立大学法人筑波技術大学
パ ソ コ ン デ ー タ 入 力	速 水 佑樹人	栃 木 県	特定非営利活動法人ひとつの花
	池 耕 太	京 都 府	京都市立白河総合支援学校
縫 製	小 村 侑 大	佐 賀 県	社会福祉法人南高愛隣会 長崎能力開発センター
	今 原 飛 翔	宮 崎 県	株式会社旭化成アビリティ

技能競技種目	氏 名	都道府県名	所 属
木工	若 子 内 壘	岩 手 県	岩手県立盛岡峰南支援学校
	宮 嶋 和 宏	富 山 県	富山県立富山高等支援学校
	徳 岡 遥	愛 知 県	愛知県立春日井高等特別支援学校

【技能競技 努力賞】

技能競技種目	氏 名	都道府県名	所 属
家 具	城 間 羽 夏	愛 知 県	愛知県立名古屋聾学校
D T P	大日方 貴 昭	長 野 県	社会福祉法人ながのコロニー
電 子 機 器 組 立	中 本 高 史	大 阪 府	パナソニック交野株式会社
ワ ー ド ・ プ ロ セ ッ サ	森 島 章 文	静 岡 県	－
ビ ル ク リ ー ニ ン グ	藤 原 拓 巳	島 根 県	株式会社島根東亜建物管理
喫 茶 サ ー ビ ス	八 役 あゆみ	兵 庫 県	株式会社新保哲也アトリエ 西宮ファクトリー
オ フ ィ ス ア シ ス タ ン ト	大古田 祐 樹	静 岡 県	矢崎ビジネスサポート株式会社
写 真 撮 影	中 垣 良 則	愛 知 県	トヨタグループ株式会社
パ ソ コ ン 操 作	小 池 正 美	山 形 県	社会福祉法人山形県身体障害者福祉協会
パ ソ コ ン デ ー タ 入 力	清 水 幹 生	長 野 県	社会福祉法人夢工房福祉会 L I N K

(2) 技能競技種目別

【技能競技種目別】

技能競技種目	賞	氏 名	都道府県名	所 属
洋 裁	銀 賞	藤 澤 勇 慈	東 京 都	公益社団法人全日本洋裁技能協会
	銅 賞	首 藤 悦 子	大 分 県	一般社団法人服は着る薬
	銅 賞	小 濱 望	鹿 児 島 県	有限会社A・デンタル・ラボ
家 具	金 賞	伊 藤 俊 貴	愛 知 県	愛知県立名古屋聾学校
	努力賞	城 間 羽 夏	愛 知 県	愛知県立名古屋聾学校
D T P	金 賞	伊 藤 まどか	広 島 県	株式会社 JR 西日本あいウィル
	銀 賞	宮 崎 菜 摘	大 阪 府	株式会社ウイルハーツ
	銅 賞	大 堀 寛 人	東 京 都	株式会社旭化成アビリティ
	銅 賞	高 橋 卓 哉	山 口 県	社会福祉法人山口県コロニー協会
	努力賞	大日方 貴 昭	長 野 県	社会福祉法人ながのコロニー
機 械 C A D	金 賞	木 村 信 隆	千 葉 県	三菱ケミカルエンジニアリング株式会社
	銀 賞	植 村 晃	愛 知 県	新東工業株式会社
	銅 賞	綱 澤 慎太郎	岡 山 県	国立吉備高原職業リハビリテーションセンター
建 築 C A D	銅 賞	佐 藤 康太郎	東 京 都	東京セキスイハイム株式会社
	銅 賞	天 野 寛 隆	愛 知 県	愛知玉野情報システム株式会社
電 子 機 器 組 立	金 賞	島 田 美 穂	三 重 県	株式会社デンソー 大安製作所
	銀 賞	那 須 川 耀	愛 知 県	株式会社デンソー 高棚製作所
	銅 賞	前 田 吉 之	神 奈 川 県	アマノ株式会社
	努力賞	中 本 高 史	大 阪 府	パナソニック交野株式会社
義 肢	銅 賞	小 澤 悠 一	鹿 児 島 県	株式会社中礼義肢製作所 始良工場
歯 科 技 工	金 賞	三津橋 幸 勇	北 海 道	和田精密歯研株式会社 札幌センター
ワ ー ド ・ プ ロ セ ッ サ	金 賞	佐 藤 翔 悟	茨 城 県	株式会社日立パワーソリューションズ
	銀 賞	山 本 巧	愛 知 県	トヨタグループ株式会社
	銅 賞	前 川 哲 志	長 野 県	信州ビバレッジ株式会社
	銅 賞	安 達 芽 衣	奈 良 県	なんとチャレンジド株式会社
	努力賞	森 島 章 文	静 岡 県	ー
デ ー タ ベ ー ス	金 賞	中 山 太 郎	熊 本 県	株式会社ソリッド・ネット
	銀 賞	小 松 智 和	東 京 都	ジョブサポートパワー株式会社
	銅 賞	小野田 勝 之	愛 知 県	トヨタグループ株式会社
	銅 賞	石 倉 正 史	福 岡 県	化成フロンティアサービス株式会社
ホ ー ム ペ ー ジ	銀 賞	斉 藤 敦	埼 玉 県	トランスコスモス株式会社
	銀 賞	佐 藤 知沙子	愛 知 県	豊橋市役所
	銅 賞	櫻 井 利 彰	宮 城 県	一般社団法人 COM'S
フラワーアレンジメント	銀 賞	藤 澤 一 代	香 川 県	身体障害者福祉センター コスモス園
	銅 賞	兼 松 利 江	静 岡 県	株式会社アイエスエフネットジョイ ジョイワークセンター浜松事業所
コンピュータプログラミング	金 賞	伊 敷 学	沖 縄 県	ソニービジネスオペレーションズ株式会社
	銀 賞	田 中 卓 也	神 奈 川 県	ディー・ティー・ファインエレクトロニクス株式会社
ビ ル ク リ ー ニ ン グ	金 賞	本 田 駿 斗	神 奈 川 県	和光産業株式会社
	銀 賞	小 島 希 望	埼 玉 県	アイル・コーポレーション株式会社
	銀 賞	谷 口 湧 真	東 京 都	太平ビルサービス株式会社 東京支店
	銀 賞	下 内 寿 也	京 都 府	京都府立丹波支援学校
	銅 賞	田 村 由紀枝	栃 木 県	栃木県立特別支援学校宇都宮青葉高等学園
	銅 賞	新 谷 ちひろ	愛 知 県	コニックス株式会社

技能競技種目	賞	氏 名	都道府県名	所 属
ビルクリーニング	銅 賞	西 山 恵李香	大 阪 府	株式会社エルアイ武田
	努力賞	藤 原 拓 巳	島 根 県	株式会社島根東亜建物管理
製 品 パ ッ キ ン グ	金 賞	山 崎 泰	宮 城 県	セコム工業株式会社
	銅 賞	吉 井 秀 一	福 岡 県	サンアクアTOTO株式会社
喫 茶 サ ー ビ ス	金 賞	加 藤 みなみ	宮 城 県	服部コーヒーフーズ株式会社
	銀 賞	坂 田 舜 介	長 野 県	長野県長野養護学校高等部朝陽教室
	銅 賞	細 井 日 菜	埼 玉 県	株式会社 JAL サンライト
	銅 賞	山 下 優 香	和 歌 山 県	公立学校共済組合和歌山宿泊所 ホテルアバローム紀の国
	努力賞	八 役 あゆみ	兵 庫 県	株式会社新保哲也アトリエ 西宮ファクトリー
オフィスアシスタント	金 賞	狩 野 大 介	東 京 都	株式会社シンフォニア東武 押上事業所
	銀 賞	鈴 木 真里子	神 奈 川 県	株式会社日立ゆうあんどあい
	銀 賞	中 村 友 美	福 岡 県	株式会社チャレンジド・アソウ
	銅 賞	海 野 弘 樹	茨 城 県	株式会社日立ゆうあんどあい（大みか）郵便室
	銅 賞	松 浦 章太郎	愛 知 県	トヨタループス株式会社
	銅 賞	望 月 勇 希	兵 庫 県	株式会社川重ハートフルサービス KCT 事業所
	努力賞	大古田 祐 樹	静 岡 県	矢崎ビジネスサポート株式会社
表 計 算	銀 賞	手 島 拓 身	東 京 都	株式会社日立ハイテクサポート
	銅 賞	櫻 井 佑 樹	栃 木 県	株式会社バンダイナムコウィル
	銅 賞	木 下 勇 気	山 口 県	有限会社リベルタス興産
	銅 賞	花 山 星 太	愛 媛 県	就労移行支援事業所 フェロー I C T
ネ イ ル 施 術	銀 賞	荒 山 美 夢	千 葉 県	エイジスコポレートサービス株式会社
	銅 賞	一 木 侑 子	東 京 都	野村不動産ライフ＆スポーツ株式会社
写 真 撮 影	金 賞	小 島 未 来	愛 知 県	トヨタループス株式会社
	銀 賞	大 塚 弘 也	鹿 児 島 県	鹿児島県立武岡台養護学校
	銅 賞	河 野 仁 志	北 海 道	和田精密歯研株式会社 札幌センター
	努力賞	中 垣 良 則	愛 知 県	トヨタループス株式会社
パ ソ コ ン 組 立	銀 賞	赤 地 和 典	千 葉 県	地方独立行政法人総合病院 国保旭中央病院
パ ソ コ ン 操 作	銀 賞	原 真 波	東 京 都	三井金属スタッフサービス株式会社
	銅 賞	岡 澤 洋 成	栃 木 県	国立大学法人筑波技術大学
	努力賞	小 池 正 美	山 形 県	社会福祉法人山形県身体障害者福祉協会
パソコンデータ入力	銀 賞	渡 部 雄 太	東 京 都	NSW ウィズ株式会社
	銅 賞	速 水 佑樹人	栃 木 県	特定非営利活動法人ひとつの花
	銅 賞	池 耕 太	京 都 府	京都市立白河総合支援学校
	努力賞	清 水 幹 生	長 野 県	社会福祉法人夢工房福祉会 L I N K
縫 製	金 賞	板 垣 美 穂	山 形 県	社会福祉法人山形県身体障害者福祉協会 山形県リハビリセンター
	銀 賞	苑 田 愛 美	熊 本 県	社会福祉法人愛火の会 野々島学園
	銅 賞	小 村 侑 大	佐 賀 県	社会福祉法人南高愛隣会 長崎能力開発センター
	銅 賞	今 原 飛 翔	宮 崎 県	株式会社旭化成アビリティ
木 工	金 賞	地 下 優 輝	鹿 児 島 県	国立・県営鹿児島障害者職業能力開発校
	銀 賞	宮 崎 裕 史	熊 本 県	社会福祉法人アバンセ 多機能型事業所カサ・チコ
	銅 賞	若 子 内 壘	岩 手 県	岩手県立盛岡峰南支援学校
	銅 賞	宮 嶋 和 宏	富 山 県	富山県立富山高等支援学校
	銅 賞	徳 岡 遥	愛 知 県	愛知県立春日井高等特別支援学校

4 技能証授与対象者名簿

(1) 技能検定 技能証（実技部門）

参加技能競技種目	技能検定（2級実技試験）の免除を受けることができる 左記種目に相当する技能検定職種	氏 名	都道府県名
洋 裁	婦 人 子 供 服 製 造 （ 婦 人 子 供 注 文 服 製 作 作 業 ）	藤 澤 勇 慈	東 京 都
		穴 水 洋 美	山 梨 県
		山 田 美 里	愛 媛 県
		首 藤 悦 子	大 分 県
		小 濱 望	鹿 児 島 県
家 具	家 具 製 作 （ 家 具 手 加 工 作 業 ）	伊 藤 俊 貴	愛 知 県
		城 間 羽 夏	愛 知 県
電 子 機 器 組 立	電 子 機 器 組 立 て （ 電 子 機 器 組 立 て 作 業 ）	長 島 礼 幸	茨 城 県
		前 田 吉 之	神 奈 川 県
		那 須 川 耀	愛 知 県
		島 田 美 穂	三 重 県
		小 倉 怜	三 重 県
		黒 田 朗 史	三 重 県
		長谷川 享 史	滋 賀 県
		奥 石 拓 斗	京 都 府
		中 本 高 史	大 阪 府
義 肢	義 肢 ・ 装 具 製 作 （ 義 肢 製 作 作 業 ）	松 山 雄 樹	岡 山 県
		有 村 麻里加	鹿 児 島 県
		小 澤 悠 一	鹿 児 島 県
フ ラ ワ ー ア レ ン ジ メ ン ト	フ ラ ワ ー 装 飾 （ フ ラ ワ ー 装 飾 作 業 ）	木 下 登紀子	鹿 児 島 県
		石 井 美 那	東 京 都
		田 中 達 也	新 潟 県
		兼 松 利 江	静 岡 県
		神 田 優 花	愛 知 県
		山 口 めぐみ	愛 知 県
		藤 澤 一 代	香 川 県
		甲 斐 絵美理	宮 崎 県
		太 田 守 紀	沖 縄 県

(2) コンピュータサービス技能評価試験 技能証

参加技能競技種目	コンピュータサービス技能評価試験（2級）の免除を受けることができる 左記種目に相当する同評価試験実施部門	氏 名	都道府県名
ワ ー ド・ プ ロ セ ッ サ	ワ ー プ ロ 部 門	濱 口 詩 織	北 海 道
		佐 藤 翔 悟	茨 城 県
		齋 藤 宙 天	神 奈 川 県
		前 川 哲 志	長 野 県
		森 島 章 文	静 岡 県
		山 本 巧	愛 知 県
		國 岡 大 祐	大 阪 府
		武 村 俊 明	大 阪 府
		河 合 景 太	大 阪 府
		富士原 美 朋	兵 庫 県
		安 達 芽 衣	奈 良 県
		高 松 智 恵	広 島 県
表 計 算	表 計 算 部 門	渡 邊 俊 介	佐 賀 県
		菊 池 直 俊	山 形 県
		櫻 井 佑 樹	栃 木 県
		手 島 拓 身	東 京 都
		木 下 勇 気	山 口 県
		花 山 星 太	愛 媛 県

5 技能競技種目別参加選手名簿

参加技能競技種目	番 号	都道府県名	氏 名	勤務先又は所属機関名
洋 裁	1	東 京 都	藤 澤 勇 慈	公益社団法人全日本洋裁技能協会
	2	愛 知 県	岡 田 雪 菜	愛知県立名古屋聾学校
	3	大 分 県	首 藤 悦 子	一般社団法人服は着る薬
	4	鹿 児 島 県	小 濱 望	有限会社A・デンタル・ラボ
	5	鹿 児 島 県	森 川 琴 美	国立・県営鹿児島障害者職業能力開発校
	招1	山 梨 県	穴 水 洋 美	
	招2	愛 媛 県	山 田 美 里	防衛装備庁
家 具	1	愛 知 県	伊 藤 俊 貴	愛知県立名古屋聾学校
	2	愛 知 県	城 間 羽 夏	愛知県立名古屋聾学校
	3	愛 知 県	福 川 廉太郎	愛知県立名古屋聾学校
	4	沖 縄 県	高 林 葵	有限会社うえぞと木工
D T P	1	岩 手 県	遠 藤 遥	就労移行支援事業所ココエール
	2	宮 城 県	井 上 篤	一般社団法人COM'S
	3	山 形 県	佐 藤 恵 美	社会福祉法人山形県コロニー協会 就労継続支援事業A型 山形福祉工場コロニー印刷
	4	埼 玉 県	工 藤 拓 哉	株式会社トッパングラフィックコミュニケーションズ 秋葉原事業所
	5	千 葉 県	齋 藤 祐 介	株式会社旭化成アビリティ
	6	東 京 都	大 堀 寛 人	株式会社旭化成アビリティ
	7	神 奈 川 県	橋 本 潤 子	富士ソフト企画株式会社
	8	長 野 県	大日方 貴 昭	社会福祉法人ながのコロニー
	9	静 岡 県	加 藤 あすみ	スズキ株式会社 相良工場
	10	滋 賀 県	門 脇 浩 克	特定非営利活動法人アイ・コラボレーション
	11	大 阪 府	宮 崎 菜 摘	株式会社ウイルハーツ
	12	広 島 県	伊 藤 まどか	株式会社 JR 西日本あいウィル
	13	山 口 県	高 橋 卓 哉	社会福祉法人山口県コロニー協会
	14	高 知 県	東 村 恵 子	学校法人龍馬学園 国際デザイン・ビューティカレッジ
	15	福 岡 県	藤 井 翔 太	サンアクアTOTO株式会社
	招1	山 形 県	海 藤 航 貴	株式会社アサヒマーケティング
	招2	神 奈 川 県	山 田 風 香	富士ソフト企画株式会社
機 械 C A D	1	千 葉 県	木 村 信 隆	三菱ケミカルエンジニアリング株式会社
	2	神 奈 川 県	石 掛 孝 志	株式会社アマダツールプレジジョン
	3	神 奈 川 県	森 田 直 子	神奈川県立菅高等学校
	4	愛 知 県	植 村 晃	新東工業株式会社
	5	岡 山 県	綱 澤 慎太郎	国立吉備高原職業リハビリテーションセンター
	6	広 島 県	岡 本 和 大	株式会社ダイキエンジニアリング
	招1	愛 知 県	篠 孝 忠	株式会社タマディック
	招2	愛 媛 県	村 野 太 一	三浦工業株式会社
建 築 C A D	1	栃 木 県	戸 井 恒 介	多機能型障害者就労支援事業所 わーくりんく宝石台
	2	東 京 都	佐 藤 康太郎	東京セキスイハイム株式会社
	3	東 京 都	服 部 早央里	東京セキスイハイム株式会社

参加技能競技種目	番 号	都道府県名	氏 名	勤務先又は所属機関名
建 築 C A D	4	愛 知 県	天 野 寛 隆	愛知玉野情報システム株式会社
	5	愛 知 県	加 賀 啓 一	愛知玉野情報システム株式会社
	6	愛 知 県	福 田 聡	愛知玉野情報システム株式会社
	7	沖 縄 県	金 城 昌 昭	障害者就労支援事業所 ワークサポートひかり
電 子 機 器 組 立	1	神 奈 川 県	前 田 吉 之	アマノ株式会社
	2	愛 知 県	那須川 耀	株式会社デンソー 高棚製作所
	3	三 重 県	島 田 美 穂	株式会社デンソー 大安製作所
	4	滋 賀 県	長谷川 享 史	パナソニックアソシエイツ滋賀株式会社
	5	京 都 府	奥 石 拓 斗	株式会社堀場製作所
	6	大 阪 府	中 本 高 史	パナソニック交野株式会社
	7	岡 山 県	松 山 雄 樹	パナソニック吉備株式会社
	8	大 分 県	塩 地 優	オムロン太陽株式会社
	招1	茨 城 県	長 島 礼 幸	株式会社日立ハイテクマニファクチャ&サービス
	招2	三 重 県	小 倉 怜	株式会社デンソー 大安製作所
	招3	三 重 県	黒 田 朗 史	株式会社デンソー 大安製作所
義 肢	1	鹿 児 島 県	有 村 麻里加	国立・県営鹿児島障害者職業能力開発校
	2	鹿 児 島 県	小 澤 悠 一	株式会社中礼義肢製作所 始良工場
	3	鹿 児 島 県	木 下 登紀子	国立・県営鹿児島障害者職業能力開発校
歯 科 技 工	1	北 海 道	佐々木 千 秋	和田精密歯研株式会社 札幌センター
	2	北 海 道	三津橋 幸 勇	和田精密歯研株式会社 札幌センター
	3	青 森 県	箱 石 哲 郎	有限会社箱石歯科技工所
	招1	埼 玉 県	中 川 直 樹	株式会社中田デンタル・センター
	招2	東 京 都	吉 田 哲 也	株式会社三和デンタル
ワ ー ド ・ プ ロ セ ッ サ	1	北 海 道	濱 口 詩 織	就労移行支援事業所ウエルビー株式会社 札幌センター
	3	岩 手 県	中 村 健	有限会社岩手日報本宮専売所
	4	宮 城 県	米 田 勝 利	株式会社アイエスエフネット仙台支店
	5	山 形 県	高 橋 知 美	社会福祉法人山形県コロニー協会 山形コロニー就労サポートセンター
	6	福 島 県	小 山 裕次郎	株式会社さんしゃいんクレハ
	7	茨 城 県	佐 藤 翔 悟	株式会社日立パワーソリューションズ
	8	栃 木 県	石 川 千 滉	株式会社沖ワークウェル
	9	東 京 都	角 村 賢	株式会社ビジネスプラス 新宿西清掃グループ
	10	神 奈 川 県	齋 藤 宙 天	太陽油脂株式会社
	11	石 川 県	松 下 いずみ	小松IT就労支援センター株式会社 ひまわり工房
	12	山 梨 県	林 典	甲府税務署
	13	長 野 県	前 川 哲 志	信州ビバレッジ株式会社
	14	岐 阜 県	山 内 大 地	就労移行支援事業所パッソ岐阜校
	15	静 岡 県	森 島 章 文	
	16	愛 知 県	山 本 巧	トヨタループス株式会社
	17	愛 知 県	橋 本 忠 雄	愛知玉野情報システム株式会社
	18	三 重 県	大 野 達 也	社会福祉法人ぶろぼの 津事業所
	19	京 都 府	根 本 文	就労移行支援事業所スキルアップスマイル
	20	大 阪 府	國 岡 大 祐	株式会社ニッセイ・ニュークリエーション

参加技能競技種目	番 号	都道府県名	氏 名	勤務先又は所属機関名
ワード・プロセッサ	21	奈良県	安達 芽衣	なんとチャレンジド株式会社
	22	和歌山県	楠 見 慶 人	大東建託株式会社 和歌山支店
	23	鳥取県	前田 賢太郎	パナソニックアソシエイツ鳥取株式会社
	24	広島県	高松 智 恵	JFE アップル西日本株式会社
	25	徳島県	島 本 亮 祐	社会福祉法人柏涛会 障がい者地域生活自立支援センター 大地阿南
	26	香川県	近 藤 浩 人	穴吹エンタープライズ株式会社
	28	福岡県	阿比留 美 里	サンアクアTOTO株式会社
	29	佐賀県	渡 邊 俊 介	障がい者ビジネススクール ユニカレさが
	30	熊本県	大 川 秀 康	
	31	大分県	佐 藤 麻 衣	三菱商事太陽株式会社
	招1	大阪府	武 村 俊 明	株式会社ニッセイ・ニュークリエーション
	招2	大阪府	河 合 景 太	株式会社ニッセイ・ニュークリエーション
	招3	兵庫県	富士原 美 朋	IT キャリア加古川
データベース	1	山形県	伊 藤 隆 善	株式会社アグストリア・ゼネラルサポート山形事務センター
	2	栃木県	外 山 孝	東京コンピュータサービス株式会社
	3	東京都	小 松 智 和	ジョブサポートパワー株式会社
	4	静岡県	杉 山 凌 也	静岡県立あしたか職業訓練校
	5	愛知県	小野田 勝 之	トヨタグループ株式会社
	6	広島県	前田 初 博	株式会社エネルギー・コミュニケーションズ
	7	福岡県	石 倉 正 史	化成フロンティアサービス株式会社
	8	熊本県	中 山 太 郎	株式会社ソリッド・ネット
	招1	福岡県	米 田 涼 子	進和興産株式会社
ホームページ	1	宮城県	櫻 井 利 彰	一般社団法人 COM'S
	2	埼玉県	斉 藤 敦	トランスコスモス株式会社
	3	千葉県	道 口 一 行	エイジスコポーレートサービス株式会社
	4	東京都	藤 森 俊 希	トランスコスモス株式会社
	5	神奈川県	三井田 有 華	富士ソフト企画株式会社
	6	愛知県	佐 藤 知沙子	豊橋市役所
	7	愛知県	鬼 頭 成 徒	トヨタグループ株式会社
	8	大阪府	白 瀧 淳	株式会社ニッセイ・ニュークリエーション
	9	沖縄県	上 間 真 弓	株式会社C o m p a s s
	招1	広島県	金 子 理 沙	株式会社広島情報シンフォニー
フラワーアレンジメント	1	東京都	石 井 美 那	株式会社日比谷花壇
	2	静岡県	兼 松 利 江	株式会社アイエスエフネットジョイ ジョイワークセンター浜松事業所
	3	愛知県	神 田 優 花	デンソーテクノ株式会社
	4	香川県	藤 澤 一 代	身体障害者福祉センター コスモス園
	5	宮崎県	甲 斐 絵美理	GMOドリームウェーブ株式会社
	招1	新潟県	田 中 達 也	地域活動支援センターなごみ
	招2	愛知県	山 口 めぐみ	トヨタ紡織株式会社 猿投工場
	招3	沖縄県	太 田 守 紀	介護付有料老人ホーム 美里の杜カシータ
コンピュータプログラミング	1	東京都	秦 野 和 人	社会福祉法人新樹会 創造出版
	2	神奈川県	田 中 卓 也	ディー・ティー・ファインエレクトロニクス株式会社

参加技能競技種目	番 号	都道府県名	氏 名	勤務先又は所属機関名
コンピュータプログラミング	3	沖 縄 県	伊 敷 学	ソニービジネスオペレーションズ株式会社
	招1	青 森 県	角 田 智 活	特定非営利活動法人 team.Step by step N-STAGE
ビルクリーニング	1	北 海 道	尾 田 蓮	北海道札幌あいの里高等支援学校
	3	岩 手 県	三 浦 瑠 菜	岩手県立盛岡峰南支援学校
	4	宮 城 県	早 坂 弘 希	宮城県立支援学校小牛田高等学園
	5	山 形 県	星 川 広 樹	株式会社カイセイ
	6	福 島 県	齋 藤 博 和	介護老人保健施設 ひもろぎの園
	7	茨 城 県	鶴 川 七 海	日立オートモティブシステムズ株式会社
	8	栃 木 県	田 村 由紀枝	栃木県立特別支援学校宇都宮青葉高等学園
	9	群 馬 県	角 田 響 太	群馬県立渡良瀬特別支援学校
	10	埼 玉 県	小 島 希 望	アイル・コーポレーション株式会社
	11	千 葉 県	本 吉 渚	株式会社ユーゴー MIXMAX FACTORY市原潮見通り店
	12	東 京 都	谷 口 湧 真	太平ビルサービス株式会社 東京支店
	13	神 奈 川 県	本 田 駿 斗	和光産業株式会社
	14	富 山 県	北 野 颯 人	富山総合ビルセンター株式会社
	15	石 川 県	道 苗 樹	石川県立小松特別支援学校
	16	山 梨 県	大 房 佑 平	
	17	岐 阜 県	直 井 拓 実	サンエス株式会社
	18	静 岡 県	佐 野 元 亮	特定非営利活動法人セイセイ生き生きクラブ
	19	愛 知 県	吉 村 遥 斗	中日コプロ株式会社
	20	愛 知 県	新 谷 ちひろ	コニックス株式会社
	21	滋 賀 県	菅 波 智 将	株式会社ニッパツ・ハーモニー
	22	京 都 府	下 内 寿 也	京都府立丹波支援学校
	23	大 阪 府	西 山 恵李香	株式会社エルアイ武田
	24	兵 庫 県	内 山 大 空	兵庫県立阪神特別支援学校 分教室
	25	奈 良 県	森 田 優 輝	奈良県立高等養護学校
	26	鳥 取 県	灘 昭 宏	株式会社ジャパンディスプレイ
	27	島 根 県	藤 原 拓 巳	株式会社島根東亜建物管理
	28	岡 山 県	三 宅 英 之	株式会社旭化成アビリティ 水島営業所
	29	広 島 県	野 地 則 彦	就労継続支援 A 型事業所 株式会社オンザライズ
	30	山 口 県	高 木 大 和	山口県立下関総合支援学校
	31	徳 島 県	里 見 郁 也	大鵬薬品工業株式会社 徳島工場
	32	香 川 県	池 田 証 太	香川県立香川東部養護学校
	33	高 知 県	岸 本 ひかる	高知県立日高特別支援学校高知みかづき分校
	34	佐 賀 県	岡 大 翼	株式会社カシマ美装
	35	熊 本 県	高 松 宏 至	済生会熊本福祉センター 済生会かがやき
	36	宮 崎 県	木 口 涼 太	株式会社旭化成アビリティ
	招1	北 海 道	山 内 萌	
	招2	愛 知 県	後 藤 梨 佐	コニックス株式会社
	招3	京 都 府	代 田 慧	株式会社クラウドディア リース事業部
製品パッキング	1	宮 城 県	山 崎 泰	セコム工業株式会社
	2	栃 木 県	川 島 弥 人	栃木県立今市特別支援学校

参加技能競技種目	番 号	都道府県名	氏 名	勤務先又は所属機関名
製 品 パ ッ キ ン グ	3	東 京 都	大 下 一太郎	株式会社バンダイナムコウィル
	4	神 奈 川 県	鳥 原 良 太	株式会社スタンレーウェル
	5	長 野 県	小 林 駿 太	株式会社サイベックコーポレーション
	6	岐 阜 県	勝 川 颯 太	株式会社渡辺製作所
	7	静 岡 県	浦 田 昇 吾	静岡県立あしたか職業訓練校
	8	愛 知 県	岡 本 工	トヨタグループ株式会社
	9	滋 賀 県	安 田 耀 仁	滋賀県立甲南高等養護学校
	10	大 阪 府	矢 野 宗 佑	株式会社ダイキンサンライズ摂津
	11	兵 庫 県	釣 井 一 史	日本パーソネルセンター株式会社
	12	和 歌 山 県	坂 口 竜 生	三菱電機冷熱応用システム株式会社
	13	鳥 取 県	中 野 秀 治	鳥取県立産業人材育成センター倉吉校
	14	鳥 根 県	小 川 慎之介	鳥根県立益田養護学校
	15	岡 山 県	河 野 員 泰	パナソニック吉備株式会社
	16	広 島 県	向 井 勇 人	広島県立三原特別支援学校
	17	香 川 県	櫻 井 崇 志	あなぶきパートナー株式会社
	18	愛 媛 県	海 田 ま ゆ	社会福祉法人宗友福祉会おおぞらワークス
	19	福 岡 県	吉 井 秀 一	サンアクアTOTO株式会社
	20	熊 本 県	北 里 唯 誠	特定非営利活動法人栞
喫 茶 サ ー ビ ス	1	北 海 道	行 澤 隆 音	四谷学院 札幌校
	2	青 森 県	八木橋 桜 子	弘前大学教育学部附属特別支援学校
	3	岩 手 県	岩 村 真 白	岩手県立盛岡峰南支援学校
	4	宮 城 県	加 藤 みなみ	服部コーヒーフーズ株式会社
	5	山 形 県	佐 藤 あずさ	社会福祉法人共生 障害者支援センター「よつばの里」
	6	福 島 県	塩 田 智 也	株式会社東北たまがわ
	7	茨 城 県	宮 田 由 香	茨城県立結城特別支援学校
	8	栃 木 県	田 代 優 太	栃木県立国分寺特別支援学校
	9	埼 玉 県	細 井 日 菜	株式会社 JAL サンライト
	10	千 葉 県	弦 卷 和 輝	千葉県立特別支援学校流山高等学園
	11	東 京 都	松 下 奈津希	就労移行支援事業所ブレンティとしまく
	12	神 奈 川 県	相 原 満 希	職業訓練法人神奈川能力開発センター
	13	長 野 県	坂 田 舜 介	長野県長野養護学校高等部朝陽教室
	14	岐 阜 県	塚 原 楓 琴	岐阜県立岐阜清流高等特別支援学校
	16	愛 知 県	中 島 悠 輝	株式会社ジェイアール東海ウェル
	17	愛 知 県	藤 井 浩 生	株式会社ジェイアール東海ウェル
	18	三 重 県	山 崎 世 菜	三重県立杉の子特別支援学校 石薬師分校
	19	滋 賀 県	杉 谷 美 雪	学校法人関西福祉学園 働き教育センター甲良
	20	京 都 府	玉 城 美 月	京都市立白河総合支援学校
	21	大 阪 府	玉 垣 よりね	
	22	兵 庫 県	八 役 あゆみ	株式会社新保哲也アトリエ 西宮ファクトリー
	23	和 歌 山 県	山 下 優 香	公立学校共済組合和歌山宿泊所 ホテルアバローム紀の国
	25	鳥 根 県	妹 尾 翔	鳥根県立松江養護学校 乃木校舎
	26	広 島 県	森 山 佳 乃	広島県立広島特別支援学校

参加技能競技種目	番 号	都道府県名	氏 名	勤務先又は所属機関名
喫 茶 サ ー ビ ス	27	山 口 県	鹿子島 みなみ	社会福祉法人松涛会 フロイデ金比羅
	28	愛 媛 県	重 川 翔 太	ミウラジョブパートナー株式会社
	29	高 知 県	佐 竹 来 暉	高知県立日高特別支援学校高知みかづき分校
	30	佐 賀 県	森 徳 子	佐賀県立うれしの特別支援学校
	31	長 崎 県	久 保 斐 叶	長崎県立希望が丘高等特別支援学校
	32	熊 本 県	小 宮 未 恭	ふれあい喫茶 りんどう
	33	大 分 県	山 崎 凌 一	社会福祉法人博愛会 パルクラブ
	34	宮 崎 県	岩 室 慧 大	株式会社旭化成アビリティ
	35	沖 縄 県	平 良 拓 都	沖縄県立沖縄高等特別支援学校
オ フ ィ ス ア シ ス タ ン ト	1	北 海 道	高 橋 優 太	株式会社テルベ
	2	岩 手 県	岡 田 亨 介	社会福祉法人盛岡市民福祉バンク
	3	宮 城 県	小 野 竜 汰	セコム工業株式会社
	4	山 形 県	佐 藤 絵 美	障害者支援オフィス「ひので」
	5	茨 城 県	海 野 弘 樹	株式会社日立ゆうあんどあい（大みか）郵便室
	6	栃 木 県	生 出 梓 音	栃木県立国分寺特別支援学校
	7	群 馬 県	木 竜 未 来	群馬県立藤岡特別支援学校
	8	東 京 都	狩 野 大 介	株式会社シンフォニア東武 押上事業所
	9	神 奈 川 県	鈴 木 真里子	株式会社日立ゆうあんどあい
	10	富 山 県	猪 浦 健 太	株式会社サンリッツ
	11	岐 阜 県	川 尻 真理子	特定非営利活動法人つむぎの森 地域活動支援センターまいむ
	12	静 岡 県	大古田 祐 樹	矢崎ビジネスサポート株式会社
	13	愛 知 県	鈴 木 崇 大	株式会社デンソーブラッサム
	14	愛 知 県	松 浦 章太郎	トヨタルーブス株式会社
	15	三 重 県	草名木 里 美	百五管理サービス株式会社
	16	滋 賀 県	秦 知 里	株式会社クレール
	17	京 都 府	上 田 紗 菜	京都市立白河総合支援学校
	18	大 阪 府	白 神 和 真	クボタワークス株式会社
	19	兵 庫 県	望 月 勇 希	株式会社川重ハートフルサービス KCT 事業所
	20	奈 良 県	形木原 歌 音	奈良県立奈良東養護学校
	21	和 歌 山 県	西 川 陽 規	紀陽ビジネスサービス株式会社
	23	島 根 県	春 山 理 砂	アルファー食品株式会社
	24	広 島 県	木 元 朝 陽	株式会社エネルギー・スマイル
	25	山 口 県	櫻 井 千 紗	山口県立田布施総合支援学校
	26	愛 媛 県	井 門 明日香	株式会社愛媛新聞社
	27	福 岡 県	中 村 友 美	株式会社チャレンジド・アソウ
	28	熊 本 県	上 口 直 人	特定非営利活動法人栗
	29	鹿 児 島 県	内 門 愛 海	鹿児島県立武岡台養護学校
表 計 算	1	山 形 県	菊 池 直 俊	特定非営利活動法人輝きネットワーク メディアかがやき
	2	栃 木 県	櫻 井 佑 樹	株式会社バンダイナムコウィル
	3	群 馬 県	永 野 花 奈	株式会社ウエノテクニカ
	4	埼 玉 県	上 島 一 晃	文化シャッター株式会社
	5	東 京 都	手 島 拓 身	株式会社日立ハイテクサポート

参加技能競技種目	番 号	都道府県名	氏 名	勤務先又は所属機関名
表 計 算	6	神奈川県	赤 津 慶 治	富士ソフト企画株式会社
	7	山 梨 県	外 川 伸 一	地方独立行政法人山梨県立病院機構 山梨県立中央病院
	8	岐 阜 県	小 川 裕 太	特定非営利活動法人ギフ福祉ネットワーク東部
	9	静 岡 県	山 田 凌 平	静岡県立あしたか職業訓練校
	10	愛 知 県	菊 池 蒼	株式会社トーエネック
	11	愛 知 県	青 野 鉄 平	株式会社ジェイアール東海ウェル
	12	三 重 県	西 健 太	百五管理サービス株式会社
	13	京 都 府	中 島 諒 祐	株式会社堀場製作所
	14	大 阪 府	田 中 義 嗣	株式会社ニッセイ・ニュークリエーション
	15	兵 庫 県	佐 藤 嵩 浩	新明和ハートフル株式会社
	16	和 歌 山 県	富 大 地	紀陽ビジネスサービス株式会社
	17	島 根 県	石 田 圭 佑	佐川急便株式会社 松江営業所
	18	広 島 県	佐々木 優	株式会社 JR 西日本あいウィル
	19	山 口 県	木 下 勇 気	有限会社リベルタス興産
	20	愛 媛 県	花 山 星 太	就労移行支援事業所 フェロー I C T
	21	福 岡 県	田 代 祥 明	株式会社あなぶきパートナー九州
	22	熊 本 県	小 川 円	熊本国税局
	23	宮 崎 県	山 名 航太郎	株式会社旭化成アビリティ
	24	沖 縄 県	奥 間 勇 雄	株式会社 C o m p a s s
ネ イ ル 施 術	1	千 葉 県	荒 山 美 夢	エイジスコポーレートサービス株式会社
	2	東 京 都	一 木 侑 子	野村不動産ライフ&スポーツ株式会社
	招1	北 海 道	山 下 加 代	ネイルサロン猫の爪
写 真 撮 影	1	北 海 道	河 野 仁 志	和田精密歯研株式会社 札幌センター
	2	愛 知 県	小 島 未 来	トヨタグループ株式会社
	3	愛 知 県	中 垣 良 則	トヨタグループ株式会社
	4	鹿 児 島 県	大 塚 弘 也	鹿児島県立武岡台養護学校
	5	鹿 児 島 県	重 水 美 雪	株式会社MOB A R T B O X 事業所
	6	鹿 児 島 県	荒 平 楓	鹿児島県立出水養護学校
パ ソ コ ン 組 立	1	北 海 道	島 田 静 香	特定非営利活動法人PCNET COM-I T
	2	千 葉 県	赤 地 和 典	地方独立行政法人総合病院 国保旭中央病院
パ ソ コ ン 操 作	1	山 形 県	小 池 正 美	社会福祉法人山形県身体障害者福祉協会
	2	栃 木 県	岡 澤 洋 成	国立大学法人筑波技術大学
	3	東 京 都	原 真 波	三井金属スタッフサービス株式会社
	4	京 都 府	田 渕 厚 司	社会福祉法人京都ライトハウス 就労支援事業所F S トモニー
	5	大 阪 府	和泉屋 信 貴	株式会社ハピズム
	6	福 岡 県	赤 星 美 穂	サンアクアTOTO株式会社
パ ソ コ ン デ ー タ 入 力	1	北 海 道	佐々木 愛 由	北海道函館五稜郭支援学校
	2	青 森 県	鎌 田 弘 務	げんねんワークサポート株式会社
	3	福 島 県	橋 本 顕	一般社団法人シャローム福祉会 ベーシック憩
	4	茨 城 県	武 笠 妃 那	茨城県立結城特別支援学校
	5	栃 木 県	速 水 佑樹人	特定非営利活動法人ひとつの花
	6	千 葉 県	石 井 翔	就労移行支援事業所コッポート 船橋駅前 Office

参加技能競技種目	番 号	都道府県名	氏 名	勤務先又は所属機関名
パソコンデータ入力	7	東京都	渡部 雄太	NSW ウイズ株式会社
	8	神奈川県	杉江 勇治	職業訓練法人神奈川能力開発センター
	9	富山県	野村 圭佑	一般社団法人新草会
	10	長野県	清水 幹生	社会福祉法人夢工房福祉会 L I N K
	11	静岡県	齊藤 雄飛	静岡県立あしたか職業訓練校
	12	愛知県	広瀬 智淳	株式会社ジェイアール東海ウエル
	13	愛知県	鈴木 満美	トヨタグループス株式会社
	14	京都府	池 耕太	京都市立白河総合支援学校
	15	大阪府	藤原 孝謙	株式会社ニッセイ・ニュークリエーション
	16	和歌山県	山本 侑太	紀陽ビジネスサービス株式会社
	17	鳥取県	村上 優	株式会社ジャパンディスプレイ
	18	山口県	柳 綺佳	株式会社宇部情報システム
	19	愛媛県	井門 仁哉	N H K松山拠点放送局
	20	福岡県	久保田 祐介	株式会社あなぶきパートナー九州
	21	熊本県	蓑田 優希乃	熊本県立ひのくに高等支援学校
縫製	1	北海道	田中 彩李菜	北海道新篠津高等養護学校
	2	山形県	板垣 美穂	社会福祉法人山形県身体障害者福祉協会 山形県リハビリセンター
	4	静岡県	藤本 美樹	静岡県立あしたか職業訓練校
	5	愛知県	小境 陽	愛知県立春日井高等特別支援学校
	6	愛知県	野々山 奨悟	愛知県立豊田高等特別支援学校
	7	京都府	浅田 美咲	株式会社俵屋吉富
	8	佐賀県	小村 侑大	社会福祉法人南高愛隣会 長崎能力開発センター
	9	熊本県	苑田 愛美	社会福祉法人愛火の会 野々島学園
	10	宮崎県	今原 飛翔	株式会社旭化成アビリティ
	招1	宮崎県	北村 重雄	株式会社旭化成アビリティ
木工	1	岩手県	若子 内 壘	岩手県立盛岡峰南支援学校
	2	茨城県	佐藤 莉果	茨城県立水戸高等特別支援学校
	3	栃木県	田島 立貴	栃木県立足利中央特別支援学校
	4	群馬県	原 幸 弥	群馬県立高崎高等特別支援学校
	5	富山県	宮嶋 和宏	富山県立富山高等支援学校
	6	静岡県	松浦 雅樹	静岡県立あしたか職業訓練校
	7	愛知県	徳岡 遥	愛知県立春日井高等特別支援学校
	8	滋賀県	丸岡 賢治	滋賀県立長浜北星高等養護学校
	9	佐賀県	中村 健一	社会福祉法人佐賀西部コロニー 昆虫の里
	10	熊本県	宮崎 裕史	社会福祉法人アバンセ 多機能型事業所カサ・チコ
	11	鹿児島県	地下 優輝	国立・県営鹿児島障害者職業能力開発校
	招1	熊本県	森本 常公	社会福祉法人アバンセ 多機能型事業所カサ・チコ
	招2	鹿児島県	笠野 加奈子	国立・県営鹿児島障害者職業能力開発校
	招3	鹿児島県	深見 尚生	鹿児島県立宮之城高等技術専門校

6 技能競技種目別・都道府県別参加選手数一覧

都道府県	競 技											
	洋裁	家具	D T P	機械 C A D	建築 C A D	電子 機器組立	義肢	歯科 技工	ワード・ プロセッサ	データ ベース	ホーム ページ	フラワー アレンジメント
北海道								2	1			
青森県								1				
岩手県			1						1			
宮城県			1						1		1	
秋田県												
山形県			1(1)						1	1		
福島県									1			
茨城県						(1)			1			
栃木県					1				1	1		
群馬県												
埼玉県			1					(1)			1	
千葉県			1	1							1	
東京都	1		1		2			(1)	1	1	1	1
神奈川県			1(1)	2		1			1		1	
新潟県												(1)
富山県												
石川県									1			
福井県												
山梨県	(1)								1			
長野県			1						1			
岐阜県									1			
静岡県			1						1	1		1
愛知県	1	3		1(1)	3	1			2	1	2	1(1)
三重県						1(2)			1			
滋賀県			1			1						
京都府						1			1			
大阪府			1			1			1(2)		1	
兵庫県									(1)			
奈良県									1			
和歌山県									1			
鳥取県									1			
島根県												
岡山県				1		1						
広島県			1	1					1	1	(1)	
山口県			1									
徳島県									1			
香川県									1			1
愛媛県	(1)			(1)								
高知県			1									
福岡県			1						1	1(1)		
佐賀県									1			
長崎県												
熊本県									1	1		
大分県	1					1			1			
宮崎県												1
鹿児島県	2						3					
沖縄県		1			1						1	(1)
計	5(2)	4(0)	15(2)	6(2)	7	8(3)	3	3(2)	29(3)	8(1)	9(1)	5(3)

※ () 内の数字は、招聘選手数であり、外数。

(単位:人)

競 技													合 計
コンピュータ プログラミング	ビル クリーニング	製品 パッキング	喫茶 サービス	オフィス アシスタント	表計算	ネイル 施術	写真 撮影	パソコン 組立	パソコン 操作	パソコン データ入力	縫製	木工	
	1(1)		1	1		(1)	1	1		1	1		10(2)
(1)			1							1			3(1)
	1		1	1								1	6
	1	1	1	1									7
	1		1	1	1				1		1		9(1)
	1		1							1			4
	1		1	1						1		1	6(1)
	1	1	1	1	1				1	1		1	11
	1			1	1							1	4
	1		1		1								5(1)
	1		1			1		1		1			8
1	1	1	1	1	1	1			1	1			17(1)
1	1	1	1	1	1					1			13(1)
													(1)
	1			1						1		1	4
	1												2
	1				1								3(1)
		1	1							1			5
	1	1	1	1	1								6
	1	1		1	1					1	1	1	11
	2(1)	1	2	2	2		2			2	2	1	31(3)
			1	1	1								5(2)
	1	1	1	1								1	7
	1(1)		1	1	1				1	1	1		9(1)
	1	1	1	1	1				1	1			11(2)
	1	1	1	1	1								5(1)
	1			1									3
		1	1	1	1					1			6
	1	1								1			4
	1	1	1	1	1								5
	1	1											4
	1	1	1	1	1								9(1)
	1		1	1	1					1			6
	1												2
	1	1											4
		1	1	1	1					1			5(2)
	1		1										3
		1		1	1				1	1			8(1)
	1		1								1	1	5
			1										1
	1	1	1	1	1					1	1	1(1)	10(1)
			1										4
	1		1		1						1(1)		5(1)
				1			3					1(2)	10(2)
1			1		1								6(1)
3(1)	35(3)	20	33	28	24	2(1)	6	2	6	21	9(1)	11(3)	302(28)

7 技能競技種目別・障害別・年齢区分別参加選手数一覧

(単位:人)

技能競技種目			総 数	障害種類																重 度	年齢区分				参加技能 競技種目と 現在の職業 との関連性		
				身体障害										知的 障害	精神 障害	計											
				肢体不自由		聴覚障害		音声・ 言語障害		視覚障害		内部障害						小計									
				主	重複	主	重複	主	重複	主	重複	主	重複					主	重複		主	重複					
技 能 競 技	洋 裁	5	3	1							4	1			5			2	1	1	1	1	4				
	家 具	4		3							3	1			4	3	3	1			4						
	D T P	15	5	1		(1)					6	(1)		9	15	(1)	5		8	3	4	11	4				
	機 械 C A D	6	2	1					2		5			1	6	3	1	1	1	3	5	1					
	建 築 C A D	7	3	2							5			2	7	1		5	1	1	7						
	電子機器組立	8	3	5	(1)						8	(1)			8	(1)	7		3	4	1	5	3				
	義 肢	3												3	3				2	1	3						
	歯 科 技 工	3	1	2							3				3	3				3	3						
	ワ ー ド・ プ ロ セ ッ サ	29	5	1							6	7	16	(1)	29	(1)	4	3	10	8	8	19	10				
	データベース	8	3	2							5			3	8	5		1		7	6	2					
	ホームページ	9	1	1					1		3			6	9	1		4	3	2	6	3					
	フ ラ ワ ー ア レ ン ジ メ ン ト	5	1	2							3			2	5	3		2	1	2	2	3					
	コンピュータ プログラミング	3	1								1			2	3				1	2	3						
	ビ ク リ ー ニ ン グ	35		1	(1)						1	(1)	30	4	35	(1)	1	22	10	1	2	17	18				
	製品パッキング	20											17	(1)	3	20	(1)		7	8	3	2	7	13			
	喫茶サービス	33											30	3	33	1	24	5	2	2	7	26					
	オ フ ィ ス ア シ ス タ ン ト	28											18	10	(1)	28	(1)	8	14	5	1	20	8				
	表 計 算	24	5	(1)	1		1		1		1	9	(1)	4	11	(1)	24	(2)	5	2	12	7	3	20	4		
	ネ イ ル 施 術	2		1								1	1		2	1		1	1			2					
	写 真 撮 影	6	2	2								4	2		6	3	3	1		2	2	4					
	パソコン組立	2	1									1		1	2	1				2		2					
	パソコン操作	6					6					6			6	6	1		2	3	4	2					
	パ ソ コ ン デ ー タ 入 力	21											20	(3)	1	(1)	21	(4)	8	11	2		11	10			
	縫 製	9											9	(1)	9	(1)		5	3	1		2	7				
	木 工	11											11		11	2	9		2		2	9					
計			302	36	(1)	26	(2)	1	(1)	7		4	74	(4)	151	(5)	77	(4)	302	(13)	55	99	100	51	52	167	135

※ () 内の数字は、重複障害を有する参加選手の従たる障害を表しており、各欄の合計数には反映されていないこと。

8 技能競技種目別実施時間一覧

技能競技種目等	8時		9時		10時		11時		12時		13時		14時		15時		16時		17時		
洋裁		競技説明	競技 9:00～11:00				休憩 11:00～12:00		競技 12:00～16:00												
家具		競技説明	競技 9:00～12:00						休憩 12:00～13:00		競技 13:00～16:00										
機械CAD			競技説明	競技 9:30～12:40							休憩 13:00～14:00										
電子機器組立		競技説明	競技 9:00～12:00						休憩 12:00～13:00		競技 13:00～14:30										
義肢				競技説明	競技 10:00～13:00						休憩 13:00～14:00		競技 14:00～15:45								
歯科技工		競技説明	競技 9:00～12:00						休憩 12:00～13:00		競技 13:00～15:00										
ワード・プロセッサ		競技説明	競技 9:00～12:00						休憩 12:00～13:00												
パソコンデータ入力								休憩 11:00～12:00				競技説明	競技 13:45～16:15								
データベース		競技説明	競技 9:00～12:00						休憩 12:00～13:00												
フラワーアレンジメント								休憩 11:00～12:00			競技説明	競技 13:00～17:00									
コンピュータプログラミング		競技説明	競技 9:00～12:00						休憩 12:00～13:00		競技 13:00～16:00										
ビクリーニング		競技説明	競技 9:00～12:00						休憩 12:00～13:00		競技 13:00～16:00										
製品パッキング								競技説明	競技 11:30～12:00	休憩 12:00～13:40			競技 13:40～14:55								
オフィスアシスタント							競技説明	競技 11:00～13:00			休憩 13:00～14:00										
喫茶サービス			競技説明	競技 9:20～12:10					休憩 12:10～13:00		競技 13:00～16:00										
ホームページ								休憩 11:00～12:00				競技説明	競技 13:30～16:30								
建築CAD								休憩 11:00～12:00			競技説明	競技 13:00～16:30									
表計算			競技説明	競技 9:30～10:45				休憩 11:00～12:00													
ネイル施術								休憩 11:00～12:00			競技説明	競技 13:00～16:00									
写真撮影				競技説明	競技 10:00～12:30						休憩 12:30～13:30		競技 13:30～15:00								
パソコン組立				競技説明	競技 10:00～12:00				休憩 12:00～13:00		競技 13:00～15:00										
パソコン操作							競技説明	競技 11:00～12:40				休憩 13:00～14:00									
DTP								休憩 11:00～12:00				競技説明	競技 13:30～16:45								
縫製				競技説明	競技 10:00～13:00						休憩 13:00～14:00		競技 14:00～15:00								
木工		競技説明	競技 9:00～12:00						休憩 12:00～13:00		競技 13:00～16:00										

9 手話通訳者及び要約筆記者配置数一覧

日付	対応内容		会場	手話通訳者 (名)	要約筆記者 (名)
11月13日	技能競技下見	洋 裁	展 示 ホ ー ル E	1	
		電 子 機 器 組 立		2	
		歯 科 技 工		1	
		ビルクリーニング		1	
		写 真 撮 影		1	
		家 具	展 示 ホ ー ル F	1	
		D T P		1	
		機 械 C A D		1	1
		建 築 C A D		1	1
		ワード・プロセッサ		1	
		デ ー タ ベ ー ス		1	1
		ホ ー ム ペ ー ジ		1	
		フラワーアレンジメント		1	1
		表 計 算		1	
		ネ イ ル 施 術		1	1
11月14日	技能競技	洋 裁	展 示 ホ ー ル E	1	
		電 子 機 器 組 立		2	
		歯 科 技 工		1	
		ビルクリーニング		1	
		写 真 撮 影		1	
		家 具	展 示 ホ ー ル F	1	
		D T P		1	
		機 械 C A D		1	1
		建 築 C A D		1	1
		ワード・プロセッサ		1	
		デ ー タ ベ ー ス		1	1
		ホ ー ム ペ ー ジ		1	
		フラワーアレンジメント		1	1
		表 計 算		1	
		ネ イ ル 施 術		1	1

10 技能競技種目別使用機器等一覧表

整理番号	技能競技種目	使用機器等	仕様等
101	洋裁	・本縫いミシン（職業用ミシン） JUKI SL-300EX	単相 100V/95W
		・ロックミシン JUKI MO-113DN	1本針、3本糸 単相 100V
102	家具	・角のみ盤 常磐工業 MS・SERVO	会場に1台 250V 20A 三相4芯 引掛式
		・卓上ボール盤 ①日立工機 B23SH ②日立工機 B-13S	会場に2台 ①チャック径13mm、ドリル（φ10.0）付 200V ②単相 100V 4.8A
		・電動ドリル マキタ M611	会場に1台 φ1.5～13 ドリルチャック
103	DTP	・パソコン DELL Optiplex 3070	デスクトップ型 23.6インチ TFT 液晶 JIS 標準配列 109 キーボード OS：MS Windows 10 Pro
		・プリンタ OKI c844dnw	会場に2台 A3 カラーレーザー
		・デザインソフト Adobe Illustrator CC Adobe Photoshop CC Adobe AcrobatDC Win 版 Dyna Font Type Museum Education Pack True Type for Windows	
104	機械CAD	・パソコン DELL Precision T3640	デスクトップ型 24インチ TFT 液晶 JIS 標準配列 109 キーボード OS：MS Windows 10 Pro AP：MS Office Professional 2016
		・プリンタ OKI c811	会場に1台 A3 カラーレーザー
		・CADソフト Inventor2020 Solidworks2019-2020 ・その他 Adobe AcrobatDC Win 版	
105	建築CAD	・パソコン DELL OptiPlex3040	デスクトップ型 23.6インチ TFT 液晶 JIS 標準配列 109 キーボード OS：MS Windows 10 Pro AP：MS Office Professional 2016
		・プリンタ OKI c811	会場に2台 A3 カラーレーザー
		・CADソフト AutoCAD 2018 JW-CAD Ver.8.12	

整理番号	技能競技種目	使用機器等	仕様等
107	義 肢	・ 真空ポンプ（真空成形器）	会場に2台（ポンプ口1台を2人で使用） 100V
		・ カービングマシン 株式会社敬愛義肢材料販売所 KI-M-100C	会場に2台（2人で1台を使用） 単相 100 V
		・ 電動ミシン JUKI SL-300EX	会場に2台（2人で1台を使用） 単相 100V/95W
		・ 電動ドリル 日立 Luh7	会場に2台（2人で1台を使用） φ 6.5 ドリルチャック、 ドリル（φ 3.2・φ 4.0）付、 100V 335W
109	ワ ー ド ・ プ ロ セ ッ サ	・ パソコン DELL Optiplex 3070	デスクトップ型 24 インチ TFT 液晶 JIS 標準配列 109 キーボード OS：MS Windows 10 Pro AP：MS Office Professional 2016
		・ プリンタ EPSON PX - 105	1 台 / 人 A4 カラーインクジェット
		・ ワードプロソフト MS Word 2016 ・ 表計算ソフト MS Excel 2016	
110	デ ー タ ベ ー ス	・ パソコン DELL Optiplex 3070	デスクトップ型 24 インチ TFT 液晶 JIS 標準配列 109 キーボード OS：MS Windows 10 Pro AP：MS Office Professional 2016
		・ プリンタ EPSON PX - 105	1 台 / 人 A4 カラーインクジェット
		・ データベースソフト MS Access 2016 ・ 表計算ソフト MS Excel 2016	
111	ホ ー ム ペ ー ジ	・ パソコン DELL OptiPlex7080	デスクトップ型 24 インチ TFT 液晶 JIS 標準配列 109 キーボード OS：MS Windows 10 Pro AP：MS Office Professional 2016
		・ Web 製作ソフト Adobe Dreamweaver CC Adobe Illustrator CC Adobe Photoshop CC ・ テキストエディタ TeraPad ・ 画像閲覧ソフト XnView Adobe Bridge ・ ウェブアプリケーション・プラットフォーム XAMPP ・ ブラウザソフト MS Internet Explorer 11 以上 Chrome	OS に標準装備のものを使用

整理番号	技能競技種目	使用機器等	仕様等
112	フ ラ ワ ー アレンジメント	花びん（花束用）	松村工芸 ピエーガ6号丸型アレンジ用 φ 18 × H18.2cm
		フラワーベース（食卓テーブル装飾用）	松村工芸 ユーロベルコンポート φ 15（内φ 14）× H 16cm
113	コンピュータ プログラミング	・ パソコン HP Prodesk 600G2	デスクトップ型 24 インチ TFT 液晶 JIS 標準配列 109 キーボード OS：MS Windows 10 Pro AP：MS Office Professional 2016
		・ プリンタ EPSON PX - 105	1 台 / 人 A4 カラーインクジェット
		・ 人協働ロボット デンソーウェーブ製 COBOTTA	ロボットコントローラー 付属ケーブル
		・ ソフトウェア WINCAPS III VRC ORIN2SDK	
118	表 計 算	・ パソコン DELL OptiPlex 3070	デスクトップ型 23.6 インチ TFT 液晶 JIS 標準配列 109 キーボード OS：MS Windows 10 Pro AP：MS Office Professional 2016
		・ プリンタ EPSON PX - 105	1 台 / 人 A4 カラーインクジェット
		・ 表計算ソフト MS Excel 2016	
120	写 真 撮 影	・ パソコン DELL OptiPlex3070	デスクトップ型 24 インチ TFT 液晶 JIS 標準配列 109 キーボード OS：MS Windows 10 Pro AP：MS Office Professional 2016
		・ プリンタ Canon	会場に 2 台
		・ 画像編集ソフト Adobe Photoshop CC	
		・ 一眼レフカメラ Canon EOS Kiss X8i	

整理番号	技能競技種目	使用機器等	仕様等
122	パソコン操作	・ パソコン DELL OptiPlex3070	デスクトップ型 23.6 インチ TFT 液晶 JIS 標準配列 109 キーボード OS : MS Windows 10 Pro AP : MS Office Professional 2016
		・ プリンタ EPSON PX - 105	1 台 / 人 A4 カラーインクジェット
		・ 表計算ソフト MS Excel 2016 ・ ワードプロソフト MS Word 2016 ・ ブラウザソフト MS InternetExplorer 9 以上 ・ 画面読上ソフト Focus Talk V4 PC-Talker neo plus ・ 画面拡大ソフト ZoomText 2019	OS に標準装備のものを使用
123	パソコン データ入力	・ パソコン DELL Optiplex 3050	デスクトップ型 24 インチ TFT 液晶 JIS 標準配列 109 キーボード OS : MS Windows 10 Pro AP : MS Office Professional 2016
		・ プリンタ EPSON PX - 105	1 台 / 人 A4 カラーインクジェット
		・ データベースソフト MS Access 2016 ・ 表計算ソフト MS Excel 2016	
124	縫製	・ 本縫いミシン（職業用ミシン） JUKI SL-300EX	主催者が準備するミシン 単相 100V / 95W
125	木工	・ 卓上ボール盤 日立工機株式会社製 B13R 単相 100V 4.8A	会場に 2 台（左記各 1 台） チャック径 13mm、ドリル（φ 5.8）付、 100V
		・ ハンドルータ RP2301FC	会場に 1 台 単相 100V 15A

11 第40回全国障害者技能競技大会実施要綱

令和2年4月7日制定

令和2年8月27日改正

1 趣 旨

障害者が日ごろ培った技能を互いに競い合うことにより、その職業能力の向上を図るとともに、企業や社会一般の人々が障害者に対する理解と認識を深め、その雇用の促進を図るため、第40回全国障害者技能競技大会（第40回全国アビリンピック）（通称を「アビリンピック2020」という。以下「第40回全国大会」という。）を開催するが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、無観客により開催することから、広報活動を強化する。

なお、第40回全国大会は、第58回技能五輪全国大会（主催：厚生労働省等）と同時開催する。

また、第40回全国大会は、第10回国際アビリンピック（令和3年5月にロシア連邦において開催）派遣選手選考のための大会としても位置付ける。

2 主 催

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構（以下「機構」という。）

3 協 力

愛知県

4 後 援

厚生労働省、内閣府、文部科学省、経済産業省、中央職業能力開発協会

5 協 賛

一般社団法人日本経済団体連合会、日本商工会議所、全国商工会連合会、
全国中小企業団体中央会、中小企業家同友会全国協議会、一般社団法人日本新聞協会、
日本放送協会、一般社団法人日本民間放送連盟、
社会福祉法人日本身体障害者団体連合会、全国手をつなぐ育成会連合会、
公益社団法人全国精神保健福祉会連合会、公益社団法人全日本洋裁技能協会、
一般社団法人日本洋装協会、一般社団法人日本家具産業振興会、
一般社団法人日本印刷産業連合会、公益社団法人日本歯科技工士会、
一般社団法人日本義肢協会、公益社団法人日本義肢装具士協会、
フラワー装飾技能検定中央協議会、公益社団法人全国ビルメンテナンス協会、
特定非営利活動法人インターナショナルネイルアソシエーション、
一般社団法人障害者雇用企業支援協会、公益社団法人全国障害者雇用事業所協会、
日本労働組合総連合会

（以上、順不同）

6 日 程

令和2年11月13日（金） 技能競技会場下見

同 11月14日（土） 技能競技

同 11月15日（日） 成績発表

7 会 場

愛知県国際展示場

(愛知県常滑市セントレア5丁目)

8 技能競技の実施

障害者の雇用の促進及び継続に資すると想定され、かつ、啓発効果の高い職種（種目）により、以下のとおり技能競技を実施する。

(1) 技能競技種目及び参加予定数

整理 番号	種 目	参加対象障害者	参加予定数 (名)
101	洋 裁	身体障害者・知的障害者・精神障害者	5
102	家 具		5
103	D T P		23
104	機械C A D		5
105	建築C A D		5
106	電子機器組立		9
107	義 肢		5
108	歯科技工		5
109	ワード・プロセッサ		44
110	データベース		9
111	ホームページ		11
112	フラワーアレンジメント		8
113	コンピュータプログラミング		5
114	ビルクリーニング		47
115	製品パッキング		26
116	喫茶サービス		46
117	オフィスアシスタント		43
118	表計算		36
119	ネイル施術		5
120	写真撮影		5
121	パソコン組立		5
122	パソコン操作	身体障害者（視覚障害者に限る）	12
123	パソコンデータ入力	知的障害者	35
124	縫 製		17
125	木 工		13
合 計			429

(2) 技能競技選手参加資格

次の①から④までのいずれにも該当する者であって、都道府県知事から第40回全国大会会長（機構理事長をいう。以下「大会会長」という。）に推薦された者とする。

① 次のイからハまでのいずれかの障害者

イ 障害者の雇用の促進等に関する法律（昭和35年法律第123号。以下「法」という。）

第2条第2号及び第3号に規定する身体障害者。

ロ 法第2条第4号及び第5号に規定する知的障害者。

ハ 法第2条第6号に規定する精神障害者。

② 令和2年4月1日現在において15歳以上の者。

③ 参加を希望する技能競技種目において、第35回から第39回までの全国障害者技能競技大会（以下「全国大会」という。）で金賞を受賞した者でない者。

④ 次に掲げる技能競技種目について、第37回から第39回までの全国大会において、参加を希望する技能競技種目に3大会連続して参加した者でない者。

DTP（103）、電子機器組立（106）、ワード・プロセッサ（109）、データベース（110）、ホームページ（111）、フラワーアレンジメント（112）、ビルクリーニング（114）、製品パッキング（115）、喫茶サービス（116）、オフィスアシスタント（117）、表計算（118）、ネイル施術（119）、パソコン操作（122）、パソコンデータ入力（123）、縫製（124）、木工（125）

(3) 技能競技参加選手の推薦等について

① 各都道府県知事が推薦できる選手の人数は、次のとおりとする。

イ 各都道府県知事が推薦できる選手の人数は、原則として1競技種目につき1名とする。

なお、本大会を開催するにあたり協力する都道府県知事が推薦できる選手の人数は、1競技種目につき2名とする。

ロ ただし、次に掲げる技能競技種目については、3名を上限として複数名の選手を推薦できることとする。

洋裁（101）、家具（102）、機械CAD（104）、建築CAD（105）、義肢（107）、歯科技工（108）、コンピュータプログラミング（113）、写真撮影（120）、パソコン組立（121）

② 各都道府県知事は、選手を推薦しようとする技能競技種目が、地方アビリンピック（各都道府県において機構都道府県支部高齢・障害者業務課等が実施する当該都道府県における障害者の技能競技大会をいう。以下同じ。）において実施されている場合にあっては、当該地方アビリンピックでの金賞受賞者（金賞受賞者に準ずる者を含む。以下同じ。）をもって当該競技種目への推薦を行うものとする。ただし、上記①のロに掲げる技能競技種目については、金賞受賞者を含む全3名を上限として複数名の選手を推薦できるものとする。

なお、地方アビリンピックにおける技能競技種目の名称が第40回全国大会で実施する技能競技種目の名称と異なる場合であっても、当該両競技種目の競技課題の内容（競技実施内容）等が互いに類似している場合には、当該両競技種目は同一種目とみなすこととする。

③ 各都道府県知事は、地方アビリンピックにおいて実施していない技能競技種目であって、上記①のロに掲げる技能競技種目については、別の定めにより、当該競技種目への推薦を行うものとする。

- ④各都道府県知事は、選手を推薦するにあたっては、別紙「第40回全国障害者技能競技大会技能競技参加選手推薦書」を大会会長に提出するものとする。また、選手、選手介助者及び選手引率者等から構成する各都道府県選手団を編成し、別途通知する方法により機構に報告するものとする。
- ⑤選手推薦に係る書類の提出期限は、特段の事情がなければ、令和2年7月31日(金)までとする。
- ⑥各都道府県知事は、選手推薦にあたり、当該者の体調や安全管理の状況等を考慮するとともに、個人情報の保護に関する法令等に十分留意するものとする。
- ⑦主催者は、選手推薦のために要する経費を負担しないものとする。

(4) 技能競技参加選手の決定

大会会長は、各都道府県知事が推薦する者のうちから、次に掲げる事項を勘案して参加選手を決定し、当該都道府県知事にそれぞれ通知するものとする。

- ①各都道府県知事からの推薦状況と技能競技会場の面積等との関係
- ②地方アビリンピックの実施結果
- ③参加技能競技種目と現在の職業との関連性の有無又は参加技能競技種目関連職種への就業希望の有無

(5) 技能競技参加選手決定の取消し

大会会長は、大会開始前に都道府県知事から参加選手決定の取消しの申し出があった場合は、決定を取り消すことができる。

(6) 技能競技の実施方法

- ①実施形式
実技のみにより実施する。
- ②実施時間
概ね6時間以内とする。
- ③技能競技課題の公表
技能競技実施に差し支えない範囲で事前に公表する。
- ④技能競技課題の水準
 - イ 洋裁(101)、家具(102)、電子機器組立(106)、義肢(107)及びフラワーアレンジメント(112)の技能競技課題の水準は、技能検定2級の実技試験と同程度のものとする。
 - ロ ワード・プロセッサ(109)及び表計算(119)の技能競技課題の水準は、中央職業能力開発協会及び都道府県職業能力開発協会が実施するコンピュータサービス技能評価試験実施規程に定める2級程度のものとする。
- ⑤使用機器等
技能競技において使用する基本的共通機器等は、原則として機構において整備し、当該機器等の具体的内容は事前に公表することとする。
また、当該機器等は原則として改良を行わないものとする。
なお、選手個々が使用する技能競技参加に係る必要な補助具等は、当該選手において整備するものとする。
- ⑥成績の評価(審査)
選手の技能競技成績を評価(審査)するにあたっては、障害の種類・程度を特に考慮しないものとする。
- ⑦作品等の所有権
技能競技において製作された作品等の所有権は、すべて機構に帰属するものとする。

9 表彰

- (1) 機構は、別に定める授賞選考委員会において技能競技種目毎に選考された成績優秀な者に対して、金賞、銀賞又は銅賞を授与するものとする。
また、金賞受賞者に対しては、厚生労働省より別途厚生労働大臣賞が授与されるものとする。
- (2) 機構は、金賞、銀賞又は銅賞のほか、授賞選考委員会において技能競技種目毎に入賞に準ずる成績の者に対して、努力賞を授与するものとする。

10 参加経費等

- (1) 第40回全国大会への参加費は無料とする。
- (2) 機構は、技能競技選手及びその他機構が認める者に対して、第40回全国大会参加に係る往復の交通費等を支給する。
- (3) 技能競技への参加にあたって、選手が自らの工具及び補助具等を使用する場合は、自己の経費負担において搬送等するものとする。

11 特典

- (1) 技能検定の実技試験の免除に係る技能証の交付
厚生労働大臣の承認を得た競技課題で実施する技能競技種目（上記8の（6）の④のイに掲げる技能競技種目）において一定以上の成績を修めた者に対して、技能証（実技部門）を交付することとする。
なお、第40回全国大会において学科試験は実施しないこととする。
- (2) コンピュータサービス技能評価試験の試験免除に係る技能証の交付
中央職業能力開発協会の認定を得た競技課題で実施する技能競技種目（上記8の（6）の④のロに掲げる技能競技種目）において一定以上の成績を修めた者に対して、合格証書の交付申請に必要な技能証（第40回全国大会参加年度を含め3年度間に限り有効。）を交付することとする。

12 体調・安全管理

技能競技選手は、第40回全国大会への参加にあたって、自己の責任において自身の体調・安全管理を行う（必要な服用薬・服装等の持参を含む。）こととし、主催者は、選手の体調・安全管理をサポートするための必要な人員の配置について配慮するほか、技能競技及びそれに付随する大会行事参加中に当該選手が受傷し、又は疾病等に罹患したときは、速やかに応急の処置を行うこととする。

13 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対応

機構は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、第40回全国大会を無観客により開催することに加え、以下のとおり対応するものとする。

- (1) 別に定めるところにより新型コロナウイルス感染症拡大防止のための具体的な措置を講じることとし、同大会の参加者に当該措置の遵守を義務付けるものとする。
- (2) 同大会の開催にあたって、開会式及び閉会式、技能デモンストレーション並びに障害者ワークフェアについては、これを実施しないものとする。

14 過去の全国大会金賞受賞者の招聘

第1条に定める第10回国際アビリンピック派遣選手選考のため、当該選考対象技能競技種目（別に定める技能競技種目をいう。）について、第36回から第39回までの全国大会の金賞受賞者を招聘する。

なお、招聘された選手は、第40回全国大会の9に記載する表彰の対象としないこととする。
その他、派遣選手選考に係る事項については、別に定めるものとする。

15 その他

本要綱に定めのない事項及び本要綱によりがたい事項については、大会会長の決定するところにより取り扱うものとする。

第 4 0 回全国障害者技能競技大会技能競技参加選手推薦書

① 氏 名	(フリガナ)	② 性別 男・女	③ 生 年 月 日		④ 年 齢 才
			昭和 平成	年 月 日	
⑤ 現 住 所	〒 ー TEL : FAX : E メール :				
⑥ 勤務先又は 所属機関名	a. 一般企業 b. 特例子会社 c. 能力開発施設 d. 福祉施設 e. 特別支援学校 f. その他				
⑦ 上記⑥の 所 在 地	〒 ー TEL : FAX : E メール :				
⑧ 障 害 の 種 別	身 体 障 害 [視覚障害 ・ 聴覚障害 ・ 音声/言語 ・ 肢体不自由 内部障害 ・ その他の障害 ()]				
	知 的 障 害		精 神 障 害		
⑨ 障 害 の 程 度	身 体 障 害	知 的 障 害		精 神 障 害	
	第 種 級	第 種 度		級	
		重度判定 (有 ・ 無) 知的判定 (有 ・ 無)			
⑩ 障 害 に 関 す る 特 記 事 項					
⑪ 参加技能競技種目					
⑫ 過去の全国障害者 技能競技大会への 参 加 状 況	参 加 有	第35回大会	(参加技能競技種目:	金賞受賞: 有・無)	参 加 無
		第36回大会	(参加技能競技種目:	金賞受賞: 有・無)	
		第37回大会	(参加技能競技種目:	金賞受賞: 有・無)	
		第38回大会	(参加技能競技種目:	金賞受賞: 有・無)	
		第39回大会	(参加技能競技種目:	金賞受賞: 有・無)	
⑬ 各都道府県における障害者の技能競技大会 (地方アビリンピック) への参加状況					
参加技能競技種目:		成 績:			
⑭ 参加技能競技種目関 連職種での就業状況	参加技能競技種目と現在の職業との関連性: 有 ・ 無				
	参加技能競技種目関連職種への就業希望: 有 ・ 無				
⑮ 緊 急 連 絡 先	氏 名 (フリガナ) 続柄 () 電話番号 ー ー				
上記の者を第 4 0 回全国障害者技能競技大会技能競技参加選手として適当と認め、本人の同意書を添えて推薦します。 年 月 日 知事 ⑩ 第 4 0 回全国障害者技能競技大会会長 殿 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構理事長					

(記入上の注意)

- ②、③、⑥、⑧、⑨、⑫、⑭の各欄の該当箇所にそれぞれ○印を付けること。
- ④欄には、令和2年4月1日現在の年齢を記入すること。
- ⑥欄は、勤務先又は所属機関名を記入のうえ、a～fの該当箇所にそれぞれ○印を付けること。
- ⑧欄は、障害者の雇用の促進等に関する法律（以下「法」という。）第2条第2号及び第3号並びに同法施行規則第1条に規定する身体障害者である場合は「身体障害」に、法第2条第4号及び第5号並びに同法施行規則第1条の2及び第1条の3に規定する知的障害者である場合は「知的障害」に、法第2条第6号及び同法施行規則第1条の4に規定する精神障害者である場合は「精神障害」に、それぞれ○印を付けること。（障害が重複する場合は、当該障害すべてに○印を付けること。）
また、「身体障害」に○印を付けた場合は、（ ）内の該当する障害すべてに○印を付けること。
- ⑨欄のうち「身体障害」欄は、身体障害者手帳及び指定医の診断書等の交付を受けている者について、当該手帳等記載の種別・等級を記入すること。
- ⑨欄のうち「知的障害」欄は、療育手帳等の交付を受けている者については、当該手帳等記載の種別・程度を記入すること。また、障害者職業センターにおいて重度知的障害者判定を受け、該当の判定を受けている者については、重度判定欄に「判定有」の○印を付けること。知的障害者判定機関（児童相談所、知的障害者更生相談所、精神保健福祉センター、精神保健指定医及び障害者職業センター）において知的障害があると判定されている者については、知的判定欄に「判定有」の○印を付けること。
- ⑩欄のうち「精神障害」欄は、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者について、当該手帳記載の等級を記入すること。
- ⑩欄は、主催者に対して情報提供が必要と思われる特記事項がある場合に記入すること。
- ⑫欄は、「参加有」に○印を付けた者について、該当欄に記入及び○印を付けること。
- ⑬欄は、地方アビリンピックに参加した者について記入すること。
- ⑭欄は、関連性「無」に○印を付けた場合、就業希望「有」又は「無」のいずれかに○印を付けること。
- ⑮欄は、緊急時に連絡が出来る方を記入すること。

第40回全国障害者技能競技大会参加に係る同意書

私は、第40回全国障害者技能競技大会（以下「第40回全国大会」という。）に技能競技選手として参加するにあたり、下記事項すべてに同意し、署名いたします。

記

- 第40回全国大会へ参加可能な体調であることを予め確認（必要に応じて医師への確認を含む。）のうえ、同大会へ参加すること。
- 自己の責任において自身の体調・安全管理を行う（必要な服用薬・服装等の持参を含む。）こと。
- 技能競技及びそれに付随する大会行事参加中にケガを負った場合又は疾病等に罹った場合において、主催者が速やかに応急の処置を行うこと。
- 第40回全国大会開催時の事故等（開閉会式会場内及び技能競技会場内における事故等）及び主催者が手配して運行する選手団送迎バス乗車中の事故等（いずれも選手団の責めに帰す場合を除く。）については、主催者が付保する傷害保険の範囲内で補償すること。なお、各都道府県選手団が、同大会参加のため各地から大会開催地まで旅行する行程中及び帰郷のため大会開催地から各地まで旅行する行程中の事故等については、主催者及び都道府県選手団引率者による補償の対象とならないこと。
- 主催者が推薦書記載の項目のうち「氏名」、「都道府県名」及び「勤務先又は所属機関名」を第40回全国大会に関する各種印刷物等に掲載すること並びに推薦書記載のその他の項目を個人名を明記することなく第40回全国大会に係る各種業務統計資料に活用すること。
- 主催者及び主催者が認めた者が第40回全国大会期間中に私の写真等を撮影すること並びに当該写真等を障害者技能競技大会（地方大会、国際大会含む）に関する各種広報物等（ホームページ等への掲載を含む。）に使用すること。
- 大会会場に持ち込む所有物（私物）に関しては、責任を持って自己管理し、事故・過失による損壊・紛失等においては、主催者を免責すること。
- 第40回全国大会期間中において、主催者及び主催者が認めた者から示された方針及び決定事項に従うこと。

年 月 日

本人署名又は記名押印： _____ 印

親権者又は代理人
署名又は記名押印： _____ 印

<本人が未成年の場合又は署名（記名押印を含む。）することが困難な場合に署名>

令和2年8月27日

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構

第40回全国障害者技能競技大会（以下「全国アビリン」という。）を開催・実施するに当たって、新型コロナウイルス感染拡大防止のため取り組むべき具体的な事項等を取りまとめたものである。

なお、当該内容は、現段階で得られている知見等に基づき作成しており、今後の知見の集積及び地域の感染状況を踏まえて、逐次見直すことがあり得る。

1 競技委員会専門部会の開催時の対応

- (1) 原則として5人以上の競技委員会専門部会専門委員等（以下「専門委員等」という。）が集合しての競技別競技委員会専門部会（以下「専門部会」という。）は開催せず、できるだけスカイプ、ズーム等のWeb会議、メール等により実施すること。
- (2) 集合しての専門部会を開催するに当たっては、以下の事項に留意するよう、周知・徹底すること。
 - ①以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること。
 - ア 体調が良くない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - イ 同居家族や身近な知人等に新型コロナウイルス感染が疑われる方がいる場合
 - ウ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
 - ②マスクを持参し、会場内ではマスクを着用すること。
 - ③会場に入場する際には、手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
 - ④会場内の座席の配置等に当たっては、専門委員等の距離（できるだけ2m以上）を確保すること。距離を確保できない場合でも、仕切りのない対面での座席配置は避け、可能な限り対角に配置する、横並びにするなどの工夫をすること。
 - ⑤専門委員等が会議終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症に関するPCR検査等で陽性となった場合は、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構（以下「機構」という。）に対して速やかに報告するとともに、関係機関が行う濃厚接触者の調査等に協力すること。

2 全国アビリン開催時の感染防止対策

全国アビリンについては、感染防止対策のため「無観客」により開催する。

また、技能競技参加選手（以下「選手」という。）等が一堂に会する形での開閉会式（表彰式を含む）等の実施を取りやめる。

なお、具体的な感染防止対策については、以下に記載のとおり。

(1) 技能競技参加選手決定時の対応

機構は、選手の決定に際し、感染拡大の防止のために選手、介助者及び引率者（以下「参加者」という。）が遵守すべき事項を明示して、協力を求めること。また、これを遵守できない参加者には、他の参加者の安全を確保する等の観点から、全国アビリンへの参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがあり得ることを周知すること。

なお、参加者に求める感染拡大防止のために遵守すべき措置は、以下のとおり。

①参加者は、体調確認チェックシート（(3) ①）を提出するとともに、以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること。

ア 体調が良くない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）

イ 同居家族や身近な知人に新型コロナウイルス感染が疑われる方がいる場合

ウ 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該国等の在住者との濃厚接触がある場合

②マスクを持参し、会場内ではマスクを着用すること。

③会場では、手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。

④会場内では、他の参加者及び競技委員等との距離（できるだけ 2 m 以上）を確保すること。

⑤競技中に大きな声での会話、応援等をしないこと。

⑥感染防止のために定められたその他の措置を遵守するとともに、機構の指示に従うこと。

⑦参加者が全国アビリン終了後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症に関する PCR 検査等で陽性となった場合は、機構に対して速やかに報告するとともに、関係機関が行う濃厚接触者の調査等に協力すること。

(2) 競技の参加受付時（競技準備のための工具等搬入時や下見時等を含む。以下同じ。）の対応

機構は、参加受付時に参加者が密になることを防止するとともに、安全に競技を実施するため、競技会場入口等での受付の際には、以下の事項を行うこととする。

①受付場所には、手指消毒剤を設置し、参加者に消毒させること。

②発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある者は入場しないように呼び掛けること。
（状況によっては、発熱者を体温計、サーモグラフィ等で特定し、入場を制限すること。）

③人と人が対面する場所は、アクリル板、透明ビニールカーテンなどで遮蔽すること

（状況によっては、受付を行うスタッフがフェイスシールドの装着により対応することを含む。）。

④参加者が距離をおいて並べるように目印の設置等を行うこと。

⑤受付を行うスタッフには、マスクを着用させること。

⑥技能競技種目（以下「競技」という。）ごとに参加者の体調確認チェックシート（(3) ①）を提出させること。なお、当該チェックシートへの記入等は事前に行っておくこと。

(3) 参加者への対応

①体調の確認

機構は、競技の参加受付時に、参加者に対して以下の事項を記載した別紙書面（体調確認チェックシート）の提出を求めることとする。

なお、競技実施日においては、宿泊施設等においてご自身で検温し、37.5 度以上の発熱等がある場合は、来場を控えること。

ア 氏名、年齢、住所、連絡先（電話番号）

※個人情報の取扱いに十分注意する。

イ 競技当日及び競技前 2 週間における体温測定結果及び以下の事項の有無

（ア）37.5 度を超える発熱

（イ）咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状

（ウ）だるさ（倦怠（けんたい）感）、息苦しさ（呼吸困難）

（エ）嗅覚や味覚の異常

（オ）身体が重く感じる、疲れやすい等

（カ）新型コロナウイルス感染症について陽性とされた者との濃厚接触

（キ）同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる

（ク）過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該国等の在住者との濃厚接触

②マスクの着用状況の確認

機構は、参加者がマスクを着用していることを確認し、未着用の参加者に対しては、マスクの着用を求めること。

なお、選手の障害の種類・程度等により、マスクを着用することが困難であると機構が認める場合は、この限りではない（機構あて事前の申請が必要）。

③競技前後の留意事項

参加者に対しては、競技会場内のみならず、更衣室や昼食会場等においても、三つの密を避けるとともに、常にマスクを着用するなど十分な感染防止対策を講ずることを求めること。

(4) 専門委員等への対応

機構は、専門委員等が競技会場入りする当日に、専門委員等に対して参加者と同様に上記（3）①の体調確認チェックシートの提出を求めること。

また、専門委員等は、当該チェックシートの提出後、全国アビリン開催期間中は毎朝宿泊施設等においてご自身で検温し、37.5 度以上の発熱等がある場合は、来場を控えるとともに、全国アビリン開催中はマスクの着用を求めることとする。

なお、専門委員等は、競技の前後の打合せ等においても、三つの密を避けるとともに、常にマスクを着用するなど十分な感染防止対策を講ずること。

(5) 専門委員等以外のスタッフへの対応

機構は、専門委員等以外の全国アビリン役員及びスタッフのほか、会場設営等の運営の一部を外部に委託する場合には、上記（4）に準じた措置を講ずるよう求めること。

(6) 競技会場において準備等すべき事項

①競技エリア

競技エリアにおける感染リスクを下げるため、機構は、以下に配慮して準備すること。

ア 三つの密を避けるため、原則として選手と選手の間隔を2m 以上空けること。選手と選手の間隔を2m 以上確保できない場合には、アクリル板、透明ビニールカーテンなどで遮蔽する。人と人が対面する場所は、アクリル板、透明ビニールカーテンなどで遮蔽すること。

イ 選手と選手以外の者との間隔をできるだけ2m 以上空けること。

ウ 専門委員等により、複数の選手が触れる可能性のある競技機材を、選手が入れ替わる際等にこまめに消毒する。

エ アルコール等の手指消毒剤の設置

参加者、専門委員等が全国アビリン開催の間にこまめに手指を消毒できるよう、競技ごとの競技エリアにアルコール等の手指消毒剤を設置すること。

②選手や専門委員等のための更衣室、休憩・待機スペース（招集場所）等

更衣室、休憩・待機スペース、昼食会場等は感染リスクが比較的高いと考えられることに留意する必要があることから、機構は、以下に配慮して準備すること。

ア 広さにはゆとりを持たせ、参加者や専門委員等が密になることを避ける。

イ ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する参加者や専門委員等の数を制限する等の措置を講じる。

ウ 室内又は待機スペース内で複数の参加者、専門委員等が触れると考えられる場所（ドアノブ、テーブル、椅子等）については、こまめに消毒する。

③洗面所（トイレ）

洗面所についても感染リスクが比較的高いと考えられることから、機構は、以下に配慮して管理するため、会場を運営する機関と調整・確認すること。

- ア トイレ内の複数のトイレ利用者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）については、こまめに消毒する。
 - イ トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示する。
 - ウ 手洗い場には、石けん（ポンプ型等）を用意する。
 - エ 感染症への感染を防ぐ手洗いの方法を掲示する。
 - オ 手ふきタオルを共用しないこと。
- ④飲食物（弁当等）の提供時
- 飲食物（弁当等）を参加者に提供する際には、機構は、以下に配慮することとする。
- ア 参加者が飲食物を手にする前に、手洗い、手指消毒を行うよう声を掛ける。
 - イ 飲料については、ペットボトル・ビン・缶等個別配付できるものを提供する。
 - エ 飲食については、指定場所以外で行わず、周囲の人となるべく距離を取って対面を避け、飲食中の会話は控えること。食べきれなかったもの・飲みきれなかったもの等を指定場所以外に捨てないこと。

3 その他の留意事項

(1) 交通機関の利用及び宿泊における留意事項

機構は、参加者及び専門委員等に対し、以下の留意点を周知・徹底することとする。

- ①参加者及び専門委員等は、利用する各交通機関及び各宿泊施設が策定する「新型コロナウイルス対応ガイドライン」に従い対応すること。
- ②参加者、専門委員等は、食事等を除き宿泊施設からの不要不急の夜間外出はしないこと。

(2) 取得した個人情報の取扱い等について

機構は、万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意しながら、競技参加時に参加者等に提出を求めた体調確認チェックシート（(3) ①）について、保存期間（少なくとも1月以上）を定めて保存すること。

また、全国アビリン終了後に、参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合の公表の有無・方法については、感染者の人権に配慮し、個人名が特定されないように留意しつつ、公衆衛生上の要請も踏まえ、実態に応じて検討すること。

13 別紙 体調確認チェックシート（選手団用）

別紙

令和 年 月 日

大会参加者 各位

体 調 確 認 チ ェ ッ ク シ ー ト

第40回全国大会において、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、技能競技参加選手（招聘選手として参加する者を含む。）、介助者、引率者及びその他機構が定めた者として参加するにあたり、健康状態を確認するため情報の提供をお願いいたします。本シートはご記入の上、第40回全国大会参加時に持参してください。

なお、提出された個人情報の取り扱いには十分配慮し、個人情報保護法等の法令において認められる場合を除き、ご本人の同意を得ずに第三者に提供いたしません。

ただし、大会会場にて感染症患者またはその疑いのある方が発見された場合は、必要な範囲で保健所等に提供する場合がありますので、ご了承ください。何卒ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

参 加 者	
本人 署名又は記名押印	印
親権者又は代理人署名又は記名押印	印
< 本人が未成年の場合又は署名（記名押印を含む。）することが困難な場合に署名 >	
生 年 月 日	明治 昭和 大正 平成 年 月 日生
年 齢	歳 （令和2年11月13日時点）
住 所	
電 話 番 号 （日中に連絡が取れる電話番号）	

大会前2週間における体温測定結果								
日付	10/30(金)	10/31(土)	11/1(日)	11/2(月)	11/3(火)	11/4(水)	11/5(木)	11/6(金)
体温	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
日付	11/7(土)	11/8(日)	11/9(月)	11/10(火)	11/11(水)	11/12(木)	11/13(金)	平熱
体温	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃

大会前2週間における健康状態 （※該当する項目の□にチェック）	
(1)	37.5度以上の発熱がない ☐
(2)	咳、のどの痛みなど風邪の症状がない ☐
(3)	普段にはない強い倦怠感、息苦しさ(呼吸困難)がない ☐
(4)	嗅覚や味覚の異常がない ☐
(5)	普段にはない身体の重さを感じることや疲れやすい等の症状がない ☐
(6)	新型コロナウイルス感染症について陽性とされた者との濃厚接触がない ☐
(7)	同居家族や身近な知人に感染が疑われる者がいない ☐
(8)	過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がない ☐

注:全ての項目にチェックが付かない場合は、第40回全国大会への参加を見合わせる。

第40回全国大会

13 別紙 体調確認チェックシート（選手団用）

14 第40回全国障害者技能競技大会の参加に係る同意書（選手団用）

第 40 回全国障害者技能競技大会の参加に係る同意書 (選手団用)

私は、「第 40 回全国障害者技能競技大会（以下「第 40 回全国大会」という。）」に技能競技参加選手（招聘選手として参加する者を含む。）、介助者、引率者及びその他機構が定めた者として参加するにあたり、下記事項の全てに同意し、署名（記名押印を含む。）いたします。

I 新型コロナウイルス感染症関連

- 1 第 40 回全国大会期間中においては、自己の責任において「マスクの着用」、「人と人との距離の確保（概ね 2 m 以上）」、「手洗いなどの手指衛生」などの基本的な感染対策を行うこと。

また、主催者が講じる新型コロナウイルス感染症拡大防止のための措置に関し、これに従うこと。

ただし、主催者が当該感染防止の措置を講じたとしても、新型コロナウイルスの感染リスクがあることを承諾したうえで参加すること。

- 2 第 40 回全国大会へ参加可能な体調であることを予め確認（必要に応じて医師への確認を含む。）のうえ、競技当日及び競技前 2 週間における体温測定結果等健康状態について、別紙の書類に必要事項を記載の上、主催者あて提出すること。

なお、競技前 2 週間の期間において、以下の（１）～（８）の事項に該当する場合は、第 40 回大会への参加を見合わせることを。

- (1) 37.5 度以上の発熱
- (2) 咳、のどの痛みなど風邪の症状
- (3) だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）
- (4) 嗅覚や味覚の異常
- (5) 身体が重く感じる、疲れやすい等
- (6) 新型コロナウイルス感染症について陽性とされた者との濃厚接触
- (7) 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる
- (8) 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該国等の在住者との濃厚接触

- 3 第 40 回全国大会開催期間中は、毎朝検温し、その結果、37.5 度以上の発熱があった場合は、第 40 回全国大会会場への来場は見合わせることを。

また、37.5 度以上の発熱はないものの、上記 2（２）～（８）の症状がある場合も、同様に第 40 回全国大会会場への来場は見合わせることを。

- 4 第 40 回全国大会会場入口等に設置する検温機器による検温の結果、37.5 度以上の発熱が認められた場合は、速やかに宿泊施設の自室等へ戻り待機すること。

なお、同会場内において、上記 2（２）～（８）の症状があると主催者が判断した場合は、主催者が同会場からの退出を命じることがあること。

また、上記退出を命じられた場合は、これに従い速やかに宿泊施設の自室等へ戻り待機すること。

- 5 第 40 回全国大会については、現時点（本同意書に署名（記名押印を含む）する時点をいう。）以後、新型コロナウイルスの感染拡大状況等により、中止することがあり得ること。

- 6 参加者が第 40 回全国大会終了後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症に関する PCR 検査等で陽性となった場合は、主催者に対して速やかに報告するとともに、関係機関が行う濃厚接触者の調査等に協力すること。

Ⅱ 第40回全国大会技能競技風景等の写真撮影及びWEB配信関連

第40回全国大会の競技風景等に関しては、WEB配信することを予定していることから、主催者及び主催者が認めた者が第40回全国大会期間中に競技風景等を撮影すること並びに当該動画をWEB配信することについて承諾すること。

なお、当該写真及び動画については、第40回全国大会のみならず、主催者が作成する障害者技能競技大会全般に関する各種広報物等（ホームページ等への掲載を含む。）の素材として使用すること。

Ⅲ その他

- 1 技能競技及びそれに付随する大会行事参加中にケガを負った場合又は疾病等に罹った場合において、主催者が速やかに応急の処置を行うこと。
- 2 第40回全国大会開催時の事故等（技能競技会場内における事故等）及び主催者が手配して運行する選手団送迎バス乗車中の事故等（いずれも選手団の責めに帰す場合を除く。）については、主催者が付保する傷害保険の範囲内で補償すること。なお、各都道府県選手団が、同大会参加のため各地から大会開催地まで旅行する行程中及び帰郷のため大会開催地から各地まで旅行する行程中の事故等については、主催者及び都道府県選手団引率者による補償の対象とならないこと。
- 3 大会会場に持ち込む所有物（私物）に関しては、責任を持って自己管理し、事故・過失による損壊・紛失等においては、主催者を免責すること。
- 4 第40回全国大会期間中において、主催者及び主催者が認めた者から示された方針及び決定事項に従うこと。

令和 年 月 日

本人署名又は記名押印： _____ 印

15 各種委員会委員名簿

【競技委員会】

(令和2年2月3日現在)

役 職	氏 名	所 属
委 員 長	森 川 善 樹	独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 理事
副 委 員 長	相 本 浩 志	厚生労働省人材開発統括官付 参事官（人材開発政策担当）
委 員	八 木 健 一	中央職業能力開発協会 技能振興部長
	森 浩 一	国立障害者リハビリテーションセンター 自立支援局長
	松 崎 伸 一	全国手をつなぐ育成会連合会 運営委員
	小 幡 恭 弘	公益社団法人全国精神保健福祉会連合会 事務局長
	飯 塚 善 明	社会福祉法人日本身体障害者団体連合会 常務理事
	有 村 秀 一	トヨタグループ株式会社 取締役社長
	丸 物 正 直	公益社団法人全国重度障害者事業所協会 専務理事
	大 寄 みどり	愛知県労働局産業人材育成課 技能五輪・アビリンピック推進室長

【授賞選考委員会】

(令和2年11月14日現在)

役 職	氏 名	所 属
委 員 長	和 田 慶 宏	第40回全国障害者技能競技大会会長 (独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構理事長)
副 委 員 長	森 川 善 樹	第40回全国障害者技能競技大会競技委員長 (独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構理事)
委 員	篠 崎 拓 也	厚生労働省 人材開発統括官付人材開発政策担当参事官
	鶴 谷 陽 子	独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 雇用開発推進部長

16 技能競技種目別専門委員等名簿

【技能競技種目別専門委員等名簿】

種 目 名	大 会 役 員	氏 名	所属団体・企業名
洋 裁	専門委員主査	佐 藤 富 子	公益社団法人全日本洋裁技能協会
	専 門 委 員	落 合 貴美子	公益社団法人全日本洋裁技能協会
家 具	専門委員主査	小 山 真 子	東京都立城南職業能力開発センター
	専 門 委 員	山 口 貞 雄	大蔵木材工芸株式会社
	専 門 委 員	藤 野 栄 一	職業能力開発総合大学校
	専 門 委 員	小笠原 和 彦	
	技能競技補佐員	大久保 真 哉	鹿児島障害者職業能力開発校
D T P	専門委員主査	千知岩 浩 一	国立吉備高原職業リハビリテーションセンター
	専 門 委 員	大 野 将 央	愛知県立名古屋聾学校
	専 門 委 員	中 原 夏 樹	瞬報社オフリン印刷株式会社
機 械 C A D	専門委員主査	池 田 知 純	職業能力開発総合大学校
	専 門 委 員	前 島 和 雄	愛知障害者職業能力開発校
	専 門 委 員	笹 原 康 介	職業能力開発総合大学校
	技能競技補佐員	沼 尾 昇 宗	愛知県立名古屋高等技術専門校
	技能競技補佐員	増 井 丈 了	職業能力開発総合大学校
建 築 C A D	専門委員主査	和 田 浩 一	職業能力開発総合大学校
	専 門 委 員	濱 田 恵 三	沖縄職業能力開発大学校
	専 門 委 員	安孫子 文 亮	有限会社安孫子設計事務所
	専 門 委 員	井 原 佳 世	株式会社アイブラフ
電 子 機 器 組 立	専門委員主査	櫻 井 光 広	職業能力開発総合大学校
	専 門 委 員	三 村 勝 人	長野県職業能力開発協会
	専 門 委 員	高 梨 雅 之	NECネットワーク・センサ株式会社
	専 門 委 員	藤 田 紀 勝	職業能力開発総合大学校
	専 門 委 員	高 橋 毅	職業能力開発総合大学校
	専 門 委 員	天 野 正 知	株式会社デンソー
	技能競技補佐員	駒 路 建	千葉職業能力開発促進センター 高度訓練センター
	技能競技補佐員	葛 島 伸 亮	愛知障害者職業能力開発校
義 肢	専門委員主査	水 澤 二 郎	一般財団法人啓成会
	専 門 委 員	笹 川 友 彦	医療法人弘仁会熊本総合医療リハビリテーション学院

種 目 名	大 会 役 員	氏 名	所属団体・企業名
義 肢	専 門 委 員	中 川 三 吉	学校法人珪山学園 専門学校日本聴能言語福祉学院
歯 科 技 工	専門委員主査	中 坂 聖	筑波大学附属聴覚特別支援学校
	専 門 委 員	続 橋 正 喜	公益社団法人栃木県歯科技工士会
	専 門 委 員	小 藤 基 晴	一般社団法人愛知県歯科技工士会
	技能競技補佐員	清 水 一 成	公益社団法人栃木県歯科技工士会
	技能競技補佐員	今 瀬 大 輔	一般社団法人愛知県歯科技工士会
ワ ー ド ・ プ ロ セ ッ サ	専門委員主査	長 沼 智 美	
	専 門 委 員	三 甘 裕 子	
	専 門 委 員	望 月 晴 仁	愛知障害者職業能力開発校
	技能競技補佐員	石 田 有美子	
	技能競技補佐員	小 武 民 子	
	技能競技補佐員	三 田 誠 子	
	技能競技補佐員	堀 真 弓	
	技能競技補佐員	日 花 弘 子	
	技能競技補佐員	細 野 明日香	
デ ー タ ベ ー ス	専門委員主査	森 田 良 一	バリエントソフト株式会社
	専 門 委 員	木 戸 能 史	学校法人育英学院
ホ ー ム ペ ー ジ	専門委員主査	加 藤 貴 一	ソシオークホールディングス株式会社
	専 門 委 員	大 鐘 俊 也	テクノツール株式会社
	専 門 委 員	木 村 誠	富士ソフト企画株式会社
フ ラ ワ ー ア レ ン ジ メ ン ト	専門委員主査	立 川 瞳	フラワー装飾技能検定中央協議会
	専 門 委 員	小 山 光 子	フラワー装飾技能検定中央協議会
	専 門 委 員	若 松 静 子	フラワー装飾技能検定神奈川県協議会
	技能競技補佐員	勝 田 恵	フラワー装飾愛知県協議会
	技能競技補佐員	福 尾 智 美	フラワー装飾愛知県協議会
	技能競技補佐員	白 木 潤 子	フラワー装飾愛知県協議会
	技能競技補佐員	片 桐 由美子	フラワー装飾愛知県協議会
	技能競技補佐員	石 川 裕 子	フラワー装飾技能検定中央協議会
コ ン ピ ュ ー タ プ ロ グ ラ ミ ン グ	専門委員主査	水 野 直 樹	国立大学法人名古屋工業大学
	専 門 委 員	清 水 悦 郎	国立大学法人東京海洋大学
	専 門 委 員	毛 利 哲 也	国立大学法人岐阜大学

種 目 名	大 会 役 員	氏 名	所属団体・企業名
コンピュータ プログラミング	専 門 委 員	尾 関 智 恵	学校法人電波学園 愛知工科大学
	技能競技補佐員	小 出 達 也	名古屋工業大学
	技能競技補佐員	箱 崎 勝 也	東京海洋大学大学院
	技能競技補佐員	与謝野 滉	岐阜大学
	技能競技補佐員	神 谷 京士朗	愛知工科大学
ビルクリーニング	専 門 委 員 主 査	北 山 克 己	興和不動産ファシリティーズ株式会社
	専 門 委 員	森 貞 文	公益社団法人京都ビルメンテナンス協会
	専 門 委 員	熊 澤 桂 一	株式会社湘南美装
	技能競技補佐員	山 本 領 矢	株式会社オーエルサービス
	技能競技補佐員	山野井 大 介	株式会社伸栄
	技能競技補佐員	高 瀬 幹 雄	株式会社港都
	技能競技補佐員	細 渕 光 陽	株式会社光陽産業
	技能競技補佐員	櫻 井 恵 子	さくら企画
	技能競技補佐員	小 俣 正	公益社団法人東京ビルメンテナンス協会
	技能競技補佐員	今 関 陽 一	柏ビル管理株式会社
	技能競技補佐員	佐 田 仁	三共サービス株式会社
	技能競技補佐員	井 上 洋	株式会社カンメン
	技能競技補佐員	浅 野 雅 博	株式会社美津和商会
	技能競技補佐員	田 中 良 明	株式会社ティー・エス・ケー
製品パッキング	専 門 委 員 主 査	鈴 木 陽 一	株式会社丸定
	専 門 委 員	鈴 木 信 浩	株式会社丸定
	専 門 委 員	川 出 厚	ヘイコーバック株式会社
	技能競技補佐員	谷 口 直 子	株式会社丸定
喫茶サービス	専 門 委 員 主 査	小 松 邦 明	たかはま障がい者支援センター
	専 門 委 員	兼 松 忠 雄	全国喫茶コーナー交流会
	専 門 委 員	杉 野 聖 子	全国喫茶コーナー交流会
	専 門 委 員	古 賀 久 登	ウェルネスリゾート沖縄休暇センターユイinchホテル南城
	専 門 委 員	井 上 亘	愛知県立三好特別支援学校
	専 門 委 員	齊 藤 朋 実	第一生命チャレンジド株式会社
	技能競技補佐員	高 木 真一郎	全国喫茶コーナー交流会
	技能競技補佐員	矢 野 善 教	学校法人船田教育会 作新学院大学女子短期大学部

種 目 名	大 会 役 員	氏 名	所属団体・企業名
喫 茶 サ ー ビ ス	技能競技補佐員	岡 本 真 奈	社会福祉法人筑峯学園
	技能競技補佐員	永 井 秀 一	全国喫茶コーナー交流会
	技能競技補佐員	藤 岡 佳 奈	全国喫茶コーナー交流会
	技能競技補佐員	鈴 木 奏 海	全国喫茶コーナー交流会
	技能競技補佐員	大 野 里 穂	全国喫茶コーナー交流会
オ フ ィ ス ア シ ス タ ン ト	専門委員主査	成 田 賢 司	埼玉職業能力開発促進センター
	専 門 委 員	山 下 享 子	東京海上ビジネスサポート株式会社
	専 門 委 員	辻 庸 介	大東コーポレートサービス株式会社
	専 門 委 員	有 田 美知郎	トヨタグループ株式会社
	技能競技補佐員	木 村 仁 美	東京海上ビジネスサポート株式会社
	技能競技補佐員	長谷川 綾 乃	東京海上ビジネスサポート株式会社
	技能競技補佐員	柳 田 則 子	東京海上ビジネスサポート株式会社
表 計 算	専門委員主査	佐 藤 京 子	
	専 門 委 員	柳 澤 真 哉	福岡敏郎税理士事務所
	専 門 委 員	山 田 崇 倫	中部職業能力開発促進センター
	専 門 委 員	佐 藤 嘉代子	富士電機 I T ソリューション株式会社
	専 門 委 員	矢 口 博 道	近畿職業能力開発大学校
	専 門 委 員	成 瀬 陽 一	中部職業能力開発促進センター
ネ イ ル 施 術	専門委員主査	木 村 安気子	特定非営利活動法人インターナショナルネイルアソシエーション
	専 門 委 員	大 江 身 奈	特定非営利活動法人インターナショナルネイルアソシエーション
	専 門 委 員	津 島 珠 美	特定非営利活動法人インターナショナルネイルアソシエーション
	技能競技補佐員	小 林 洋 美	特定非営利活動法人インターナショナルネイルアソシエーション
写 真 撮 影	専門委員主査	村 上 光 明	公益社団法人 日本写真家協会
	専 門 委 員	山 口 一 彦	公益社団法人 日本写真家協会
パ ソ コ ン 組 立	専門委員主査	相 良 佳 孝	国立職業リハビリテーションセンター
	専 門 委 員	花 山 康 雄	サレジオ工業高等専門学校
	技能競技補佐員	三田地 健二郎	国立職業リハビリテーションセンター
パ ソ コ ン 操 作	専門委員主査	石 川 充 英	東京都視覚障害者生活支援センター
	専 門 委 員	高 西 透 江	特定非営利活動法人視覚障害者パソコンアシストネットワーク
	専 門 委 員	福 永 克 己	国立大学法人筑波技術大学
	専 門 委 員	西 田 朋 己	株式会社沖ワークウェル

種 目 名	大 会 役 員	氏 名	所属団体・企業名
パソコン操作	技能競技補佐員	高 瀬 和 子	神奈川県視覚障害援助赤十字奉仕団
	技能競技補佐員	守 屋 美 和	東京ジョブコーチ
	技能競技補佐員	山 崎 智 章	東京視覚障害者生活支援センター
	技能競技補佐員	小 林 一 哉	東京視覚障害者生活支援センター
パソコンデータ入力	専門委員主査	落 合 昇	茨城県立産業技術短期大学校
	専門委員	箕 輪 優 子	横河電機株式会社
	専門委員	向 後 礼 子	近畿大学
	専門委員	神 崎 剛 志	国立職業リハビリテーションセンター
	専門委員	藤 森 雅 之	中部職業能力開発促進センター
縫 製	専門委員主査	野 中 恭 子	愛知県職業能力開発協会
	専門委員	鈴 木 皆 子	茨城県洋裁技能士会
	専門委員	平 山 悦 子	公益社団法人全日本洋裁技能協会 岡山支部
	技能競技補佐員	遠 藤 順 子	洋裁教室アトリエ JaNkeN
木 工	専門委員主査	小 林 正 道	
	専門委員	間 宮 謙 治	木工クラフト工房 遊樹
	専門委員	手 登 根 光	手登根木工所
	技能競技補佐員	吉 原 常 雄	吉原製作所

17 技能競技実施機器等協賛企業等

企 業 ・ 団 体 等 名 称	対 象 技 能 競 技 種 目 等	協 賛 ・ 協 力 内 容
アドビ株式会社	D T P	競技用ソフト（Photoshop、Illustrator、Acrobat）の提供
	機 械 C A D	競技用ソフト（Acrobat）の提供
	建 築 C A D	競技用ソフト（Acrobat）の提供
	ホ ー ム ペ ー ジ	競技用ソフト（Photoshop、Illustrator、Dreamweaver）の提供
	写 真 撮 影	競技用ソフト（Photoshop）の提供
有限会社エクストラ	パ ソ コ ン 操 作	競技用ソフト（ZoomText）の提供
オートデスクATC事務局（株式会社マルハン）	機 械 C A D	競技用ソフト（Inventor2020）の提供
	建 築 C A D	競技用ソフト（AutoCAD2018）の提供
キヤノンマーケティングジャパン株式会社	写 真 撮 影	競技用機器（カメラ、プリンター）の提供
公益社団法人京都ビルメンテナンス協会	ビ ル ク リ ー ニ ン グ	競技用機器の提供
一般財団法人啓成会	義 肢	競技用機器（カービングマシン）の提供、 競技用部材の調達
株式会社高知システム開発	パ ソ コ ン 操 作	競技用ソフト（PC-Talker neo plus）の提供
興和不動産ファシリティーズ株式会社名古屋支店	ビ ル ク リ ー ニ ン グ	競技用機器の提供
株式会社ジーシー	歯 科 技 工	競技用機器（光重合器）の提供、 競技用機器の提供（歯型モデル）
株式会社システムギアビジョン	パ ソ コ ン 操 作	競技用機器（拡大読書機）の提供
J U K I 販売株式会社	洋 裁	競技用ミシンの提供、保守
	縫 製	競技用ミシンの提供、保守
	義 肢	競技用ミシンの提供、保守
株式会社松風	歯 科 技 工	競技用機器の提供（歯型モデル）
株式会社スカイフィッシュ	パ ソ コ ン 操 作	競技用ソフト（Focus Talk）の提供
西武学園医学技術専門学校	義 肢	競技用機器（真空ポンプ）の提供
公益社団法人全日本洋裁技能協会	洋 裁	競技用部材の調達
ソリッドワークス・ジャパン株式会社	機 械 C A D	競技用ソフト（SOLIDWORKS2019-2020）の提供
ダイナコムウェア株式会社	D T P	競技用フォントの提供
株式会社デンソーウェーブ	コンピュータプログラミング	競技用機材（ロボット）、 競技用ソフト（ORiN2 SDK、VRC、WINCAPSⅢ）の提供

企 業 ・ 団 体 等 名 称	対 象 技 能 競 技 種 目 等	協 賛 ・ 協 力 内 容
国立大学法人名古屋工業大学	コンピュータプログラミング	競技用機器（3D ペン）の提供
愛知県立名古屋高等技術専門学校	家 具	競技用機器の提供（ボール盤）
	木 工	競技用機器の提供（ボール盤）
日本パーソネルセンター株式会社	喫 茶 サ ー ビ ス	競技用機材の提供
株式会社丸定	製 品 パ ッ キ ン グ	競技用部材の調達
UCCコーヒープロフェッショナル株式会社名古屋支店	喫 茶 サ ー ビ ス	競技用部材の調達

Ⅱ 全国障害者技能競技大会統計資料

1 全国障害者技能競技大会の沿革

全国障害者技能競技大会（以下「大会」という。）は、昭和47年11月に、当時の社団法人障害者雇用促進協会（現在の独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構）が、「全国障害者技能競技大会」の名称で、当時の雇用促進事業団中央技能開発センター（現在の独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 ポリテクセンター千葉）において第1回大会を開催した。

その後、昭和51年の身体障害者雇用促進法（昭和62年の法改正により「障害者の雇用の促進等に関する法律」と名称を改めた。以下「法」という。）の改正に伴い、新たに発足した身体障害者雇用促進協会（昭和63年の法改正に伴い、「日本障害者雇用促進協会」に改組。いずれも現在の独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構）の事業として明記されるとともに、その名称が「全国身体障害者技能競技大会」と変更（第6回大会）された。

さらに、平成9年の法改正により知的障害者が雇用義務化されたことに伴い、大会においても知的障害者が参加できることとし、名称を「全国障害者技能競技大会」と改めた。

そして、平成18年の法改正により大会が法に明記されるとともに精神障害者が障害者実雇用率の算定対象になったことに伴い、大会においても精神障害者が参加出来ることとした。

開催地については、昭和47年の第1回大会から平成13年の第25回大会までは千葉県で開催してきたが、第26回大会以降は原則として技能五輪全国大会と同時期に開催し、また全国の事業主や市民一般の方々に、障害者の職業能力についての理解と関心を深めていただき、より一層の障害者の雇用の促進を図るために、熊本県、宮城県、山口県、香川県、千葉県、茨城県、神奈川県、長野県、千葉県、愛知県、山形県、栃木県、沖縄県、愛知県と地方都市で開催し、第40回大会となる今回は、愛知県で2年連続3回目の開催となった。

大会は、第1回大会から第9回大会までは毎年度開催されてきたが、昭和56年に日本（東京）で第1回国際アビリンピックが開催されて以降、原則として国際アビリンピックが開催される年度を除き、開催することとなった。

なお、これまでの国際アビリンピックは、昭和56年に第1回大会が日本（東京）で、昭和60年に第2回大会がコロンビア（ボゴタ）で、平成3年に第3回大会が香港で、平成8年に第4回大会がオーストラリア（パース）で、平成12年に第5回大会がチェコ（プラハ）で、平成14年に第6回大会がインド（ニューデリー）でそれぞれ開催された。第7回大会は「2007年ユニバーサル技能五輪国際大会」として、平成19年に日本（静岡）において史上初めて技能五輪国際大会と同時開催された。第8回大会は平成23年に韓国（ソウル）で開催され、第9回大会は平成28年にフランス（ボルドー）で開催された。

2 全国障害者技能競技大会実施要綱の変遷

(1) 大会の名称

- 第1回～第5回大会……………全国障害者技能競技大会
第6回～第21回大会……………全国身体障害者技能競技大会
第22回～……………全国障害者技能競技大会

(2) 参加資格

①参加対象障害者

ア 職業技能競技

- 第1回大会……………障害者手帳所持者及び知的障害者福祉法の対象者。
第2回大会～第5回大会……………身体障害者手帳所持者で等級1～5級の者。
第6回大会～第13回大会……………身体障害者手帳所持者で技能検定2級程度の能力を有する者。
第14回大会～第15回大会……………身体障害者手帳所持者で一部職種について2級の技能検定受験資格に該当している者、それ以外の職種は現在就労中の者。
第16回大会～第23回大会……………身体障害者手帳所持者。
第24回大会～第28回大会……………競技種目により身体障害者手帳保持者又は知的障害者。
第29回大会……………身体障害者手帳所持者、知的障害者及び精神障害者。
第30回大会～……………身体障害者、知的障害者及び精神障害者。

イ 生活・余暇技能競技

- 第22回大会……………障害者1名及び健常者1名を1組単位。身体障害者は身体障害者手帳所持者。知的障害者は障害者の雇用促進に関する法律第2条第4号に定める者。
第23回大会～第25回大会……………障害者1名ないし2名及び健常者1名を1組単位。
第29回大会……………障害者1名ないし2名を1組単位。

ウ 技能デモンストレーション

- 第30回大会～……………身体障害者、知的障害者及び精神障害者。

②職歴、年齢等の制限

- 第1回大会……………2年以上7年以内の職歴をもつ者。30歳以下の者。
第2回大会……………競技職種に係わる訓練及び職歴の合計が7年を超えない者。満30歳未満の者。
第3回大会～第4回大会……………競技職種に係わる訓練及び職歴の合計が10年を超えない者。満35歳未満の者。
第5回大会～第12回大会……………競技職種に係わる訓練及び職歴の合計が15年を超えない者。満40歳未満の者。
第13回大会～第14回大会……………職歴等制限なし。満40歳未満の者。
第15回大会……………職歴等制限なし。15歳以上40歳未満の者。
第16回大会～……………職歴等制限なし。15歳以上の者。

③金賞受賞歴による制限

- 第2回大会～第37回大会……………その前回の大会までに同一種目で金賞を受賞していない者。
第38回大会～……………参加を希望する技能競技種目において、直近5回の全国大会で金賞を受賞した者でない者。

④参加歴による制限

- 第30回大会～ ……直近3回の全国大会において、参加を希望する技能競技種目に3大会連続して参加した者でない者。
- 第40回大会～ ……DTP、電子機器組立、ワードプロセッサ、データベース、ホームページ、フラワーアレンジメント、ビルクリーニング、製品パッキング、喫茶サービス、オフィスアシスタント、表計算、ネイル施術、パソコン操作、パソコンデータ入力、縫製、木工については、直近3回の全国大会において、3大会連続して参加した者でない者。

⑤国際アビリンピックにおける受賞歴による制限

- 第30回大会～第32回大会 ……参加を希望する技能競技種目において、第7回国際アビリンピックで金賞、銀賞又は銅賞を受賞した者でない者。
- 第33回大会～第35回大会 ……参加を希望する技能競技種目において、第7回国際アビリンピック及び第8回国際アビリンピックで金賞、銀賞又は銅賞を受賞した者でない者。
- 第36回大会～第37回大会 ……参加を希望する技能競技種目において、第8回国際アビリンピック及び第9回国際アビリンピックで金賞、銀賞又は銅賞を受賞した者でない者。

(3) 推薦要件

①推薦人数の制限

- 第2回大会～第21回大会 ……原則として各競技種目につき都道府県ごとに1名以内。
- 第22回大会～第24回大会 ……日本語ワードプロセッサ(一般部門)及びパーソナルコンピューター(表計算部門)のみ、都道府県ごとに1名以内。
- 第25回大会～第26回大会 ……ワードプロセッサ(一般部門)及び表計算のみ、都道府県ごとに1名以内。
- 第27回大会～ ……原則として各競技種目につき都道府県ごとに1名以内。
- 第40回大会～ ……原則として各競技種目につき都道府県ごとに1名以内。
- なお、大会を主催する都道府県知事が推薦できる選手の人数は、1技能競技種目につき2名とする。ただし、洋裁、家具、機械CAD、建築CAD、義肢、歯科技工、コンピュータプログラミング、写真撮影、パソコン組立については、3名を上限として複数名の選手の推薦が可能。

②都道府県における障害者の技能競技大会(以下「地方アビリンピック」という。)との関係

- 第27回大会～第28回大会 ……洋裁、DTP、機械CAD、建築CAD、電子機器組立、電子回路接続、パソコン操作、ワードプロセッサ、データベース、ホームページ、縫製、木工及び喫茶サービスの競技種目については、地方アビリンピックの優秀者。
- 第29回大会 ……洋裁、DTP、機械CAD、建築CAD、電子機器組立、パソコン操作、ワードプロセッサ、データベース、ホームページ、縫製、木工、喫茶サービス及びパソコンデータ入力の競技種目については、地方アビリンピックの優秀者。
- 第30回大会～ ……地方アビリンピックにおいて実施されている種目については、当該地方アビリンピックでの金賞受賞者(金賞受賞者に準ずる者を含む)。

③参加決定選手の取り消し

第34回大会～ ……大会会長は、大会開始前に都道府県知事から参加選手決定の取消しの申し出があった場合は、決定を取り消すことができる。

(4) その他

第27回大会～ ……「実施要領」を「実施要綱」に改めた。

第34回大会～ ……同意書の「親権者又は保護者名」を「親権者又は代理人名」に改めた。

3 技能競技種目別参加選手数の状況

No.	回数・年度・開催地 技能競技種目等	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	11回	12回	13回	14回	15回	16回	17回	18回
		1972 (S47)	1973 (S48)	1974 (S49)	1975 (S50)	1976 (S51)	1977 (S52)	1978 (S53)	1979 (S54)	1980 (S55)	1982 (S57)	1983 (S58)	1984 (S59)	1986 (S61)	1987 (S62)	1988 (S63)	1989 (H1)	1990 (H2)	1992 (H4)
		千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県
1	旋盤	7	4	7	3	5	4	8	8	11	7	5	5	6	6	6	5	7	5
2	洋裁	20	25	29	29	29	32	33	34	38	23	19	15	13	12	7	10	14	10
3	洋服	16	18	19	21	22	15	17	22	20	15	10	9	3	3	1	4	2	4
4	和裁		20	21	24	27	27	29	41	38	23	25	22	16	17	16	14	13	16
5	家具	11	13	12	9	13	13	13	10	13	9	7	8	7	4	9	7	4	6
6	D T P																		
7	機械製図	9	7	6	3	5	5	5	6	5	4	6	4	7	7	6	3	8	6
8	機械C A D																		
9	建築C A D																		
10	電子機器組立	1												4	6	10	8	9	13
11	電子回路接続																4	4	4
12	パソコン操作（視覚）																		
13	電話対応（視覚）	9	9		3	7	8	11	4	10	6	6	5	6	4	4	4	3	4
14	義肢											8	9	3	3				
15	歯科技工																		
16	ワード・プロセッサ（一般部門）										2	6	8	15	21	24	23	27	30
17	（視覚）																4	5	5
18	パソコン（BASIC）										7	8	9	10	15	10	12	8	14
19	（表計算）																8	5	12
20	（データベース）																		
21	（ホームページ）																		
22	（パソコン入力）（知的）																		
23	コンピュータプログラミング																		
24	パソコン組立																		
25	精密板金																		
26	縫製（知的）																		
27	木工（知的）																		
28	喫茶サービス（知的）																		
28	喫茶サービス																		
29	紙製品再利用（知的）																		
30	N C 旋盤																		
31	写真植字			11	14	18	18	17	23	30	23	22	21	19	18	16	18	19	11
32	電算写植																		
33	建具	3	8	9	5	9	10	6	5	6	6	3	6	4	2	4	2	2	2
34	広告美術	8	3	8	9	6	8	4	8	16	4	6	4	2	2	3	4	4	3
35	版下製作												5	2	1	3	2	3	
36	貴金属装身具																2	4	4
37	和文タイプ		9	11	14	14	14	23	18	21	18	20	18	16	14	5	4	4	
38	テレビ・ラジオ修理	14	10	8	7	5	1	3	3	9	4	5	4	2		2			
39	カナタイプ		9	5	9	7	7	7	10	7	6	7	5	5	5	4			
40	時計修理	18	15	18	13	13	12	12	15	16	5	4							
41	建設製図	5	4	4	4	4	5	5	5	6	1								
42	塗装（木工）	3	4	4	3	2	2	4	4	2									
43	（金属）										2								
44	フライス盤							2	2	2									
45	英文タイプ									4									
46	毛糸織物									8									
47	活版文選	6	3																
48	電気溶接	3																	
49	写真撮影																		
50	フラワーアレンジメント																		
51	籠製作																		
52	木彫																		
53	機械組立																		
54	ポスターデザイン																		
55	絵画																		
56	陶磁器																		
57	編物																		
58	刺繍																		
59	ビルクリーニング																		
60	製品パッキング																		
61	オフィスアシスタント																		
62	ネイル施術																		
競技種目数合計		15	16	15	16	16	16	17	17	19	18	17	17	18	17	17	19	19	17
参加選手数合計		133	161	172	170	186	181	199	218	262	165	167	157	140	140	130	138	145	149

19回 (H5)	20回 (H6)	21回 (H8)	22回 (H9)	23回 (H10)	24回 (H11)	25回 (H13)	26回 (H14)	27回 (H16)	28回 (H17)	29回 (H18)	30回 (H20)	31回 (H21)	32回 (H22)	33回 (H24)	34回 (H25)	35回 (H26)	36回 (H28)	37回 (H29)	38回 (H30)	39回 (R1)	40回 (R2)	合計
千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	熊本県	宮城県	山口県	香川県	千葉県	茨城県	神奈川県	長野県	千葉県	愛知県	山形県	栃木県	沖縄県	愛知県	愛知県	
6	7	5	6	3	3	5	4															148
10	13	12	7	9	7	4	7	6	6	5	4	3	5	3	2	4	9	5	4	4	5	526
2	5	4	4			3	4	5	3	3												254
14	11	8	7	4	5	4	4															446
4	5	3	6	4	5	4	6	5	4	5	3	2	3	3	3	3	3	5	4	4	4	256
				9	8	12	12	15	10	11	15	14	18	16	21	15	20	19	18	18	15	266
8	7	4	4	5	3	3																136
		4	6	6	6	8	8	9	11	11	9	10	11	13	4	10	9	7	5	5	6	158
							8	9	8	5	6	6	4	3	4	3	5	3	5	3	7	79
14	15	11	15	12	11	7	10	12	12	12	8	10	8	10	10	9	10	9	11	12	8	287
4	6	6	7	8	6	6	5	3	4	3	4	3	3	2	2	2						86
							5	13	14	16	13	13	9	13	7	12	10	11	11	11	6	164
2	5	2	3		4	1																120
			6	5	5	2	6	5	4	3	3	3	2	2	2	3	3	3	3	2	3	88
				13	17	15	15	16	16	11	12	9	6	8	8	5	3	4	7	3	3	171
26	28	26	26	26	27	25	28	41	40	41	40	45	42	42	42	37	41	38	42	43	29	931
7	8	4	6	6	7	6	7															65
7	12	13																				125
12	11	21	20	23	20	21	27								16	16	24	30	31	31	24	352
					4	10	27	30	33	24	28	23	26	15	12	15	12	9	9	8		285
			13	15	9	10	12	13	14	19	12	16	15	18	16	16	11	9	13	9	9	249
									16	17	18	21	27	25	29	30	33	33	30	33	21	333
								3	3	5	3	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	39
								6	9	7	4	7	5	4	4	3					2	51
								4	3	3												10
					10	15	12	15	18	16	15	15	13	15	13	13	16	16	17	16	9	244
					8	5	8	5	9	9	10	10	8	7	9	9	10	11	13	11	11	153
							10	17	25	31	35	35	36									189
														36	38	42	42	40	44	43	33	318
			12	14	5	9																40
			3	2																		5
6	9	3																				316
		4	2																			6
2	1																					95
	1																					103
	3																					19
3	5									2												20
																						223
																						77
																						93
																						141
																						43
																						28
																						2
																						6
																						4
																						8
																						9
																						3
								4	5												6	15
								7	8	5	5	4	3	7	6	8	7	7	6	5		78
									3													3
									6													6
									2													2
									3													3
									6													6
									5													5
									5													5
									2													2
											10	19	31	36	39	45	45	47	46	35		353
												4	9	11	17	19	23	22	24	20		149
													11	17	24	31	32	36	40	28		219
																			6	2		8
16	18	16	18	17	19	21	21	20	23	32	20	21	22	23	24	24	22	22	23	25	—	
127	152	130	153	164	166	169	208	229	270	313	243	267	267	302	318	332	370	365	382	382	302	8,624

4 都道府県別参加選手数の状況

No.	回数・年度・開催地 都道府県	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	11回	12回	13回	14回	15回	16回	17回	18回
		1972 (S47)	1973 (S48)	1974 (S49)	1975 (S50)	1976 (S51)	1977 (S52)	1978 (S53)	1979 (S54)	1980 (S55)	1982 (S57)	1983 (S58)	1984 (S59)	1986 (S61)	1987 (S62)	1988 (S63)	1989 (H1)	1990 (H2)	1992 (H4)
		千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県
1	北海道	11	9	9	10	14	7	9	10	14	6	8	7	6	6	5	5	5	3
2	青森			4	4	3	3	2	4	3	2	3	2	2	2	1	2	1	
3	岩手	1	1	3	4	5	4	5	4	5	4	4	2	4	2	3	2	4	1
4	宮城	7	4	5	3	5	5	1	3	5	2	1	1		1	1	1	2	2
5	秋田			2	2	1	1	1	2	4	1	2	2	1	4	7	4	4	1
6	山形	7	3	3	4	1	3	2	3	4	2	1	2		1	2	1		1
7	福島	4	6	3	2	1	3	2	4	2	2	2	1	1	1	2	1	1	1
8	茨城	1	7	6	6	4	5	5	8	8	4	2	3	3	3	3	5	5	7
9	栃木	2	5	2	4	2	3	1	1	1	4	2			2		1	1	1
10	群馬		2	5	3	2	1	4	4	2	3	1	2	2			2	2	2
11	埼玉	3	1		1	1	4	10	10	6	12	11	10	8	13	12	16	13	15
12	千葉	6	1	2	4	3	3	5	6	5	3	4	5	4	4	3	2	2	4
13	東京	10	10	11	10	16	13	11	9	9	4	3	4	3	7	8	10	7	11
14	神奈川	3	4	1	7	5	3	5	3	8	6	7	6	6	3	4	8	4	6
15	新潟	2	2	4	2	6	5	4	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	
16	富山	3	5	4	2	3	3	2	3	3	3	4	3	3	2	2	2	2	
17	石川		3	5	3	4	1	2	1	3	1	1	1	3	2	1	1	2	2
18	福井			1	1	1	2	1			1	5	4	3	1		1	1	1
19	山梨	5	8	6	6	6	7	7	7	7	4	2	2	5	2	2	1	7	5
20	長野	2	4	3	4	6	7	7	13	15	6	4	4	2	3	3	3	3	3
21	岐阜	2	2	1	2	4	6	6	5	2					2	1		1	
22	静岡	8	6	9	11	8	10	7	5	6	2	2		1	1	2	2	1	1
23	愛知	4	6	8	3	4	4	9	11	13	9	11	13	11	9	8	6	6	7
24	三重	1	4	3	1	3	3	1	1	2		1		1		1			
25	滋賀	3	3	5	1	1	1	1	1	1	2	2	1	2	1	1		2	1
26	京都		1		3		1	2	2	5	3	2	1	2	1		1	2	1
27	大阪	10	10	9	12	10	10	11	15	18	12	8	9	7	8	7	7	7	8
28	兵庫	2	6	6	6	11	7	13	13	16	9	8	10	10	10	7	4	7	7
29	奈良	1	1		1				3	5	1	2	2	2	1	3	4	5	6
30	和歌山		2				1	3	1	4	2	2	2			1	1	1	2
31	鳥取	1		6				2	1	2	2	1	3	3	5	4	2	2	1
32	島根	6	6		6	5	5	5	5	6	4	4	3	2	4	1	1	2	3
33	岡山	3	3	5	3	2	3	3	5	4	4	5	1	1	2	2	4	4	4
34	広島	6	9	7	5	8	8	8	7	9	5	7	5	5	3	3	3	3	7
35	山口	2		3	4	7	3	5	5	5	6	5	1	4	4	3	4	5	3
36	徳島		1		1	1	1	1	1	2		2	1	1	1	1	1	1	1
37	香川			2	1	3	1	2	4	4	2	3	1	1	1	1	1	1	1
38	愛媛	2	3	3	2	2	2	4	2	2		2	1	1	1	1	1	1	
39	高知	2	2	2	2		1			3	5	3	4	3	2	1	2	2	3
40	福岡	4	4	4	6	4	4	1	10	8	6	7	7	6	9	5	5	4	5
41	佐賀	1	1	3	3	8	6	7	4	5	3	3	3	2	2	3	3	2	1
42	長崎	1	1	3	4	5	3	4	5	5	4	4	6	7	2	2	4	4	7
43	熊本	3	8	8	4	3	5	6	4	12	4	3	4	3	3	3	3	3	3
44	大分	1	2	2	3	2	3	2	4	3	1	1	2	1	1		3	3	3
45	宮崎		1		1	2	4	6	3	7	5	5	6	3	3	3	2	3	4
46	鹿児島	3	3	4	3	1	4	3	4	4	2	4	5	3	3	4	4	4	3
47	沖縄		1			3	2	1	1	3	1	2	4	1	1	2	1	2	1
参加選手数合計		133	161	172	170	186	181	199	218	262	165	167	157	140	140	130	138	145	149

19回 (H5)	20回 (H6)	21回 (H8)	22回 (H9)	23回 (H10)	24回 (H11)	25回 (H13)	26回 (H14)	27回 (H16)	28回 (H17)	29回 (H18)	30回 (H20)	31回 (H21)	32回 (H22)	33回 (H24)	34回 (H25)	35回 (H26)	36回 (H28)	37回 (H29)	38回 (H30)	39回 (R1)	40回 (R2)	合計
千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	熊本県	宮城県	山口県	香川県	千葉県	茨城県	神奈川県	長野県	千葉県	愛知県	山形県	栃木県	沖縄県	愛知県	愛知県	
2	3		6	8	7	7	4	5	3	2	4	1	1	4	5	6	6	6	5	7	10	246
	1	2	1	3	3	3	6	5	4	4	3	4	4	6	7	8	9	6	8	8	3	136
1	3	1	1	1	4	5	9	5	5	5	6	5	5	5	5	5	7	8	9	8	6	167
2	3	5	5	6	7	6	6	30	15	13	8	4	5	5	5	5	7	7	7	8	7	215
1	2		1	2	2	1	2	3	2	2	2	2	4	6	5	4	6	6	6	6		104
1	1	1	1	2	2	1	3	3	2	3	3	3	4	4	4	9	23	11	10	10	9	150
1	2	1	2				1	4	4	4	3	5	3	2	3	3	6	5	5	5	4	102
6	6	5	4	6	6	5	5	6	8	13	14	24	11	7	8	10	9	6	11	9	6	270
1	3	1	1	1	1	2	3	2	1	1	2	2	1	3	5	6	18	31	15	12	11	155
3	3	1	1		3	2	3	1	2	2	1	2	4	3	4	5	5	4	5	5	4	100
8	11	13	14	12	11	8	10	4	7	9	6	9	8	6	8	7	6	8	7	8	5	331
2	3	3	7	9	7	8	4	9	7	8	12	10	10	8	10	6	11	8	9	6	8	231
7	13	12	6	10	7	10	9	11	10	9	10	9	8	12	11	10	9	11	12	14	17	383
4	8	7	8	5	4	8	7	9	8	7	9	15	20	15	11	11	12	11	12	13	13	306
1			4	12	7	4		3	5	4	5	4	5	4	6	7	5	6	6	5		129
	3	3		1	2	1	1	2	3	6	5	5	6	7	7	7	7	7	7	7	4	140
3	4	2	1	3	4	2	1	1	2	1	1	2	3	1	4	3	3	5	3	5	2	92
2	1		2	1	1	5	3	1	2	2	2	3	3	3	4	4	5	5	4	4		80
7	5	3	4	6	5	2	2	2	1	3	4	3	3	5	3	6	8	6	4	2	3	176
6	5	8	2	5	7	7	3	4	4	7	3	6	11	23	15	10	10	10	9	9	5	261
1			4				2	3	4	5	4	4	3	5	4	5	5	5	6	6	6	106
2	2	2	1	3	3	9	8	9	15	29	13	12	11	10	9	10	11	12	14	13	11	291
7	7	9	10	7	7	7	6	7	6	9	6	7	11	20	21	21	19	15	19	28	31	422
2	2	1		1	1	2	1	4	2	3	6	4	4	3	5	4	4	5	5	5	5	91
2	1	2	3	1	2	2	5	6	7	7	7	8	7	12	9	11	6	10	10	8	7	162
1	2	1	4	3	2	1	1	5	7	8	7	7	9	7	7	6	7	6	7	9	9	143
5	9	7	8	6	8	8	9	6	7	9	7	6	5	9	11	10	10	9	11	11	11	360
5	5	5	4	3	3	2	2	2	4	6	4	6	5	6	9	8	8	8	7	8	5	267
3	4	4	5	5	5	4	4	2	2	5	3	4	4	5	5	5	6	6	5	5	3	131
	1		1	1		1		2	4	4	4	4	4	4	4	5	3	6	6	7	6	89
1	1	1	3	3			1		2	3	3	5	4	5	6	7	6	7	7	7	4	111
3	2	1	1	1	1		1	1	1	1	1	2	3	3	6	7	7	6	6	6	5	133
7	8	6	6	9	11	8	10	5	6	10	7	10	9	9	11	12	11	11	10	11	4	249
4	5	3	4	3	1	3	4	5	6	7	5	7	7	7	6	6	7	7	8	9	9	231
2	4	2	5	3	2	1	7	11	38	19	11	8	6	7	9	9	9	10	9	7	6	254
2	1	1	1	1	1	1	1	1	5	4	2	2	3	3	3	3	3	2	3	4	2	66
1	1	1	1	3	2	2	3	4	14	28	10	8	8	8	7	7	8	7	9	8	4	173
2		1	1	1	1	1		1	1	3	2	5	5	5	8	7	8	7	7	7	5	108
2	1		2	1	1	2	3	2	2	1	2	3	3	6	4	2	6	2	4	5	3	94
2	2	4	4	4	4	4	4	3	3	3	4	6	7	8	8	10	11	11	10	11	8	230
2	1	1	2	1	5	2	2	3	3	2	2	2	1	3	3	2	4	4	5	5	5	120
4	4	2	2	2	4	3	3	6	6	5	3	5	5	2	2	3		2	4	4	1	143
2	3	3	4	2	4	7	33	18	18	20	10	7	7	10	8	11	8	6	9	12	10	294
1	2	1	1	1	1	4	5	1	1	4	5	5	5	6	6	9	10	7	6	7	4	129
2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	4	6	5	1	3	5	5	5	5	6	5	136
1	1	1	2	3	4	4	5	7	6	8	6	4	5	5	8	8	6	7	7	8	10	177
3	1	1	1	1		1	3	2	2	2	2	2	2	4	6	7	10	15	29	14	6	140
127	152	130	153	164	166	169	208	229	270	313	243	267	267	302	318	332	370	365	382	382	302	8,624

5 技能競技種目別入賞者数の状況

No.	回数・年度・開催地 技能競技種目等・賞																		
		1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	11回	12回	13回	14回	15回	16回	17回	18回
		1972 (S47) 千葉県	1973 (S48) 千葉県	1974 (S49) 千葉県	1975 (S50) 千葉県	1976 (S51) 千葉県	1977 (S52) 千葉県	1978 (S53) 千葉県	1979 (S54) 千葉県	1980 (S55) 千葉県	1982 (S57) 千葉県	1983 (S58) 千葉県	1984 (S59) 千葉県	1986 (S61) 千葉県	1987 (S62) 千葉県	1988 (S63) 千葉県	1989 (H1) 千葉県	1990 (H2) 千葉県	1992 (H4) 千葉県
1	旋盤	金賞	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1
		銀賞	1	0	1	0	1	0	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1
		銅賞	1	1	1	0	1	1	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	0
2	洋裁	金賞	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
		銀賞	1	2	2	3	1	2	2	2	2	3	3	2	1	1	1	2	2
		銅賞	1	2	1	1	2	2	3	2	3	2	1	2	2	1	2	3	1
3	洋服	金賞	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1
		銀賞	2	2	2	2	2	2	1	2	1	1	1	0	1	1	1	0	1
		銅賞	1	2	2	2	2	2	3	3	2	2	2	1	2	1	0	1	2
4	和裁	金賞		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
		銀賞		1	3	1	2	1	2	4	4	2	2	3	2	3	2	3	3
		銅賞		2	1	3	1	2	3	3	2	3	4	2	3	3	3	2	3
5	家具	金賞	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1
		銀賞	1	1	1	1	2	2	1	2	2	2	1	1	0	1	1	2	1
		銅賞	2	2	2	1	1	1	3	1	2	2	1	1	2	1	1	0	2
6	D T P	金賞																	
		銀賞																	
		銅賞																	
7	機械製図	金賞	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	0	1	0	1	1	0	1
		銀賞	1	1	1	0	1	1	1	0	1	1	1	1	1	0	0	1	1
		銅賞	1	1	1	1	0	1	1	1	0	0	1	1	1	1	1	0	1
8	機械C A D	金賞																	
		銀賞																	
		銅賞																	
9	建築C A D	金賞																	
		銀賞																	
		銅賞																	
10	電子機器組立	金賞	1											1	1	1	1	1	1
		銀賞	0											1	2	2	1	2	2
		銅賞	0											0	1	1	2	2	2
11	電子回路接続	金賞															1	1	1
		銀賞															0	0	1
		銅賞															0	2	0
12	パソコン操作 (視覚障害者)	金賞																	
		銀賞																	
		銅賞																	
13	電話応対 (視覚障害者)	金賞	1	1		1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1
		銀賞	1	1		1	1	1	2	1	1	1	1	1	2	1	2	1	1
		銅賞	1	1		1	2	2	3	2	1	2	2	2	0	1	1	1	2
14	義肢	金賞											1	1	0	0			
		銀賞										1	1	1	1				
		銅賞										1	2	1	1				
15	歯科技工	金賞																	
		銀賞																	
		銅賞																	
16	ワード・プロセッサ (一般部門) 〈ワード・プロセッサ〉	金賞									1	1	1	1	1	1	1	1	1
		銀賞									1	2	2	2	3	2	2	2	3
		銅賞									0	1	2	2	3	3	4	4	4
17	ワード・プロセッサ (視覚障害者)	金賞															1	1	1
		銀賞															1	2	1
		銅賞															1	1	1
18	パソコン (BASIC)	金賞									1	1	1	1	1	1	1	1	1
		銀賞									1	1	1	1	2	1	1	2	1
		銅賞									2	1	1	2	2	2	2	1	3
19	パソコン (表計算)	金賞															1	1	1
		銀賞															1	1	2
		銅賞															2	1	2
20	パソコン (データベース)	金賞																	
		銀賞																	
		銅賞																	
21	パソコン (ホームページ)	金賞																	
		銀賞																	
		銅賞																	
22	パソコン (パソコンデータ入力)	金賞																	
		銀賞																	
		銅賞																	
23	コンピュータ プログラミング	金賞																	
		銀賞																	
		銅賞																	
24	パソコン組立	金賞																	
		銀賞																	
		銅賞																	

19回 (H5)	20回 (H6)	21回 (H8)	22回 (H9)	23回 (H10)	24回 (H11)	25回 (H13)	26回 (H14)	27回 (H16)	28回 (H17)	29回 (H18)	30回 (H20)	31回 (H21)	32回 (H22)	33回 (H24)	34回 (H25)	35回 (H26)	36回 (H28)	37回 (H29)	38回 (H30)	39回 (R1)	40回 (R2)	合計
千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	熊本県	宮城県	山口県	香川県	千葉県	茨城県	神奈川県	長野県	千葉県	愛知県	山形県	栃木県	沖縄県	愛知県	愛知県	
1	1	1	1	1	1	1	1															27
1	1	1	1	1	1	1	0															23
0	0	1	1	0	1	1	1															24
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	0	0	0	36
2	1	1	1	1	1	0	1	1	1	0	1	1	1	1	0	1	1	1	0	1	1	53
2	2	2	2	2	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	2	53
1	1	1	1			1	1	1	1	1												26
1	0	1	1			0	0	1	1	0												28
0	2	1	1			1	2	1	1	2												42
1	1	1	1	1	1	1	1	1														25
3	3	1	1	1	1	1	1	1														52
3	3	2	2	1	2	1	1															58
1	1	0	1	1	1	1	1	0	0	1	0	0	1	1	0	0	1	0	1	0	1	32
1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	0	1	0	1	0	40
1	1	0	1	1	1	0	1	1	1	1	0	0	1	0	1	1	1	1	1	1	0	42
				1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	17
				2	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	20
				2	1	0	0	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	20
1	1	0	1	0	1	0																18
2	1	1	1	1	0	1																21
1	1	1	1	1	2	1																22
		0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	0	1	11
		0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	2	1	2	0	0	1	0	0	0	1	14
		1	1	2	2	2	0	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	0	0	0	1	18
							0	0	1	0	1	0	0	0	1	1	1	1	1	0	0	6
							0	2	1	1	1	1	1	0	3	1	1	0	1	1	0	14
							0	2	1	1	1	1	1	1	0	1	1	0	1	1	2	14
1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	30
3	3	2	2	1	4	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	1	44
1	3	2	2	3	1	1	1	0	2	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	2	1	38
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0						19
1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1						19
1	0	1	0	2	1	2	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0						13
								1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	0	13
								1	1	1	1	1	2	1	0	1	2	1	1	1	1	16
							1	3	1	1	1	2	2	2	0	2	1	3	2	1	1	23
1	1	1	1		0	0																22
1	2	1	1		1	0																26
0	1	0	1		2	0																29
			0	1	1	1	1	1	1	0	0	1	1	1	0	1	0	0	0	1	0	13
			1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	0	0	21
			2	2	0	1	1	1	1	1	1	0	0	1	0	1	1	1	1	1	1	23
				1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	17
				1	1	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	0	0	18
				2	3	2	2	2	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	0	0	23
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	31
3	2	2	2	2	4	2	3	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	3	1	1	1	56
4	5	3	4	4	4	5	5	3	2	1	2	1	1	1	2	2	2	3	2	1	2	82
1	1	1	1	1	0	0	0															8
1	1	1	1	1	1	1	1															12
2	1	0	1	2	3	2	2															16
1	1	1																				12
1	2	1																				15
2	1	1																				20
1	1	1	1	1	1	1	1	1							1	1	1	1	1	0	0	16
3	2	2	2	1	3	2	1								1	1	2	2	1	1	1	29
2	1	2	2	3	3	4	4								1	1	1	3	2	3	3	40
						0	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	14
						1	2	1	2	1	1	2	1	1	0	1	1	1	1	0	1	17
						0	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	2	1	0	2	2	24
				1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	0	0	16
				2	2	2	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	24
				2	1	1	2	2	1	1	1	2	2	1	2	1	1	1	1	2	1	27
									1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	12
									1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	1	1	15
									1	1	1	1	1	1	1	1	3	1	3	1	2	18
								0	0	1	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	6
								1	1	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	7
								0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	5
								1	1	1	1	1	1	1	1	1					0	9
								1	1	1	1	1	1	1	1	1					1	10
								1	1	1	0	1	1	2	1	1					0	9

No.			1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	11回	12回	13回	14回	15回	16回	17回	18回
			1972 (S47)	1973 (S48)	1974 (S49)	1975 (S50)	1976 (S51)	1977 (S52)	1978 (S53)	1979 (S54)	1980 (S55)	1982 (S57)	1983 (S58)	1984 (S59)	1986 (S61)	1987 (S62)	1988 (S63)	1989 (H1)	1990 (H2)	1992 (H4)
			千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県
25	精密板金	金賞																		
		銀賞																		
		銅賞																		
26	縫製 (知的障害者)	金賞																		
		銀賞																		
		銅賞																		
27	木工 (知的障害者)	金賞																		
		銀賞																		
		銅賞																		
28	喫茶サービス (知的障害者)	金賞																		
		銀賞																		
		銅賞																		
28	喫茶サービス	金賞																		
		銀賞																		
		銅賞																		
29	紙製品再利用 (知的障害者)	金賞																		
		銀賞																		
		銅賞																		
30	N C 旋盤	金賞																		
		銀賞																		
		銅賞																		
31	写真植字	金賞			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1
		銀賞			1	1	2	2	1	3	4	2	3	1	2	2	2	3	2	2
		銅賞			1	2	2	2	3	2	2	3	2	4	3	3	2	2	2	1
32	電算写植	金賞																		
		銀賞																		
		銅賞																		
33	建具	金賞	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	0
		銀賞	1	1	1	2	2	1	1	2	2	2	0	1	1	1	1	0	0	1
		銅賞	1	2	2	1	1	2	2	1	0	1	1	1	0	0	1	0	0	0
34	広告美術	金賞	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	0	0	1	1	1	1
		銀賞	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1
		銅賞	1	1	1	1	2	1	1	2	2	1	1	1	0	0	1	1	2	0
35	版下製作 (グラフィックデザイン)	金賞												0	0	0	0	1	0	
		銀賞												1	0	0	2	0	1	
		銅賞												1	1	1	0	0	1	
36	貴金属装身具	金賞																	1	1
		銀賞																	0	1
		銅賞																	1	1
37	和文タイプ	金賞		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	
		銀賞		1	2	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	2	2	
		銅賞		1	2	2	2	2	3	3	3	3	2	2	3	2	1	1	0	
38	テレビ・ラジオ修理	金賞	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	0		1			
		銀賞	1	1	2	1	1	0	1	1	0	0	0	0	1		1			
		銅賞	1	2	1	1	1	0	0	0	1	2	0	1	1		0			
39	カナタイプ	金賞		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0			
		銀賞		2	1	1	1	1	1	2	2	1	2	1	2	1	1			
		銅賞		1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1			
40	時計修理	金賞	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	0							
		銀賞	1	1	1	1	2	1	0	1	2	1	0							
		銅賞	1	1	1	1	1	1	1	1	2	0	0							
41	建設製図	金賞	1	1	1	1	1	1	0	0	1	0								
		銀賞	1	1	1	0	1	1	2	1	1	1								
		銅賞	1	1	1	0	1	1	0	2	0	0								
42	塗装（木工）	金賞	1	1	0	0	0	0	0	0	0									
		銀賞	1	1	1	0	0	0	1	2	1									
		銅賞	1	1	1	1	2	1	2	2	0									
43	塗装（金属）	金賞										1								
		銀賞										1								
		銅賞										0								
44	フライス盤	金賞							1	0	0									
		銀賞							0	1	0									
		銅賞							0	0	0									
45	英文タイプ	金賞									1									
		銀賞									1									
		銅賞									1									
46	毛糸織物	金賞									1									
		銀賞									1									
		銅賞									2									
47	活版文選	金賞	1	1																
		銀賞	1	0																
		銅賞	1	1																
48	電気溶接	金賞	1																	
		銀賞	1																	
		銅賞	1																	

19回 1993 (H5)	20回 1994 (H6)	21回 1996 (H8)	22回 1997 (H9)	23回 1998 (H10)	24回 1999 (H11)	25回 2001 (H13)	26回 2002 (H14)	27回 2004 (H16)	28回 2005 (H17)	29回 2006 (H18)	30回 2008 (H20)	31回 2009 (H21)	32回 2010 (H22)	33回 2012 (H24)	34回 2013 (H25)	35回 2014 (H26)	36回 2016 (H28)	37回 2017 (H29)	38回 2018 (H30)	39回 2019 (R1)	40回 2020 (R2)	合計
千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	熊本県	宮城県	山口県	香川県	千葉県	茨城県	神奈川県	長野県	千葉県	愛知県	山形県	栃木県	沖縄県	愛知県	愛知県	
								0	0	0												0
								0	1	1												2
								1	1	1												3
					1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	16
					1	2	1	3	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	23
					2	3	4	3	2	1	2	2	1	1	1	1	2	2	2	2	2	33
					1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	0	1	1	1	1	15
					1	0	1	1	1	1	1	1	2	2	1	2	1	1	2	1	1	20
					1	3	1	1	2	1	2	1	1	1	1	1	1	2	1	3	3	26
							1	1	1	1	1	1	1									7
							1	2	1	1	1	2	2									10
							3	2	2	3	1	2	2									15
														1	1	1	1	1	1	1	1	8
														2	2	2	2	2	2	2	1	15
														3	2	2	3	3	3	3	2	21
			0	0	0	0																0
			1	1	1	1																4
			1	1	0	0																2
			1	1																		2
			1	1																		2
			1	0																		1
1	1	1																				20
1	1	1																				36
1	2	0																				39
		0	1																			1
		1	1																			2
		1	0																			1
1	0																					17
0	1																					21
0	0																					16
	1																					16
	0																					19
	0																					19
	1																					2
	0																					4
	1																					5
1	1									1												5
1	0									1												3
0	1									0												3
																						14
																						28
																						32
																						12
																						10
																						11
																						13
																						19
																						14
																						9
																						11
																						10
																						7
																						10
																						7
																						2
																						7
																						11
																						1
																						1
																						0
																						1
																						1
																						0
																						1
																						1
																						1
																						2
																						2
																						1
																						2
																						1
																						1
																						1

No.			1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	11回	12回	13回	14回	15回	16回	17回	18回
			1972 (S47)	1973 (S48)	1974 (S49)	1975 (S50)	1976 (S51)	1977 (S52)	1978 (S53)	1979 (S54)	1980 (S55)	1982 (S57)	1983 (S58)	1984 (S59)	1986 (S61)	1987 (S62)	1988 (S63)	1989 (H1)	1990 (H2)	1992 (H4)
			千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県
49	写真撮影	金賞																		
		銀賞																		
		銅賞																		
50	フラワー アレンジメント	金賞																		
		銀賞																		
		銅賞																		
51	籠製作	金賞																		
		銀賞																		
		銅賞																		
52	木彫	金賞																		
		銀賞																		
		銅賞																		
53	機械組立	金賞																		
		銀賞																		
		銅賞																		
54	ポスターデザイン	金賞																		
		銀賞																		
		銅賞																		
55	絵画	金賞																		
		銀賞																		
		銅賞																		
56	陶磁器	金賞																		
		銀賞																		
		銅賞																		
57	編物	金賞																		
		銀賞																		
		銅賞																		
58	刺繍	金賞																		
		銀賞																		
		銅賞																		
59	ビルクリーニング	金賞																		
		銀賞																		
		銅賞																		
60	製品パッキング	金賞																		
		銀賞																		
		銅賞																		
61	オフィス アシスタント	金賞																		
		銀賞																		
		銅賞																		
62	ネイル施術	金賞																		
		銀賞																		
		銅賞																		
合 計		金賞	15	16	14	15	14	15	14	14	16	16	16	15	18	12	14	17	16	16
		銀賞	15	17	21	16	21	18	20	29	28	23	22	22	21	27	21	20	25	25
		銅賞	15	22	19	20	22	22	31	28	27	26	22	25	24	24	20	25	25	25
		計	45	55	54	51	57	55	65	71	71	65	60	62	63	63	55	62	66	66

19回	20回	21回	22回	23回	24回	25回	26回	27回	28回	29回	30回	31回	32回	33回	34回	35回	36回	37回	38回	39回	40回	合計
1993 (H5)	1994 (H6)	1996 (H8)	1997 (H9)	1998 (H10)	1999 (H11)	2001 (H13)	2002 (H14)	2004 (H16)	2005 (H17)	2006 (H18)	2008 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	
千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	熊本県	宮城県	山口県	香川県	千葉県	茨城県	神奈川県	長野県	千葉県	愛知県	山形県	栃木県	沖縄県	愛知県	愛知県	
									1	0											1	2
									1	2											1	4
									0	1											1	2
									1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	12
									2	1	1	1	1	1	1	2	1	1	2	0	1	15
									1	1	1	1	0	1	2	0	2	1	0	1	1	12
										0												0
										0												0
										1												1
										1												1
										1												1
										1												1
										1												1
										1												1
										0												0
										1												1
										1												1
										1												1
										1												1
										1												1
										0												0
										1												1
										1												1
										1												1
										2												2
										0												0
										1												1
										1												1
												1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10
												1	1	2	3	3	3	3	3	2	3	24
												2	3	3	3	3	3	3	3	2	3	28
													1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
													1	1	1	1	2	2	1	1	0	10
													1	1	1	2	1	2	2	2	1	13
														1	1	1	1	1	1	1	1	8
														1	1	1	2	1	2	2	2	12
														1	2	3	2	3	1	3	3	18
																				1	0	1
																				1	1	2
																				1	1	2
16	17	12	15	14	15	14	18	17	19	26	18	17	20	20	18	21	18	20	18	16	15	657
25	22	18	21	19	27	20	25	24	26	30	20	24	24	26	24	28	27	26	26	23	24	920
20	25	18	25	29	33	31	34	27	28	32	21	24	24	26	25	29	32	33	30	34	37	1039
61	64	48	61	62	75	65	77	68	73	88	59	65	68	72	67	78	77	79	74	73	76	2,616

6 都道府県別入賞者数の状況

No.	回数・年度・開催地 都道府県・賞		1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	11回	12回	13回	14回	15回	16回	17回	18回
			1972 (S47)	1973 (S48)	1974 (S49)	1975 (S50)	1976 (S51)	1977 (S52)	1978 (S53)	1979 (S54)	1980 (S55)	1982 (S57)	1983 (S58)	1984 (S59)	1986 (S61)	1987 (S62)	1988 (S63)	1989 (H1)	1990 (H2)	1992 (H4)
			千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県
1	北海道	金賞	1	1	2	1				2			2	2		1	1		1	
		銀賞	2	2	2	1	2	2	4	1	3	3	1				2	1		
		銅賞	3	2		1	3	1	1	2	1		1		1	2		1	2	
2	青森	金賞			1	1		1			1									
		銀賞								1						1				
		銅賞				2		2				1	1	1		1				
3	岩手	金賞							1					1	1	1		1		
		銀賞						1		1		1	2		1	1			1	
		銅賞		1	1	1	1					1	1				1			
4	宮城	金賞		1		1		2			1	1	1							1
		銀賞	1	1			1		1		1									
		銅賞	1	1		1				1									1	
5	秋田	金賞				1														
		銀賞								1	2					1				
		銅賞				1	1										1		1	
6	山形	金賞	1																	
		銀賞	1								1	1		1						1
		銅賞		1				2	1	1										
7	福島	金賞	2										1						1	
		銀賞				1					1		1				1	1		
		銅賞						1				1		1		1				
8	茨城	金賞							1	2	1	1				1	1	1		
		銀賞			1	2	2	2			1	1		1		1	1	1	3	2
		銅賞		1	1					1							1	1	1	1
9	栃木	金賞	1									1				1				
		銀賞		1												1				
		銅賞							1				1							
10	群馬	金賞		1			1													
		銀賞							1	1										
		銅賞							1						1					
11	埼玉	金賞							1		3	1	1		3			1		1
		銀賞	1	1						1		4	1	1		2	1	1	3	
		銅賞							3	4	1	3	1		3	4	2	5	3	3
12	千葉	金賞												1			1			
		銀賞						1		2		1	2	1					1	2
		銅賞							1	1				1		1			1	1
13	東京都	金賞	1			1	2			1				1		1	1	3	1	3
		銀賞	2	1	2	2	2	2	2	1	3	1	1		1	2	3	1	4	4
		銅賞	2	2	2	1	3	5	1	1	2		1	1		1	1	2	1	2
14	神奈川	金賞		1	1	1	1		1			2	1	1		1	1	1	1	1
		銀賞					2			1	2			2	2	1	1	1		1
		銅賞		1		1	1		2			1	2	2				1	1	
15	新潟	金賞						2	1					1					1	
		銀賞	1		2	1			1		1						1	1		
		銅賞						1			1									
16	富山	金賞	1	1	1															
		銀賞			1							1		1	2	1				
		銅賞	1					1			1				1	1				
17	石川	金賞			2		1								1					
		銀賞				1						1								
		銅賞			1	1	1					1			2					
18	福井	金賞																		
		銀賞											1	1						1
		銅賞																		
19	山梨	金賞		1	1	1		1											3	
		銀賞						1	1						1					3
		銅賞		2	1		1			1					1		1			
20	長野	金賞					2			1			1			1	1	1		
		銀賞		1						2										
		銅賞		1				1	4		3	1			1			1	1	
21	岐阜	金賞							2							1				
		銀賞					2	1												
		銅賞	1																	
22	静岡	金賞	3				1										1	1	1	1
		銀賞		2			1	1		1										
		銅賞	2		1	2		1		1	1		1		1					
23	愛知	金賞			1	1	1	1		1	2	2	3	2	3	3	1	3	2	1
		銀賞				1				2	1	3	2	3	3	2	1	1	2	2
		銅賞	1	1	3		1		2	6	1	2	1	3		2	2		1	1
24	三重	金賞											1							
		銀賞																		
		銅賞		1			1										1			

19回 (H5)	20回 (H6)	21回 (H8)	22回 (H9)	23回 (H10)	24回 (H11)	25回 (H13)	26回 (H14)	27回 (H16)	28回 (H17)	29回 (H18)	30回 (H20)	31回 (H21)	32回 (H22)	33回 (H24)	34回 (H25)	35回 (H26)	36回 (H28)	37回 (H29)	38回 (H30)	39回 (R1)	40回 (R2)	合計
千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	熊本県	宮城県	山口県	香川県	千葉県	茨城県	神奈川県	長野県	千葉県	愛知県	山形県	栃木県	沖縄県	愛知県	愛知県	
				1			1									1		2	1	1	1	22
				1	1				1									1	1			31
			2		2	2		1							1		2			1	1	33
																1		1				6
		1							1						1	1						6
					1					1						1						11
	1										1	1	1							1		10
1					1									1				1				12
					1	1											1	2		1	1	14
	1		1	2	1		1	5						1							2	22
2	2	1			3	1	1	4	4	1		1								2		27
		2	2	2	2	3		5	5	1			1			1					1	30
																						1
	1						1									1						7
																			1			5
1													1				2	1		1	1	8
													1		1		4	1	1	1		14
		1	1													2	3	1				13
								1				1										5
																		1				7
1								1									1					7
1	1	1	1	2	1	1			2		2	5		1	1				1		1	29
2	1	1					1			2	3	3	1	1	1	2	2		1			39
1	2			1	1			1	1	2	1	4	2	1	1	1	1	1	2	1	1	32
																	2			1		6
																1	1	2		1		7
1		1		1									1		1		2	3	4	1	4	21
																	1					3
												1										3
1															1							4
1							2		1					1	2	1		1	1			21
1		1	2		1	2	1	2				2									2	30
	2	1	2	2	5	2	1		2	4	1	1	1	1	2		1	1		2	1	64
	1		2	1	3		1	1	1	2	1		2	1	1		1	1			1	22
			2	1		1		3	1		2		1	1	1	1	1	1	1		2	29
1	1	1				2		2		1	1	1		2	1		1	1		1		22
2	4	1	1		2	2	1		2	3		2				3	1	2			1	42
1	2	3	3	3	1	2	1			3	2		1	1			1		3	2	6	69
	4	2	1	2	2		2	1			1	2	1	2	1	1	1	3	1	1	3	59
1	1	2	1					2			2	1	2	1	3		2	1	1	1	1	36
	1	2		1			4	1	1			1	4	1		1			1	2	2	35
1	2	1	2	1	1	3				1	1	2	3		1	2	1	1	3	2	1	41
											1					1	1	1				9
					1	1										1						11
1				2	3	1								1				1	1			12
					1																	4
																	1		1			8
		1				1				1	1			1			1	1		1	1	14
	1	1	1																			7
					1																	3
1																		1				8
1					1																	2
																						3
	1										1				1							3
2					2												1					12
2			1	2	2								1	1		1	1	1	1	1		20
1	2	1	1	1		1	1				1					2	1					19
									3				1	3	4	1			2			21
			1			1	1		1				1	7	3	1	1	2	2	1	1	26
		1					1	1					1	3	2	2	1	2	1	1	1	30
									1										1			5
								1	1									1		1		7
			1				1															3
						1			1	4	2		1	2						1		20
	1			1			1		1	6	1	4						2	1	2		25
1					1	2	1	5	3	4	1	1	1		1		3			1	1	36
1	2	5	4	2		3	1	2	4	5	1	1	3	4	1	6	2	1	2	4	2	80
3	3		2	2	4	1	1	2		1	3	1	1	5	7	6	4	3	6	3	4	85
3	1	1	1			2	4		1		1		1	1	5	5	4	2	5	8	5	77
								1						1				1		1	1	5
											1	1				1			1			5
							1					1			1		1					7

No.			1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	11回	12回	13回	14回	15回	16回	17回	18回
			1972 (S47)	1973 (S48)	1974 (S49)	1975 (S50)	1976 (S51)	1977 (S52)	1978 (S53)	1979 (S54)	1980 (S55)	1982 (S57)	1983 (S58)	1984 (S59)	1986 (S61)	1987 (S62)	1988 (S63)	1989 (H1)	1990 (H2)	1992 (H4)
			千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県
25	滋 賀	金賞		1									1							
		銀賞	2		2										1		1			
		銅賞			1															
26	京 都	金賞				1		1	1		1									
		銀賞								1		1	1							
		銅賞							1	1					1				1	
27	大 阪	金賞	2	2	1	5	1		2		1	1	1		1			1	1	2
		銀賞	1	1	1	3	1	2	2		2	1	2	3	2	3	2	3	2	1
		銅賞		3	3		3	3	2	5	1	4	1	3	2	2	1	2	1	3
28	兵 庫	金賞					2	1		2	2	2		3	1	1	1	1	2	1
		銀賞		1	1		5	2	1	4	3	1				2		1		1
		銅賞			2	1	2	1	2	1	3		1	2	1	1	1	2		1
29	奈 良	金賞																	1	1
		銀賞								2			1	1				2	1	1
		銅賞		1								1					2		1	2
30	和 歌 山	金賞																		1
		銀賞		1								1								
		銅賞									1		1	1						
31	鳥 取	金賞														1	2			
		銀賞													1	2	1	1	1	
		銅賞												1		1	1	1		
32	島 根	金賞	1	3		1	1						1							
		銀賞	2		1	1				1			1		2		1		1	1
		銅賞				1	2		2		1	1		1				1	1	1
33	岡 山	金賞								1										1
		銀賞		1	1	1			1							1				
		銅賞	2	1		1		1	1	1	1		1					1	2	1
34	広 島	金賞		1			2	3	1	2										
		銀賞	1	1	3		2	1	2		2	1	1		2			2	1	1
		銅賞		1			1	2	1						2	1	1			2
35	山 口	金賞					1	1		1			1	1	1			1		1
		銀賞							1		1	2	2			1			1	1
		銅賞	1			1			1		1	1					1	1		
36	徳 島	金賞		1												1				
		銀賞																1		
		銅賞																	1	
37	香 川	金賞			1						1									
		銀賞				1			1	1				1		1				1
		銅賞							1	1		1						1	1	
38	愛 媛	金賞		1	1															
		銀賞	1	1																
		銅賞									1									
39	高 知	金賞	1									2			1					
		銀賞											1	2		1			1	
		銅賞		1									2	1	1					1
40	福 岡	金賞							1						1			1		
		銀賞									1		1			1	3	1		1
		銅賞	1		1	1				1	1	2	3	2	2	3			1	1
41	佐 賀	金賞								1	1							1		
		銀賞			2			1	1	1								1		
		銅賞				1			1			2		1	1	1	1			
42	長 崎	金賞						1			1				3					1
		銀賞								1					1				1	1
		銅賞			1									2	1			1		
43	熊 本	金賞		1	2				1				1		2		1	1	1	
		銀賞		2	2				1	1	2			1			1			
		銅賞		1		1	1				3	1		1		1		1	1	2
44	大 分	金賞										1								
		銀賞				1														
		銅賞			1				1		1		1						1	1
45	宮 崎	金賞									1	2	1	1					1	
		銀賞						1	1	3				2	1	1			2	
		銅賞									1	1	1		1	1	1	1		
46	鹿 児 島	金賞	1							1										1
		銀賞															1			
		銅賞				2			1			1	1		1			1	1	1
47	沖 縄	金賞								1										
		銀賞												1	1	1				
		銅賞												1			1	1		1
合 計		金賞	15	16	14	15	14	15	14	14	16	16	16	15	18	12	14	17	16	16
		銀賞	15	17	21	16	21	18	20	29	28	23	22	22	21	27	21	20	25	25
		銅賞	15	22	19	20	22	22	31	28	27	26	22	25	24	24	20	25	25	25
		計	45	55	54	51	57	55	65	71	71	65	60	62	63	63	55	62	66	66

19回 1993 (H5)	20回 1994 (H6)	21回 1996 (H8)	22回 1997 (H9)	23回 1998 (H10)	24回 1999 (H11)	25回 2001 (H13)	26回 2002 (H14)	27回 2004 (H16)	28回 2005 (H17)	29回 2006 (H18)	30回 2008 (H20)	31回 2009 (H21)	32回 2010 (H22)	33回 2012 (H24)	34回 2013 (H25)	35回 2014 (H26)	36回 2016 (H28)	37回 2017 (H29)	38回 2018 (H30)	39回 2019 (R1)	40回 2020 (R2)	合計
千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	熊本県	宮城県	山口県	香川県	千葉県	茨城県	神奈川県	長野県	千葉県	愛知県	山形県	栃木県	沖縄県	愛知県	愛知県	
					1			1						1			1					6
1								1	1				2	1	1							12
					1	1	1					2	1	1	1		2	1	1			13
												2	1	2	1			1				11
	1			1	1					2	1		1		1	1	1		1	1	1	16
1		1	1	1			1		2	1	2		1	1							1	17
1		1			1	1	1			1					2	1	1		1	1		33
1	2	2	2	1	4	3	2		1	2		1		1	1	2		2			1	60
1	2		3	2				1			1	1		1	1	1	1	1	2	2	1	60
1	1												1				1			1		22
		1										1				1	1	1				27
	1			1	1			1						1				3	1		1	31
						1	1			1								1				6
	2	2	1	1	2												1	1		1		19
1			1		1													1		1	1	13
											1											1
											1									1		4
1				1					1	1								1			1	7
																						5
																						6
	1		1									1										7
	1																					8
1							1							1	1							15
													1	1		1						14
	1				1	1	2			3	2					1				1		14
3		1	1		1	2	2	1	2	3	1	1	2					1				26
1		1	2	6	4	1			2			3	2	1	2	1		1	1	3	1	45
	1		1									1							1		1	14
1	2			1	1		1			2	2	2	2		1	1	1					37
	1	1				1	2	2		1	1			1		1						22
1									3	1		1	2	1	1	1		2	2			23
								3	8					1	1			1	1			24
1	1			1			3	1	5	6	1	1				1	1			1	2	32
					1			1														4
	1			1		1					1											5
		1	1	1	1			1	1													6
				1						1			1									5
	1	1	1			1				4	1	1	1						1		1	19
1				2	1	1	1			2				1								14
											1	1			1		1	1				7
			1	1	1									1			2					8
									1	1			2	1		1					1	8
			1	1			1	1	1											1		10
			1			1							1			1						9
					1			1	1			1										8
					1			1	1							1	1		1			9
1	1			1		1	1	1				1	1		1		1	1			1	20
				1		1							1	3		1	1	1		1	2	31
		1																				4
					1	1																8
	1								1										1		1	12
				1									1									8
3	1		1			1		1	1			1	1									14
	1			1	1		1	1					1									11
1				1			6	3	1		2	1	1	1		2				1	1	31
		1	1				5	3	2	2	1	1		1	2	1	2		1	1	2	36
1	1		2	1	2		10	2	2	3		1		2				2	2	2		46
	1								1		2		1									6
1						1								1			1					5
					2					1	1					1			1	1	1	14
1				1	1												1					10
			1							1						2	1			1		17
	1	1				2	2					1	1			1					1	17
			1			2				1			1	1	1	1	1	1	2		1	16
				1	1					1		1	1		1			2		1	1	11
			1	1	2	1	1		3	1	3	1	1	1	2	3	2	1		2	2	37
			1								1								2		1	6
1		1											1		1	2		1	2	1		13
								1										1	3			9
16	17	12	15	14	15	14	18	17	19	26	18	17	20	20	18	21	18	20	18	16	15	657
25	22	18	21	19	27	20	25	24	26	30	20	24	24	26	24	28	27	26	26	23	24	920
20	25	18	25	29	33	31	34	27	28	32	21	24	24	26	25	29	32	33	30	34	37	1039
61	64	48	61	62	75	65	77	68	73	88	59	65	68	72	67	78	77	79	74	73	76	2,616

7 大会別開催期間・会場一覧

回数	年度	開催期間	会 場
1	昭和 47	11月18日（土）～ 20日（月）	青少年総合センター 中央技能センター
2	48	10月 6日（土）～ 8日（月）	中央技能センター
3	49	9月18日（水）～ 20日（金）	中央技能センター
4	50	10月15日（火）～ 17日（木）	中央技能開発センター
5	51	10月 5日（火）～ 7日（木）	中央技能開発センター
6	52	10月25日（火）～ 27日（木）	中央技能開発センター
7	53	10月24日（火）～ 26日（木）	中央技能開発センター
8	54	11月 7日（水）～ 9日（金）	中央技能開発センター
9	55	10月21日（水）～ 23日（金）	中央技能開発センター
10	57	10月20日（水）～ 22日（金）	中央技能開発センター
11	58	10月24日（月）～ 26日（水）	中央技能開発センター
12	59	10月30日（火）～ 11月 1日（木）	中央技能開発センター
13	61	10月29日（水）～ 31日（金）	中央技能開発センター
14	62	10月21日（水）～ 23日（金）	中央技能開発センター
15	63	10月19日（水）～ 21日（金）	中央技能開発センター
16	平成元	10月18日（水）～ 20日（金）	中央技能開発センター
17	2	10月17日（水）～ 19日（金）	高度技能開発センター 西千葉分所
18	4	10月21日（水）～ 23日（金）	高度技能開発センター 西千葉分所
19	5	10月19日（火）～ 21日（木）	高度技能開発センター 西千葉分所
20	6	10月19日（水）～ 21日（金）	千葉県勤労総合福祉センター 高度職業能力開発センター 高度職業能力開発促進センター 千葉分所障害者職業総合センター
21	8	10月23日（水）～ 25日（金）	千葉職業能力開発促進センター (高度技術開発センター千葉分所を名称変更)
22	9	10月29日（水）～ 31日（金）	障害者職業総合センター 千葉職業能力開発促進センター
23	10	10月24日（土）～ 26日（月）	障害者職業総合センター 千葉職業能力開発促進センター
24	11	11月 6日（土）～ 8日（月）	障害者職業総合センター 千葉職業能力開発促進センター
25	13	11月10日（土）～ 12日（月）	障害者職業総合センター 千葉職業能力開発促進センター
26	14	10月25日（金）～ 27日（日）	熊本テルサ パルクドーム熊本 熊本県立技術短期大学校
27	16	10月15日（金）～ 17日（日）	仙台サンプラザ 夢メッセみやぎ ポリテクセンター宮城
28	17	10月28日（金）～ 31日（月）	やまぐちリフレッシュパーク 山口県維新百年記念公園 山口県総合保健会館
29	18	10月27日（金）～ 29日（日）	高松市文化芸術ホール（サンポートホール高松） 香川県産業交流センター（サンメッセ香川） サンポート高松・高松シンボルタワー 高松市総合体育館
30	20	10月24日（金）～ 26日（日）	幕張メッセ
31	21	10月30日（金）～ 11月 1日（日）	ひたちなか市文化会館 ひたちなか市総合運動公園 ワークプラザ勝田 フットサルグリーンかつた
32	22	10月15日（金）～ 17日（日）	障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール 横浜アリーナ
33	24	10月20日（土）～ 22日（月）	ホクト文化ホール（長野県県民文化会館） ビッグハット（長野市若里多目的スポーツアリーナ） ホワイトリング（長野市真島総合スポーツアリーナ）
34	25	11月22日（金）～ 24日（日）	幕張メッセ
35	26	11月21日（金）～ 23日（日）	ポートメッセなごや（名古屋市国際展示場）
36	28	10月28日（金）～ 30日（日）	山形県総合運動公園 山形ビッグウイング
37	29	11月17日（金）～ 19日（日）	栃木県体育館 マロニエプラザ（栃木県立宇都宮産業展示館） 宇都宮市体育館 栃木県立特別支援学校宇都宮青葉高等学園
38	30	11月 2日（金）～ ～ 5日（月）	奥武山陸上競技場 沖縄県立武道館 奥武山屋内運動場（沖縄セルラーパーク那覇）
39	令和元	11月15日（金）～ 17日（日）	愛知県国際展示場
40	2	11月13日（金）～ 15日（日）	愛知県国際展示場

年 度	都道府県	日 程	会 場	出展者数
平成 14	熊 本	平成14年10月25日（金） } 平成14年10月26日（土）	・熊本テルサ ・熊本パークドーム	156
15	東 京	平成16年2月13日（金） } 平成16年2月14日（土）	・東京ドームシティ ・プリズムホール	89
16	宮 城	平成16年10月15日（金） } 平成16年10月16日（土）	・仙台サンプラザ ・夢メッセみやぎ	136
17	山 口	平成17年10月29日（土） } 平成17年10月30日（日）	・山口県維新百年記念公園	137
18	香 川	平成18年10月27日（金） } 平成18年10月29日（日）	・サンメッセ香川 ・サンポート高松 ・高松市総合体育館	112
19	静 岡	平成19年11月15日（木） } 平成19年11月17日（土）	・ツインメッセ静岡	100
20	千 葉	平成20年10月25日（土）	・幕張メッセ	163
21	茨 城	平成21年10月30日（金） } 平成21年10月31日（土）	・ひたちなか市総合運動公園 ・ワークプラザ勝田 ・ひたちなか市文化会館 ほか	134
22	神奈川	平成22年10月15日（金） } 平成22年10月16日（土）	・横浜アリーナ	151
23	埼 玉	平成23年11月22日（火） } 平成23年11月23日（水・祝）	・さいたまスーパーアリーナ ・コミュニティアリーナ	151
24	長 野	平成24年10月20日（土） } 平成24年10月21日（日）	・ビッグハット ・ホワイトリング	113
25	千 葉	平成25年11月23日（土・祝）	・幕張メッセ	77
26	愛 知	平成26年11月22日（土） } 平成26年11月23日（日）	・ポートメッセなごや （国際展示場）	149
28	山 形	平成28年10月29日（土）	・山形ビッグウイング	97
29	栃 木	平成29年11月18日（土）	・マロニエプラザ （栃木県立宇都宮産業展示館）	111
30	沖 縄	平成30年11月3日（土） } 平成30年11月4日（日）	・奥武山野球場（沖縄セルラースタジアム那覇） ・エントランス広場他	113
令和 1	愛 知	令和元年11月15日（土）	・愛知県国際展示場 展示ホール C	138
2	開催中止			

（注1） 障害者ワークフェアは平成14年度から全国障害者技能競技大会と併催してきたが、平成25年度からは同大会の一環として開催している。

（注2） 国際アビリンピック開催のために全国障害者技能競技大会が開催されなかった平成15年度及び23年度は単独で開催し、平成19年度は静岡県で開催された国際アビリンピックにおいて行われたIA2007ワークフェアの中に出展する形で開催した。なお、平成27年度は（注1）のとおりの同大会の一環としたことから、開催していない。

第40回全国障害者技能競技大会
報 告 書

写真協力 岩尾 克治・菅野 貴
発行日 令和3年2月
発行所 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
千葉県千葉市美浜区若葉3-1-3
電 話 043-297-9516
F A X 043-297-9547

※無断転載を禁ずる

協賛企業等一覧

技能競技実施機器等協賛企業等（50音順）

今大会で使用している技能競技用実施機器等については、
下記の企業・団体からご協賛をいただいております。



キャノンマーケティング
ジャパン株式会社



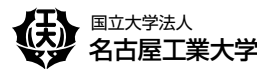
一般財団法人 啓成会



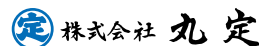
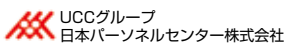
興和不動産
ファシリティーズ株式会社



公益社団法人
全日本洋裁技能協会



愛知県立
名古屋高等技術専門校



主 催 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構

協 力 愛知県

後 援 厚生労働省／内閣府／文部科学省／経済産業省／中央職業能力開発協会

協 賛 一般社団法人日本経済団体連合会／日本商工会議所／全国商工会連合会／全国中小企業団体中央会／
中小企業家同友会全国協議会／一般社団法人日本新聞協会／日本放送協会／
一般社団法人日本民間放送連盟／社会福祉法人日本身体障害者団体連合会／
全国手をつなぐ育成会連合会／公益社団法人全国精神保健福祉会連合会／
公益社団法人全日本洋裁技能協会／一般社団法人日本洋装協会／一般社団法人日本家具産業振興会／
一般社団法人日本印刷産業連合会／公益社団法人日本歯科技工士会／一般社団法人日本義肢協会／
公益社団法人日本義肢装具士協会／フラワー装飾技能検定中央協議会／
公益社団法人全国ビルメンテナンス協会／
特定非営利活動法人インターナショナルネイルアソシエーション／
一般社団法人障害者雇用企業支援協会／公益社団法人全国障害者雇用事業所協会／
日本労働組合総連合会／（以上、順不同）